

広島県版 合計特殊出生率「見える化分析」

平成31年3月

広島県

目次

1 はじめに	1
(1) 目的	1
(2) 報告書の構成	1
2 合計特殊出生率の市町分析シート	2
(1) 合計特殊出生率の定義と合計特殊出生率地域差の分解	2
(2) 広島県における合計特殊出生率回復の方向	5
(3) 市町分析シート（見方、分析シート）	6
広島市	8
呉市	10
竹原市	12
三原市	14
尾道市	16
福山市	18
府中市	20
三次市	22
庄原市	24
大竹市	26
東広島市	28
廿日市市	30
安芸高田市	32
江田島市	34
府中町	36
海田町	38
熊野町	40
坂町	42
安芸太田町	44
北広島町	46
大崎上島町	48
世羅町	50
神石高原町	52
(4) 女性有配偶率・有配偶出生率に影響を及ぼす要因の理論・仮説	54
(5) 社会経済特性「周辺からの影響」について	56
(6) 合計特殊出生率に対する社会経済要因の影響分析	58
資料	61

1

はじめに

(1) 目的

本調査では、広島県と県内市町との比較を中心に合計特殊出生率に地域差が生じている社会経済特性等を分析することに取り組む。

分析の目的は、分析を通じて出生率に関わる各市町の状況と地域特性を明らかにし、少子化対策の方向性を提示するとともに、分析結果に基づき県と市町が出生率上昇に向けた展望を共有し、連携した取り組みを進めていくための基礎資料を作成するものである。

(2) 報告書の構成

本報告書は、第2章「合計特殊出生率の市町分析シート」が中心である。

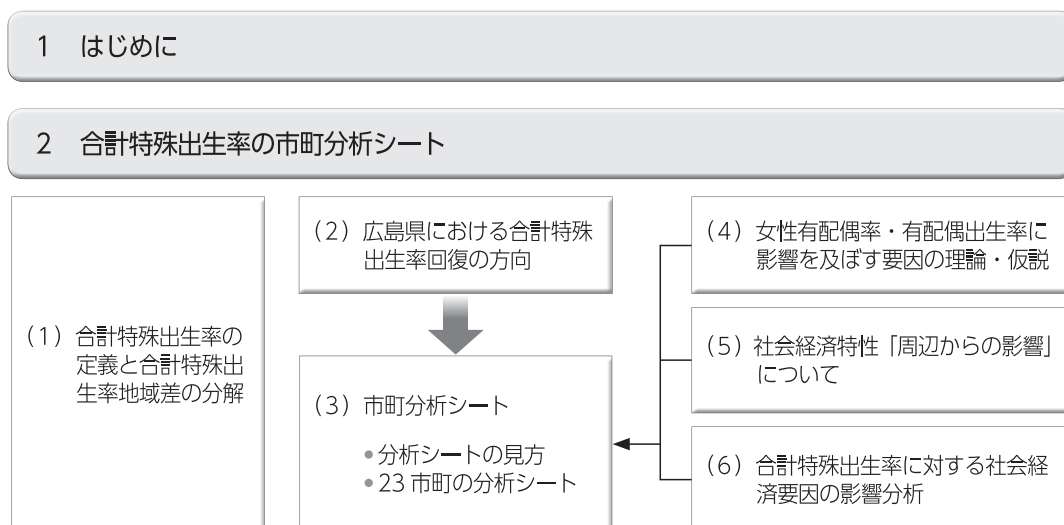
第2章は6節から構成されており、第1節は合計特殊出生率の定義と、その定義から導き出される広島県と市町の合計特殊出生率の差の分解方法について解説した。

第2節は、広島県と市町の合計特殊出生率の差を、女性有配偶率の差の寄与と有配偶出生率の差の寄与に分解し、広島県を基準としたときの各市町の相対的な位置を示した。

第3節は、分析シートの見方を解説した上で、県内の市町ごとに広島県の合計特殊出生率と差が生じている要因の分析や、合計特殊出生率に影響を及ぼしている社会経済特性の状況についてコンパクトにまとめた。

第4節から第6節は、上記分析の背景となった理論・仮説、出生率の地理的な分布、統計分析の結果を整理した。

報告書の構成



2 合計特殊出生率の市町分析シート

(1) 合計特殊出生率の定義と合計特殊出生率地域差の分解

① 合計特殊出生率の定義

(合計特殊出生率は母の年齢階層別出生率の合計したもの)

合計特殊出生率は、ある期間（通常は1年間）において「15歳から49歳までの女性の年齢階層別出生率を合計したもの」であり、下記の定義式で表される。一般に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」と解釈される。

合計特殊出生率の定義式

$$\text{合計特殊出生率} = \left[\frac{\text{母の年齢 15-19歳出生数}}{\text{15-19歳女性人口}} + \frac{\text{母の年齢 20-24歳出生数}}{\text{20-24歳女性人口}} + \dots + \frac{\text{母の年齢 45-49歳出生数}}{\text{45-49歳女性人口}} \right] \times 5$$

② 合計特殊出生率地域差の分解

(母の年齢階層別出生率の差は有配偶率と有配偶出生率の差に分解できる)

合計特殊出生率を構成するある年齢階層別出生率は、その年齢階層の有配偶率と有配偶出生率の積で表すことができる。

図1 年齢階層別出生率の分解（母の年齢20-24歳出生率の例）

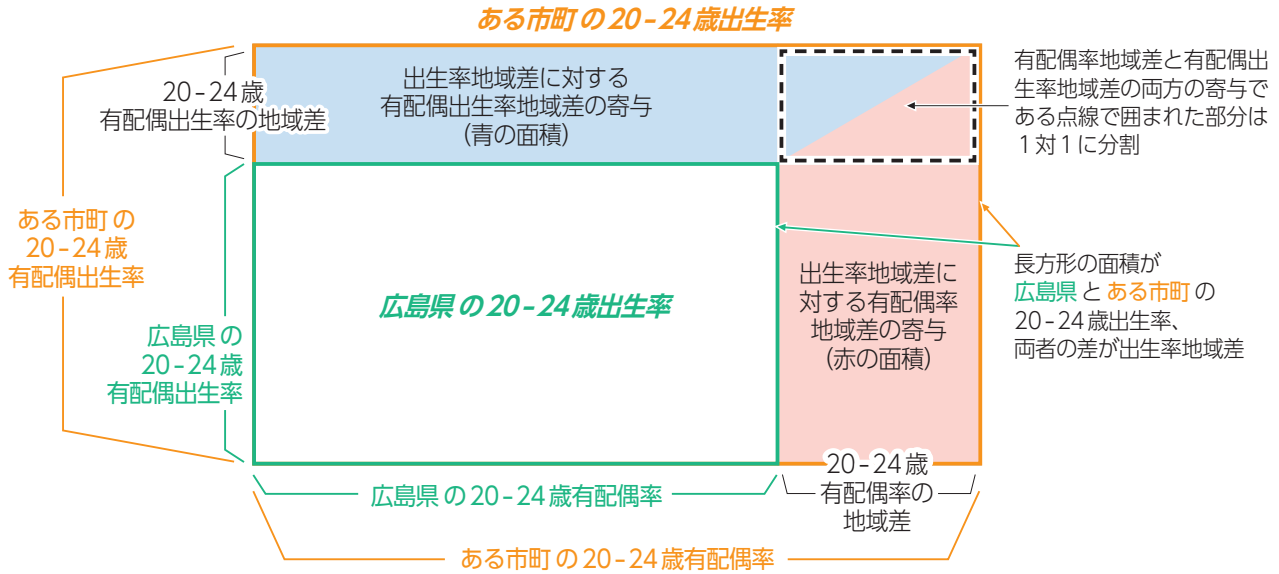
$$\begin{aligned} \text{母の年齢 20-24歳出生率} &= \frac{\text{母の年齢 20-24歳出生数}}{\text{20-24歳女性人口}} \\ &= \underbrace{\frac{\text{20-24歳有配偶女性人口}}{\text{20-24歳女性人口}}}_{\text{有配偶率}} \times \underbrace{\frac{\text{母の年齢 20-24歳出生数}}{\text{20-24歳有配偶女性人口}}}_{\text{有配偶出生率}} \end{aligned}$$

ある年齢階層の出生率は有配偶率と有配偶出生率の積である

このため、図2の通り、二つの地域（図では広島県と県内のある市町）の出生率の差は、有配偶率地域差による部分と有配偶出生率地域差による部分に分解することができる。

本分析では、前者を合計特殊出生率の差に対する当該年齢階層の「有配偶率地域差の寄与」、後者を当該年齢階層の「有配偶出生率地域差の寄与」という。

図2 広島県とある市町の年齢階層別出生率地域差の分解（母の年齢 20-24 歳出生率の例）



③ 年齢階層別有配偶率地域差と年齢階層別有配偶率出生率地域差を再集計

(合計特殊出生率の差を有配偶率と有配偶出生率の差の寄与の二つに分ける)

合計特殊出生率を構成する年齢階層別出生率の地域差を、それぞれ有配偶率地域差の寄与 (図3の赤い部分) と有配偶出生率地域差の寄与 (図3の青い部分) にいったん分解した後に、各年齢階層の有配偶率地域差の寄与に再集計すると、合計特殊出生率の地域差に対する「有配偶率地域差の寄与」が算出できる。

同様に、各年齢階層の有配偶出生率地域差の寄与を再集計すると、合計特殊出生率の地域差に対する「有配偶出生率地域差の寄与」が算出される。

このように、合計特殊出生率の地域差は、「有配偶率地域差の寄与」と「有配偶出生率地域差の寄与」の二項に分解され、広島県と各市町の合計特殊出生率の差を対象とした分解の結果が、5ページの図6に表わされている。

図3 合計特殊出生率地域差の有配偶率地域差の寄与と有配偶出生率地域差の寄与への分解

合計特殊出生率の地域差

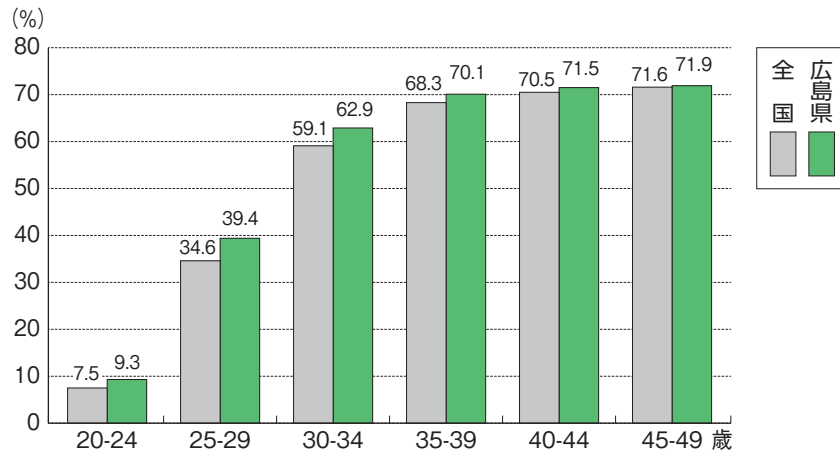
$$\begin{aligned}
 &= \left[\begin{array}{c} \text{15-19歳女性の出生率の地域差} \\ + \\ \text{20-24歳女性の出生率の地域差} \\ + \dots \dots \dots \\ + \\ \text{45-49歳女性の出生率の地域差} \end{array} \right] \times 5 \\
 &= \left[\begin{array}{c} \text{15-19歳女性の有配偶率地域差の寄与} \\ + \text{15-19歳女性の有配偶出生率地域差の寄与} \\ + \text{20-24歳女性の有配偶率地域差の寄与} \\ + \text{20-24歳女性の有配偶出生率地域差の寄与} \\ + \dots \dots \dots \\ + \text{45-49歳女性の有配偶率地域差の寄与} \\ + \text{45-49歳女性の有配偶出生率地域差の寄与} \end{array} \right] \times 5 \\
 &= \left[\begin{array}{c} \text{有配偶率地域差の寄与} \\ \left(\begin{array}{c} \text{15-19歳女性の有配偶率地域差の寄与} \\ + \text{20-24歳女性の有配偶率地域差の寄与} \\ + \dots \dots \dots \\ + \text{45-49歳女性の有配偶率地域差の寄与} \end{array} \right) \\ + \\ \text{有配偶出生率地域差の寄与} \\ \left(\begin{array}{c} \text{15-19歳女性の有配偶出生率地域差の寄与} \\ + \text{20-24歳女性の有配偶出生率地域差の寄与} \\ + \dots \dots \dots \\ + \text{45-49歳女性の有配偶出生率地域差の寄与} \end{array} \right) \end{array} \right] \times 5 \\
 &= \left[\begin{array}{c} \text{女性有配偶率地域差の寄与} \\ + \\ \text{有配偶出生率地域差の寄与} \end{array} \right] \times 5
 \end{aligned}$$

基準地域である広島県で有配偶出生率が高い年齢階層で有配偶率の差が大きいと、合計特殊出生率の差が大きくなる

図3の通り、ある年齢階層の有配偶率地域差の寄与は、広島県とある市町の当該年齢階層における有配偶率の差と広島県の有配偶出生率の積である（図2の点線で囲まれた長方形部分を除く）。このため、広島県で有配偶出生率が高い年齢階層で有配偶率の差が大きいと、広島県と市町の間で合計特殊出生率に大きな差が生じる。

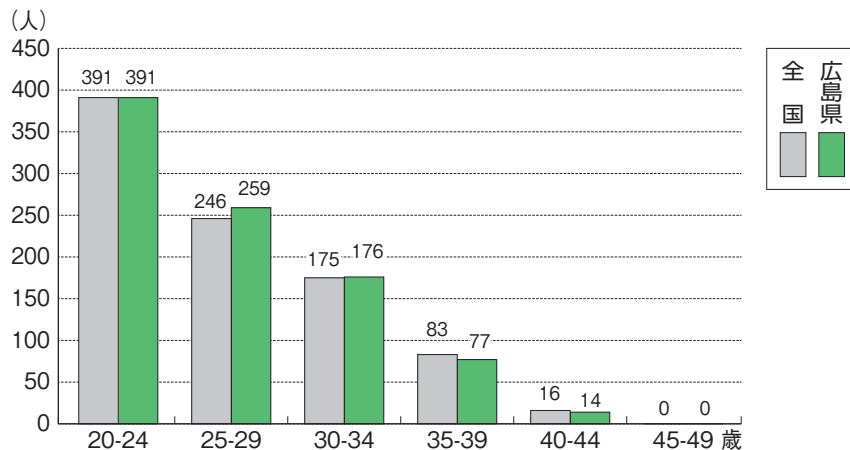
年齢階層別有配偶率は年齢とともに上昇し、年齢階層別有配偶出生率は年齢に従って低下する（図4、図5）。したがって、有配偶出生率の高い20歳代の有配偶率が高い地域は、他の地域に比べ合計特殊出生率が高くなる傾向がみられる。

図4 年齢階層別女性有配偶率（全国、2015年）



(注) 市町分析シートにおける広島県の年齢階層別有配偶率は2010年と2015年の平均値であり、図4の年齢階層別女性有配偶率と一致しない
資料：総務省「国勢調査」

図5 年齢階層別有配偶女性千人当たり出生数（全国、2015年）



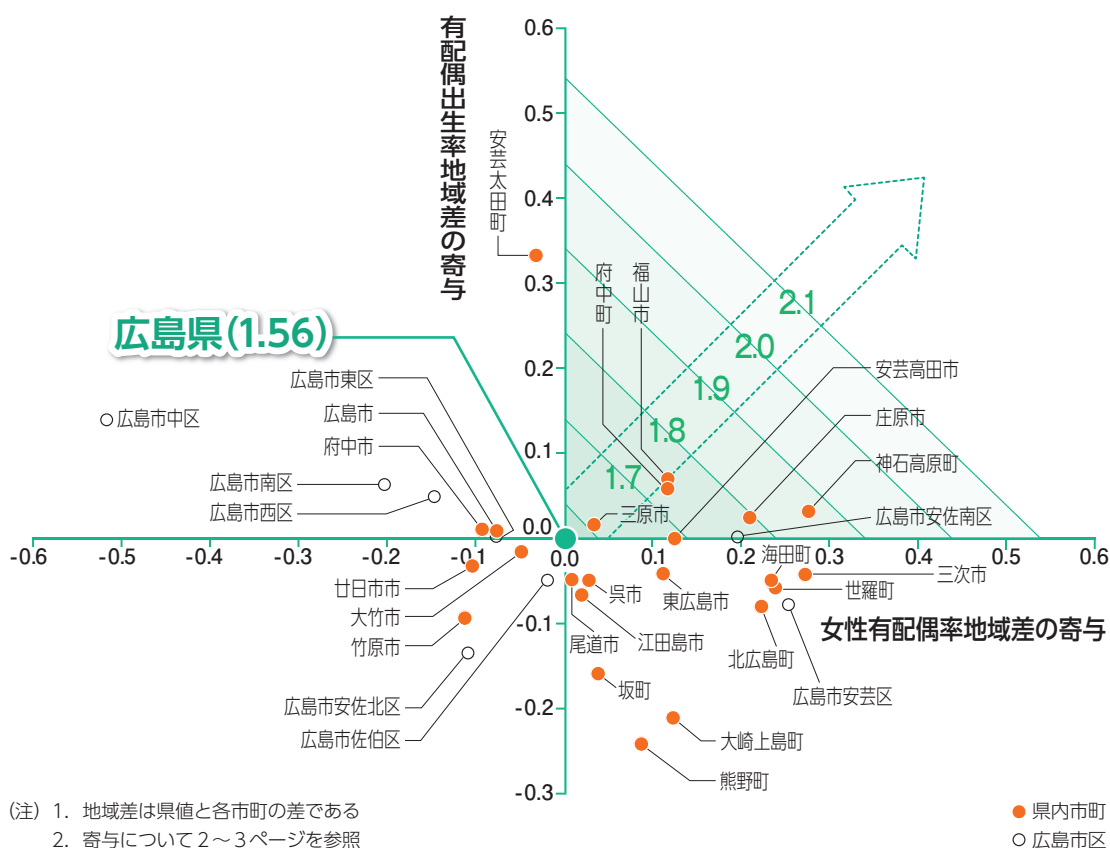
(注) 市町分析シートにおける広島県の年齢階層別有配偶出生率は2011年から2015年までの出生数を合計して算出しており、図5の年齢階層別有配偶出生率と一致しない
資料：厚生労働省「人口動態統計」、総務省「国勢調査」

(2) 広島県における合計特殊出生率回復の方向

2011年から2015年までの出生数を集計して算出した広島県の合計特殊出生率は1.56である。全国の1.45を上回るものの、現在のわが国における死亡水準を前提とした人口置換水準2.07を大きく下回っている。

今後の合計特殊出生率の回復は、女性有配偶率と有配偶出生率の上昇によってもたらされる。このため、下図の原点を現在の広島県の合計特殊出生率の水準1.56とし、第I象限の右上は、今後の広島県における出生率回復の方向を示している。

図6 県内市区町合計特殊出生率地域差の
女性有配偶率地域差と有配偶出生率地域差による分解



また、この図には県内の市区町の合計特殊出生率と広島県との差が、女性有配偶率の県との差と、有配偶出生率の県との差によって表されている。

今後、広島県が合計特殊出生率の回復を目指していく上で、各市区町がどのようなポジションにあるのかがわかると同時に、各市区町が合計特殊出生率の上昇に取り組む上で、有配偶率と有配偶出生率の状況に基づき、どのように課題設定をすればよいかが検討できる。広島県と県内市区町が課題認識を共有し、出生率回復に連携して取り組むための出発点を表わしている。

(3) 市町分析シート(見方、分析シート)

広島県と県内市町の合計特殊出生率の差を、有配偶率と有配偶出生率に分けて表し、各市町の有配偶率と有配偶出生率に対して影響を及ぼしている社会経済特性を示した「市町分析シート」を作成した。

寄与分解

合計特殊出生率の県との差を、有配偶率地域差の寄与と有配偶出生率地域差の寄与に分解したものを。

広島県が出生率の上昇を目指す上で、各市町が有配偶率と有配偶出生率の上昇にどのように取り組めばよいか分かる。

2011～2015年の合計特殊出生率

2011年から2015年の人口動態調査の出生数を集計し、国勢調査の有配偶者数をに基づき、合計特殊出生率を独自に算出したもの。広島県との比較や出生構造要因の分析に用いた。

出生数(2015年)

本分析で、合計特殊出生率の算出の基礎とした15歳から49歳までの女性による出生数である。

女性有配偶率

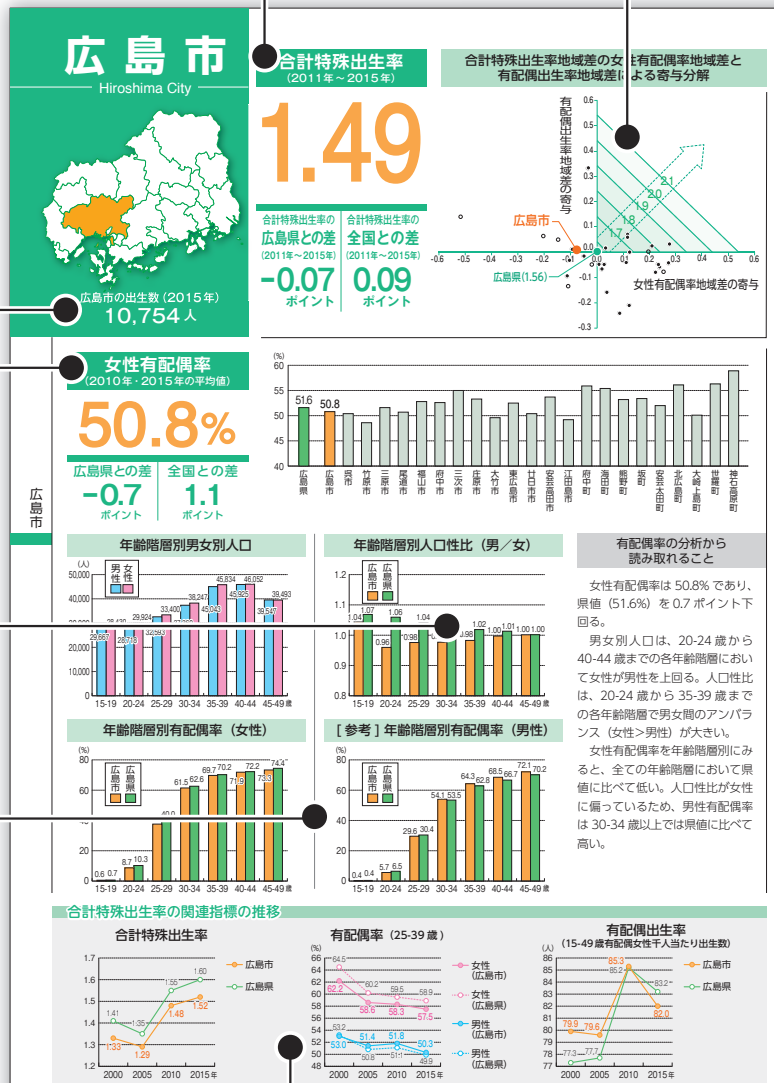
合計特殊出生率の出生数は2011年から2015年を集計したため、有配偶者数は2010年と2015年の国勢調査の平均値とした。数値は15歳から49歳の女性有配偶率の2010年と2015年の平均値である。広島県の有配偶率との差がわかる。

人口性比

男女の有配偶率は地域の人口性比の影響を受ける。一般に、男/女でみた人口性比が高いほど女性の結婚に有利に働き、低いと男性の有配偶率が上昇する傾向がみられる。

年齢階層別有配偶率

年齢階層別の有配偶率の広島県との違いがわかる。また、有配偶出生率は年齢階層が若いほど高いため、若い年齢階層の有配偶率が高い方が、全体の出生率が高くなる。反対に、若い年齢階層で有配偶率が低いと全体の出生率は低くなる。



8 合計特殊出生率の市町分析シート

合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率、有配偶率、有配偶出生率の推移を広島県の動きと比較するため、2000年から2015年までの5年ごとの単年の値を示した。単年であるため、合計特殊出生率と有配偶出生率は変動が大きい。

有配偶出生率

2011年から2015年の出生数を集計して、有配偶女性千人当たり出生数により有配偶者出生率を示した。広島県の有配偶出生率との差がわかる。

母の年齢階層別有配偶出生率

年齢階層別の有配偶出生率の広島県との違いがわかる。

ただし、出生数が多い年齢階層は25-29歳と30-34歳であり、これらの年齢階層で有配偶出生率が低いと全体の出生率が低くなる。

出生順位別有配偶出生率

出生順位別の有配偶出生率の広島県との違いがわかる。

どの出生順位も、各年齢階層の有配偶女性全体が分母であるため、ある出生順位の有配偶出生率が大きいと他の出生順位は低くなる傾向がある。

出生率に影響している市町の社会経済特性

合計特殊出生率に対して影響を及ぼすと考えられる社会経済特性について「各市町の得点」を県内市町の中で相対化（平均10、標準偏差1）して算出したもの。

市町平均を10点として表しており、10点を上回れば、当該市町でその特性の得点が市町平均よりも高いことを示す。

得点は当該市町の特性の大きさ

得点は各市町の社会経済特性の大きさを示しているものの、有配偶率や有配偶出生率の上昇を図る上でどの社会経済特性を改善すると効果の大きいかは得点だけではわからない。

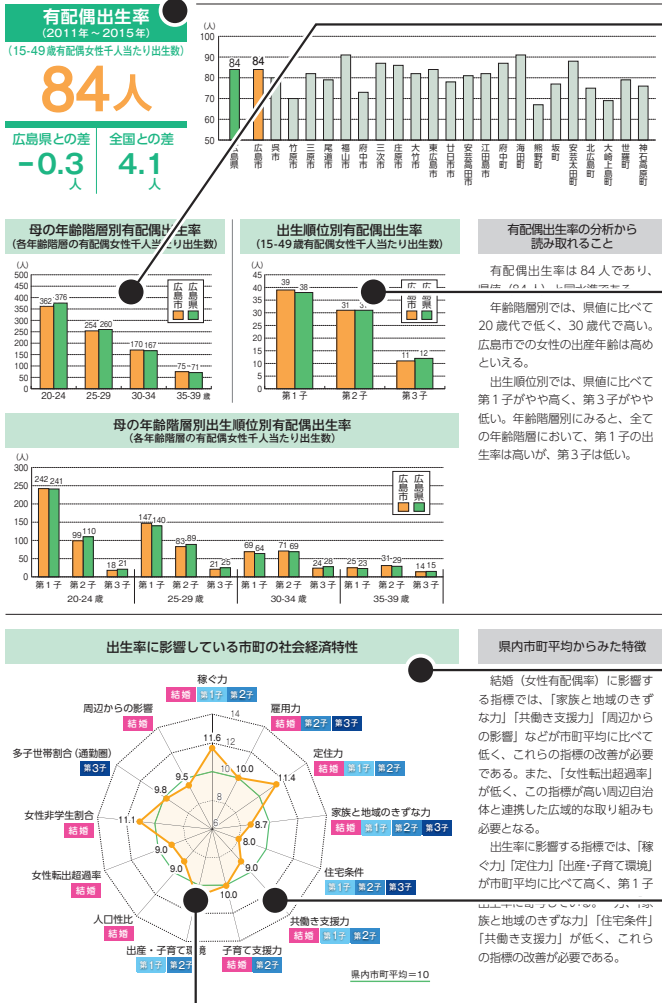
各特性の変化により有配偶率や有配偶出生率がどのくらい変化するかは、標準偏回帰係数をみる必要がある（58ページ参照）。※人口性比（男/女）は、代表指数として25-29歳を得点化した

軸は社会経済特性

各特性が、女性有配偶率（結婚）や、どの出生順位の有配偶出生率に影響するかを示した。

各社会経済特性が市町平均の10点より高いか低いかだけでなく、有配偶率や有配偶出生率の「広島県との差」と見比べながら、課題を検討する必要がある。

市町分析シート / 広島市



広島市

呉市

福山市

三原市

尾道市

福山市

府中市

三次市

庄原市

大竹市

東広島市

廿日市市

安芸高田市

江田島市

府中町

熊野町

坂町

安芸太田町

北広島町

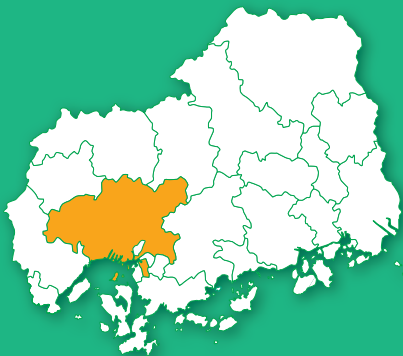
大崎上島町

世羅町

神石高原町

広島市

Hiroshima City



広島市の出生数(2015年)
10,754人

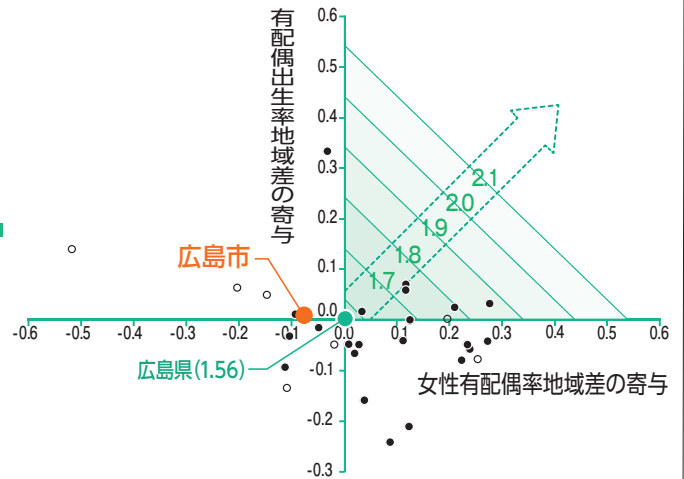
合計特殊出生率 (2011年~2015年)

1.49

合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年~2015年)
-0.07
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年~2015年)
0.09
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



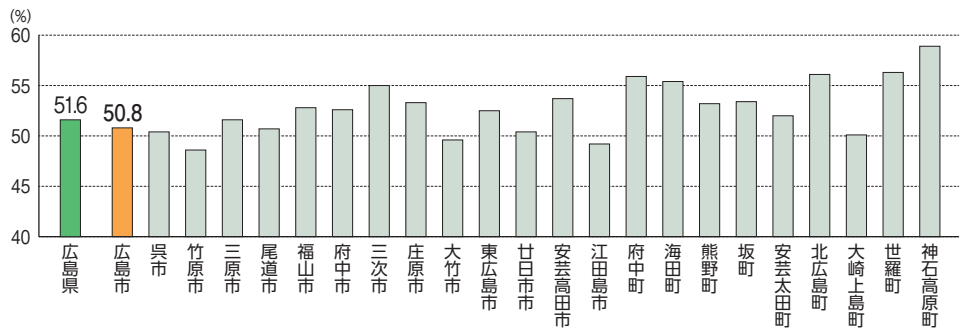
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

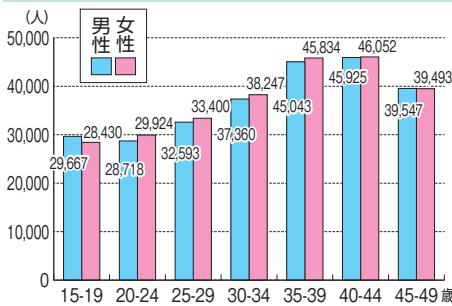
50.8%

広島県との差
-0.7
ポイント

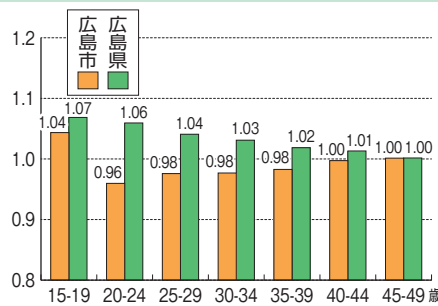
全国との差
1.1
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比 (男/女)



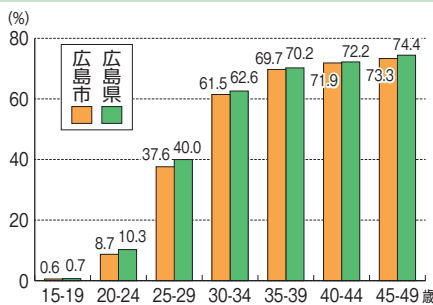
有配偶率の分析から読み取れること

女性有配偶率は50.8%であり、県値(51.6%)を0.7ポイント下回る。

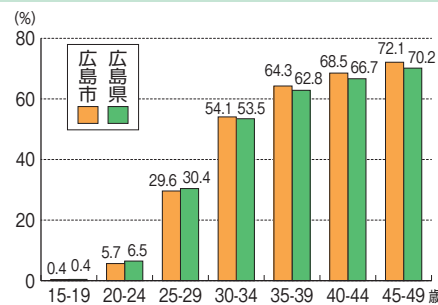
男女別人口は、20-24歳から40-44歳までの各年齢階層において女性が男性を上回る。人口性比は、20-24歳から35-39歳までの各年齢階層で男女間のアンバランス(女性>男性)が大きい。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、全ての年齢階層において県値に比べて低い。人口性比が女性に偏っているため、男性有配偶率は30-34歳以上では県値に比べて高い。

年齢階層別有配偶率 (女性)

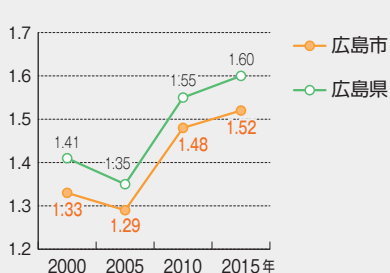


[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)

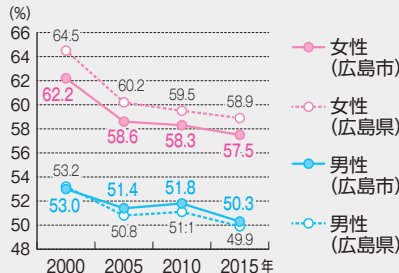


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

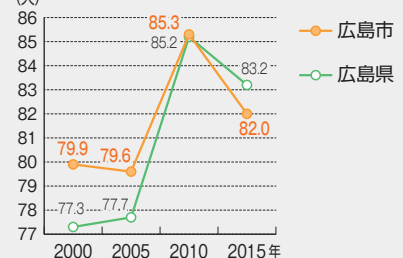


有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



有配偶出生率

(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

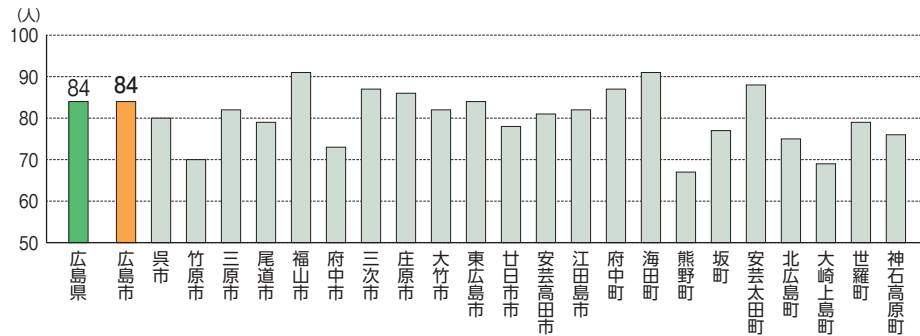
84人

広島県との差

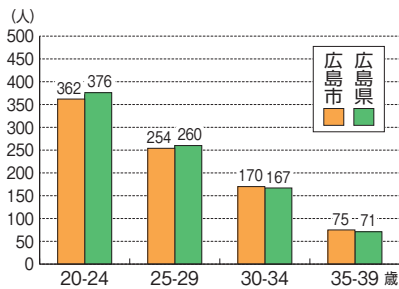
-0.3人

全国との差

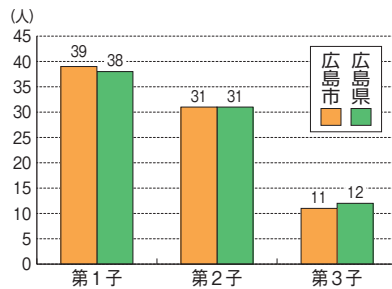
4.1人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



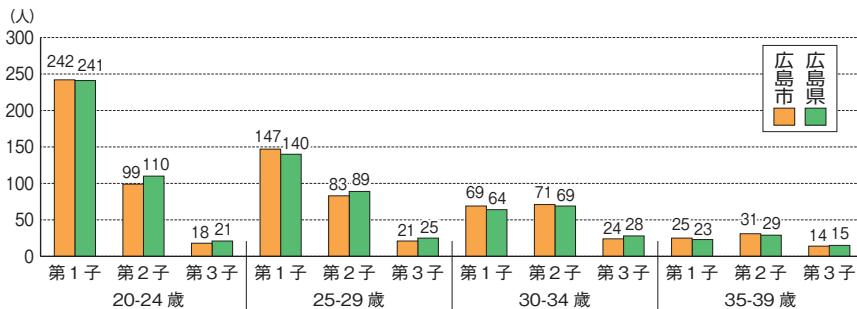
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は84人であり、県値(84人)と同水準である。

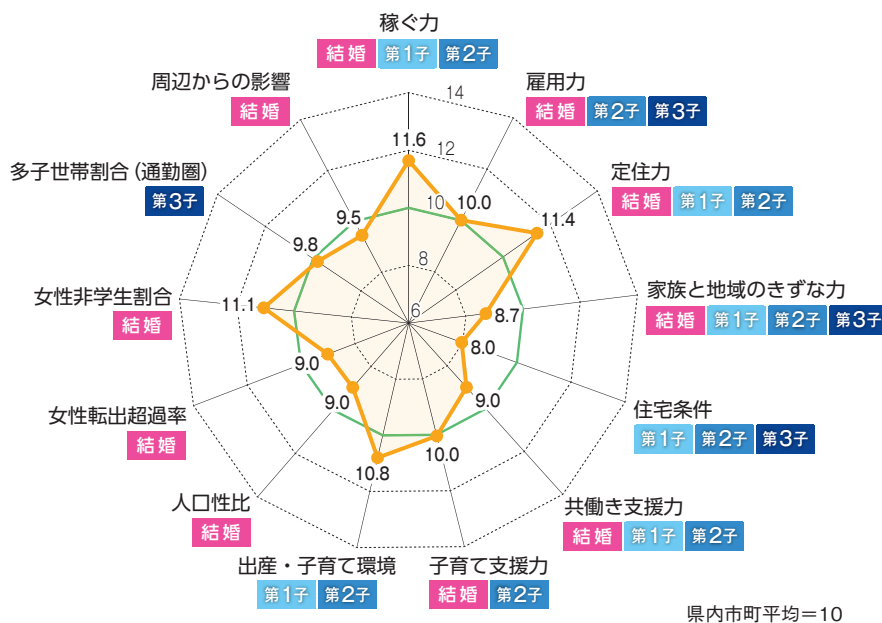
年齢階層別では、県値に比べて20歳代で低く、30歳代で高い。広島市での女性の出産年齢は高めといえる。

出生順位別では、県値に比べて第1子がやや高く、第3子がやや低い。年齢階層別にみると、全ての年齢階層において、第1子の出生率は高いが、第3子は低い。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「家族と地域のきずな力」「共働き支援力」「周辺からの影響」などが市町平均に比べて低く、これらの指標の改善が必要である。また、「女性転出超過率」が低く、この指標が高い周辺自治体と連携した広域的な取り組みも必要となる。

出生率に影響する指標では、「稼ぐ力」「定住力」「出産・子育て環境」が市町平均に比べて高く、第1子出生率に寄与している。一方、「家族と地域のきずな力」「住宅条件」「共働き支援力」が低く、これらの指標の改善が必要である。

広島市

呉市

竹原市

三原市

尾道市

福山市

府中市

三次市

庄原市

大竹市

東広島市

廿日市市

安芸高田市

江田島市

府中町

海田町

熊野町

坂町

安芸太田町

北広島町

大崎上島町

世羅町

神石高原町

呉市

Kure City

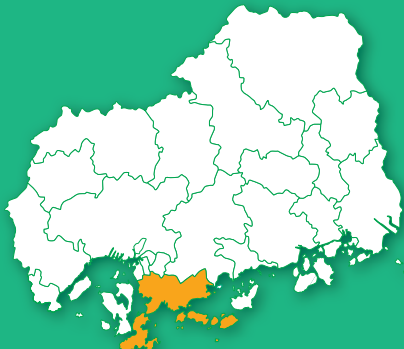
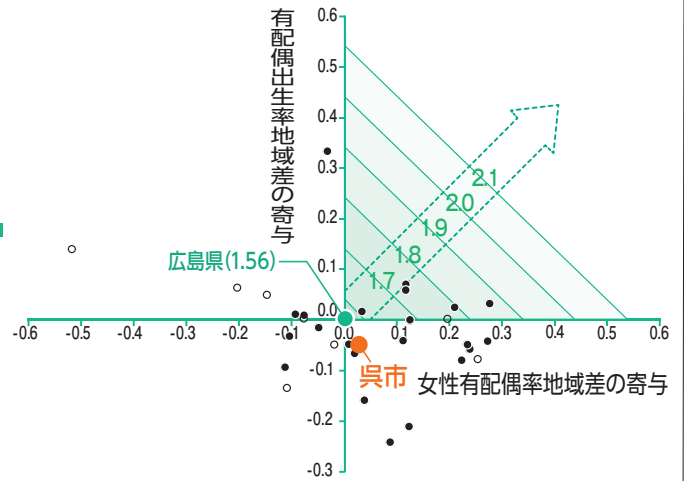
合計特殊出生率 (2011年～2015年)

1.53

合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年～2015年) **-0.03**
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年～2015年) **0.14**
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



呉市の出生数 (2015年)
1,588人

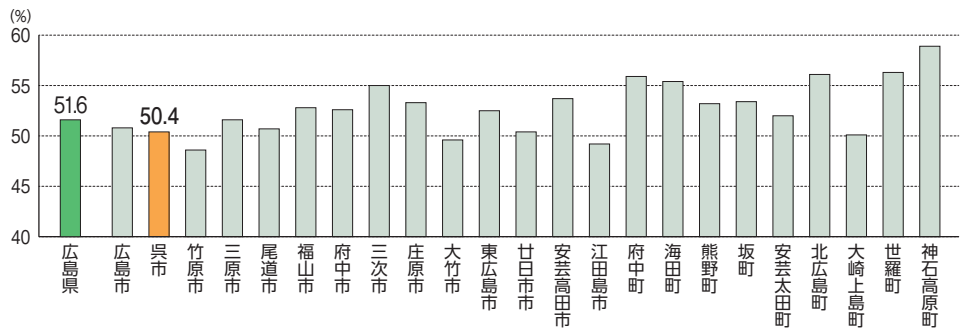
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

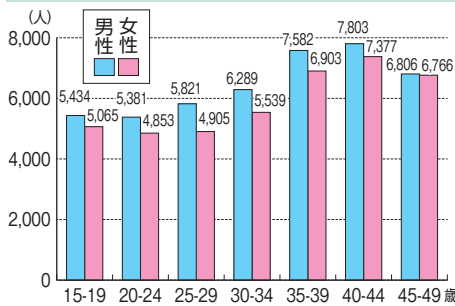
50.4%

広島県との差 **-1.2**
ポイント

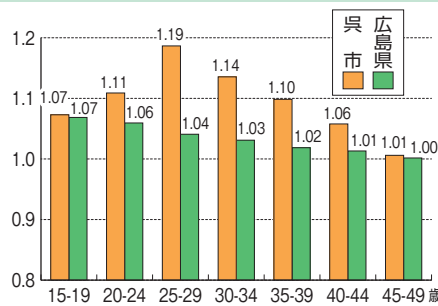
全国との差 **0.7**
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比 (男/女)



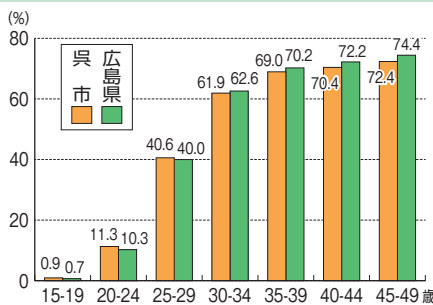
有配偶率の分析から読み取れること

女性有配偶率は50.4%であり、県値(51.6%)を1.2ポイント下回る。

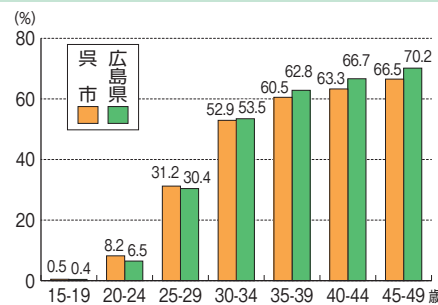
男女別人口は、全ての年齢階層において女性が男性を下回る。人口性比は、25-29歳、30歳代の各年齢階層で男女間のアンバランス(女性<男性)が大きい。

女性有配偶率を年齢階層別に見ると、25-29歳までの各年齢階層では県値に比べて高いが、30-34歳以降は県値より低く、女性有配偶率が県値を下回っている要因となっている。男性有配偶率も同様の傾向にある。

年齢階層別有配偶率 (女性)

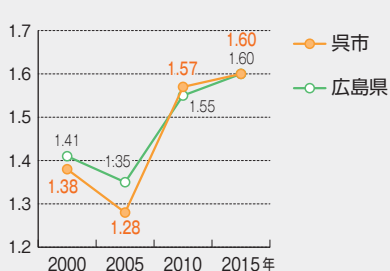


[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)

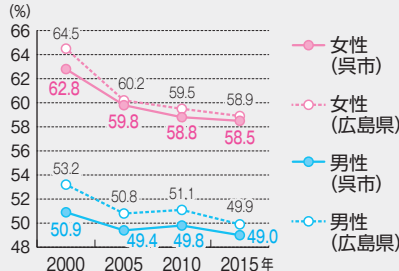


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

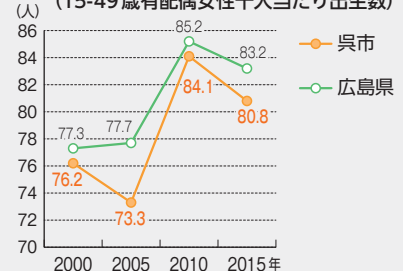


有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



有配偶出生率

(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

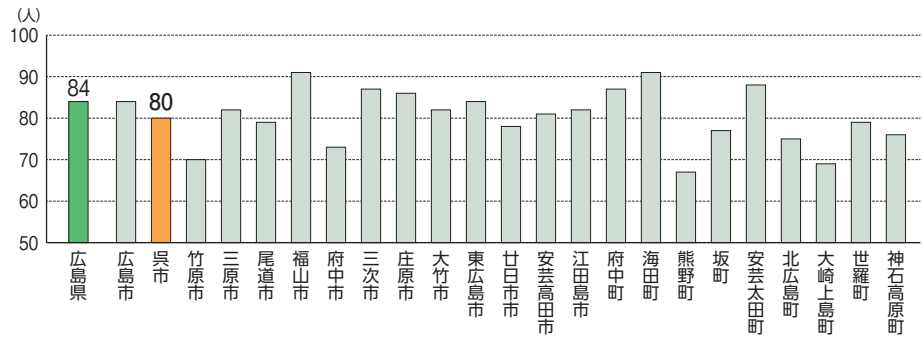
80人

広島県との差

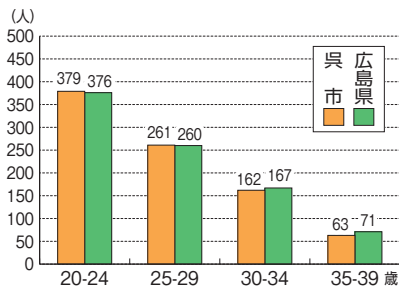
-3.5人

全国との差

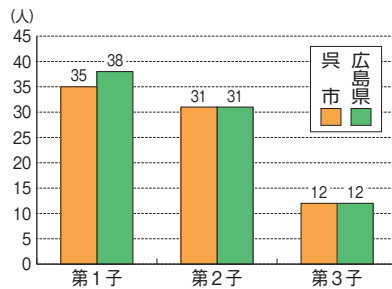
1.0人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



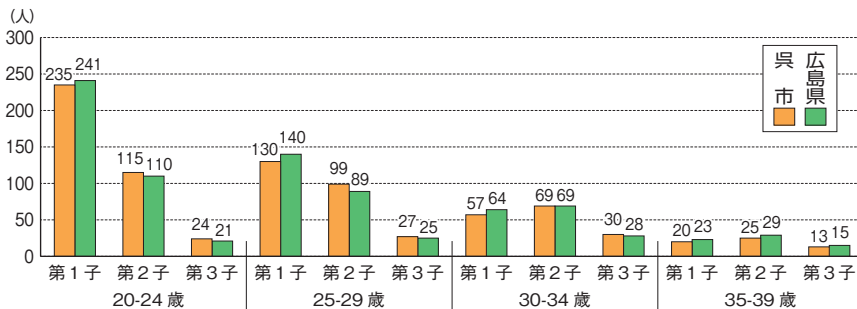
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は80人であり、県値(84人)を3.5人下回る。

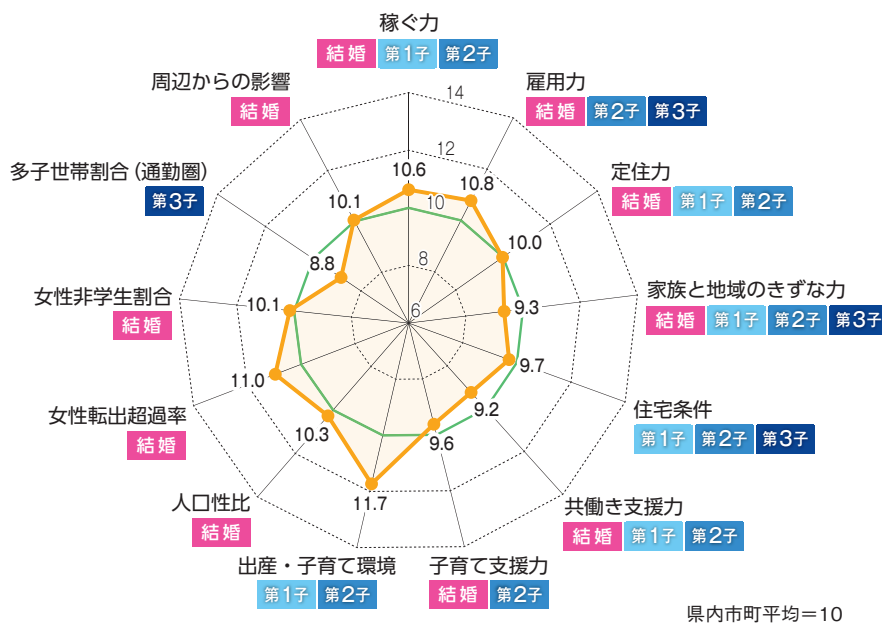
年齢階層別では、県値に比べて20歳代でやや高いが、30歳代では低い。

出生順位別では、県値に比べて第1子が低い。年齢階層別にみると、全ての年齢階層で第1子の出生率が県値に比べ低く、有配偶出生率が県値を下回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「家族と地域のきずな力」「共働き支援力」が市町平均に比べて低く、これらの指標の改善が必要である。また、「女性転出超過率」が高く、この指標が低い周辺自治体との広域的な取り組みも必要となる。

出生率に影響する指標では、「家族と地域のきずな力」「住宅条件」「共働き支援力」「子育て支援力」が低く、これらの指標の改善が必要である。

広島市

呉市

竹原市

三原市

尾道市

福山市

府中市

三次市

庄原市

大竹市

東広島市

廿日市市

安芸高田市

江田島市

府中町

海田町

熊野町

坂町

安芸太田町

北広島町

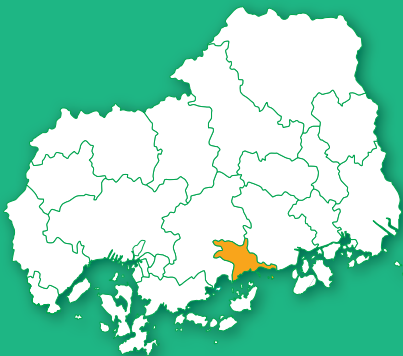
大崎上島町

世羅町

神石高原町

竹原市

Takehara City



竹原市の出生数(2015年)
140人

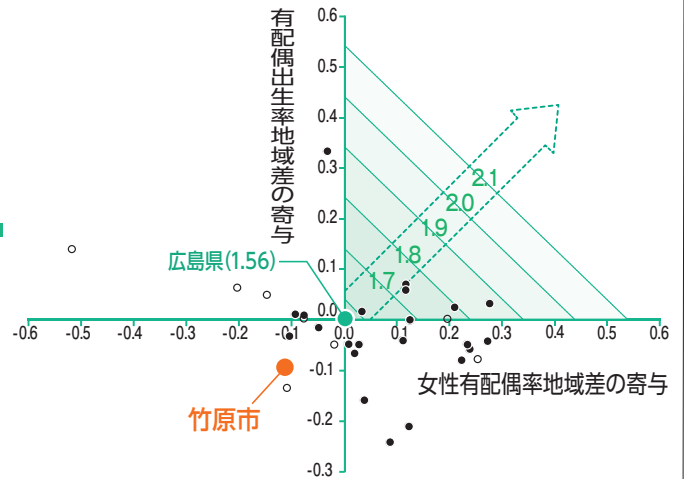
合計特殊出生率 (2011年~2015年)

1.36

合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年~2015年)
-0.21
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年~2015年)
-0.04
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



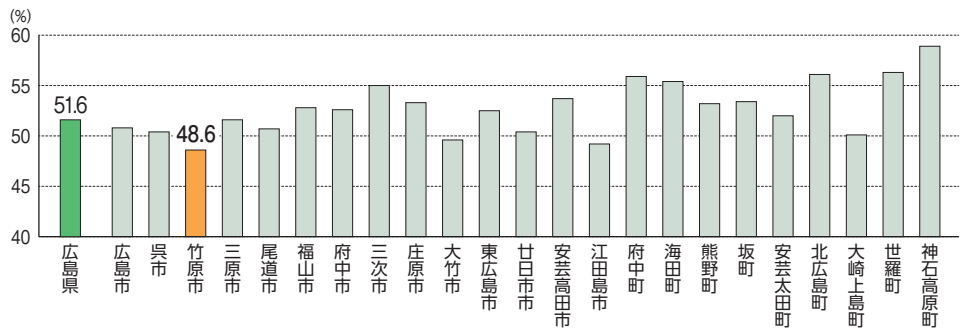
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

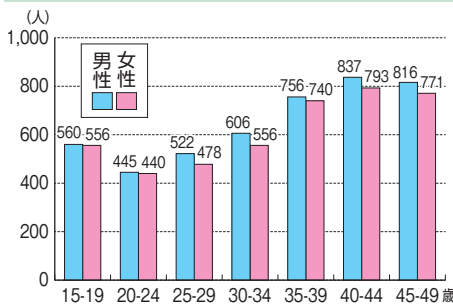
48.6%

広島県との差
-3.0
ポイント

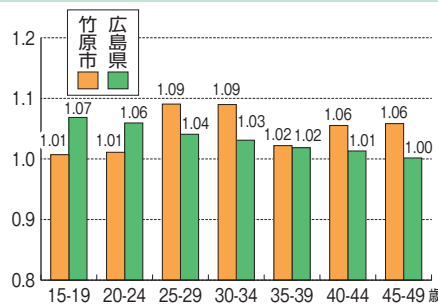
全国との差
-1.1
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比 (男/女)



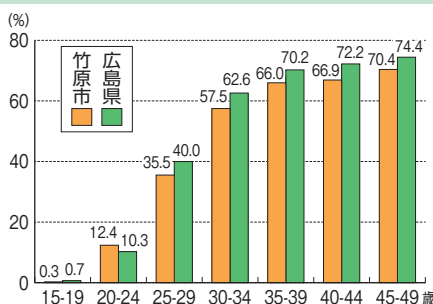
有配偶率の分析から 読み取れること

女性有配偶率は48.6%であり、県値(51.6%)を3.0ポイント下回り、県内で最も低い。

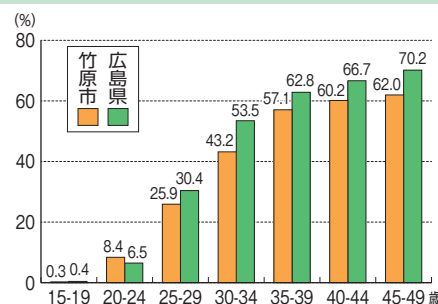
男女別人口は、全ての年齢階層において女性が男性を下回る。人口性比は、25-29歳、30-34歳の男女間のアンバランス(女性<男性)が大きい。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、25-29歳以上の各年齢階層で県値に比べて低く、女性有配偶率が県値を下回っている要因となっている。男性有配偶率も同様の傾向にある。

年齢階層別有配偶率 (女性)

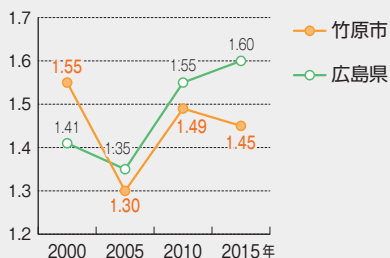


[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)

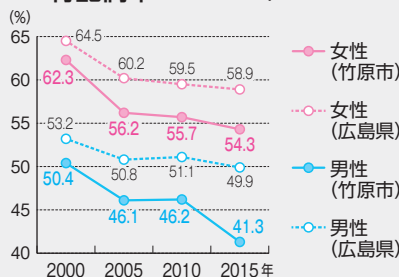


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

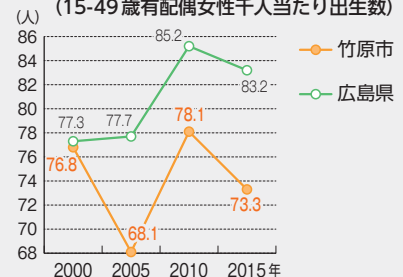


有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



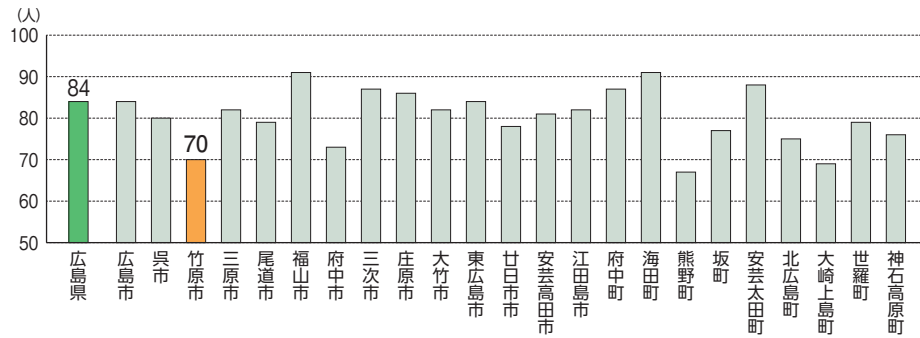
有配偶出生率 (2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

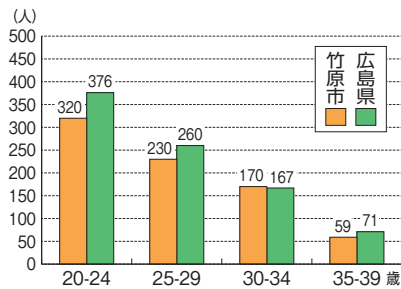
70人

広島県との差
-13.4
人

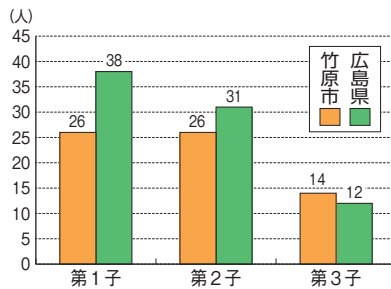
全国との差
-8.9
人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



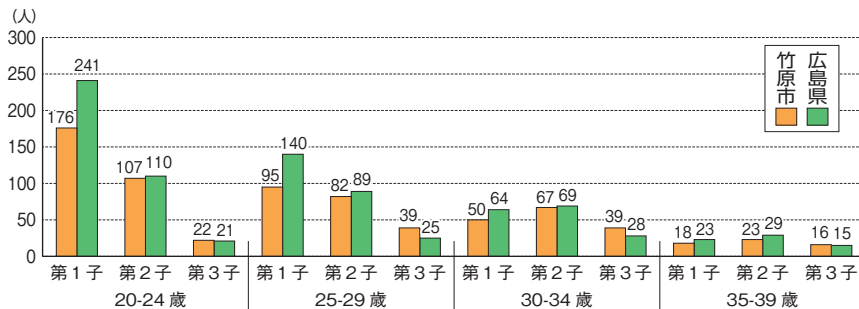
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は70人であり、県値(84人)を13.4人下回る。県内では2番目に低く、全市の中では最も低い。

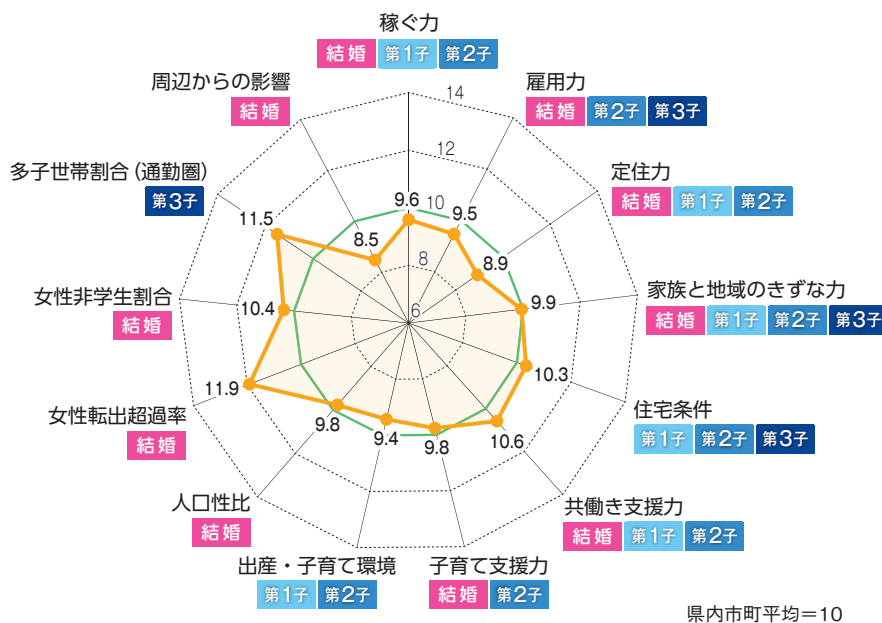
年齢階層別では、県値に比べて30-34歳でやや高いが、その他の年齢階層では低い。

出生順位別では、第1子、第2子が県値に比べて低い。年齢階層別にみると、20歳代で第1子の出生率が県値に比べて低く、有配偶出生率が県値を下回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「稼ぐ力」「雇用力」「定住力」「子育て支援力」「周辺からの影響」などが市町平均に比べて低く、これらの指標の改善が必要である。また、「女性転出超過率」が高く、この指標が低い周辺自治体と連携した広域的な取組みも必要となる。

出生率に影響する指標では、「住宅条件」「多子世帯割合」は高く、第3子出生率に寄与している。一方、第1子、第2子の出生率に寄与する「稼ぐ力」「定住力」「出産・子育て環境」が低く、これらの指標の改善が必要である。

三原市

Mihara City

合計特殊出生率 (2011年～2015年)

1.61

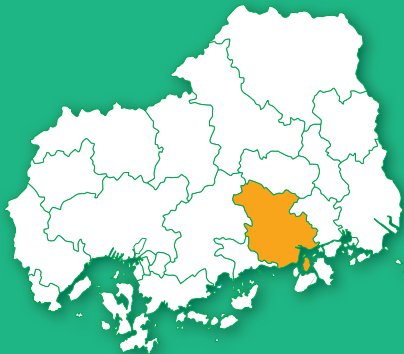
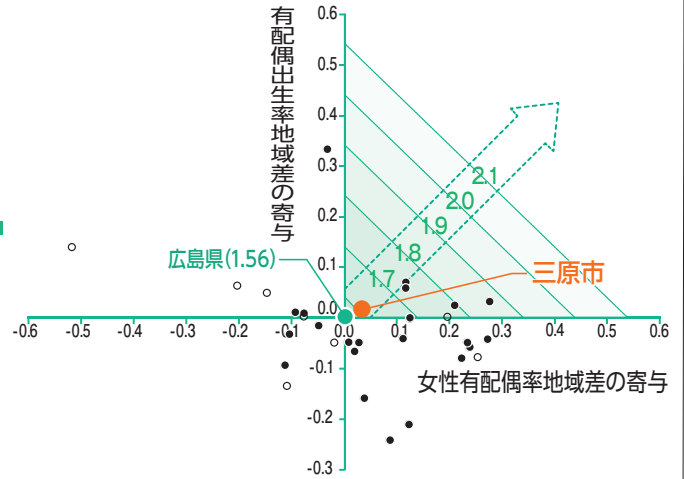
合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年～2015年)

0.05
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年～2015年)

0.21
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



三原市の出生数(2015年)
687人

女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

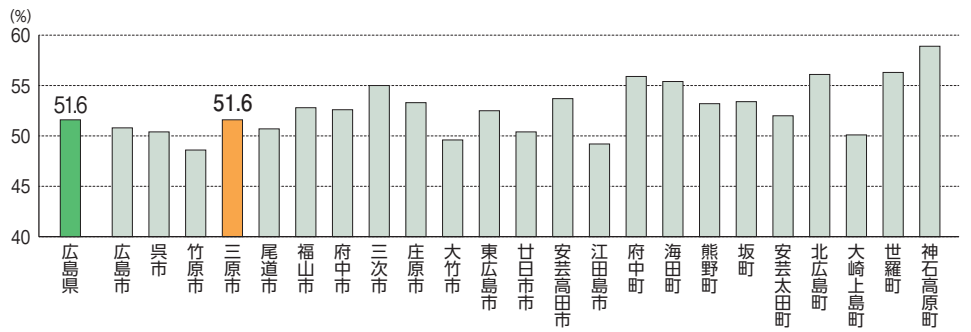
51.6%

広島県との差

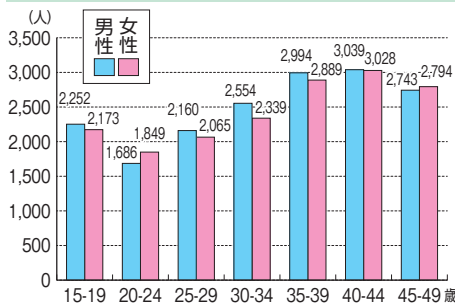
0.0
ポイント

全国との差

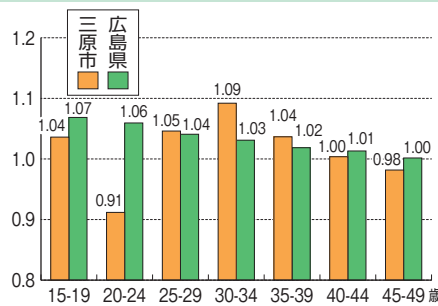
1.9
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比(男/女)



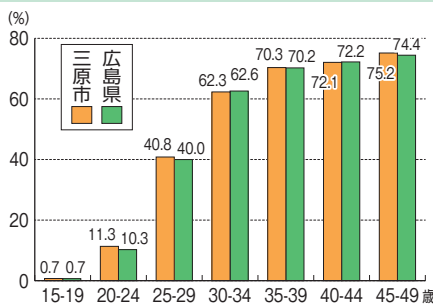
有配偶率の分析から 読み取れること

女性有配偶率は51.6%であり、県値(51.6%)と同水準である。

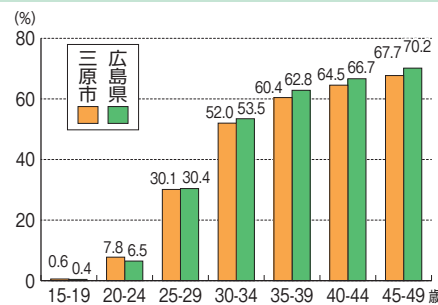
男女別人口は、20-24歳、45-49歳の年齢階層で女性が男性を上回るが、その他の年齢階層では女性が下回る。人口性比は、20-24歳(女性>男性)、30-34歳(女性<男性)における男女間のアンバランスが大きい。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、20歳代と45-49歳で県値に比べて高いが、その他の各年齢階層では県値並みである。男性有配偶率は、人口性比の県値差を反映し、県値より低い。

年齢階層別有配偶率(女性)

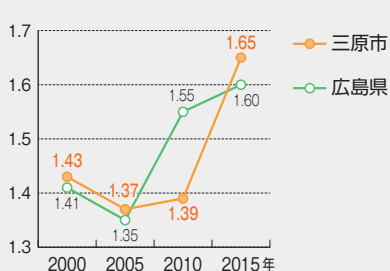


[参考] 年齢階層別有配偶率(男性)

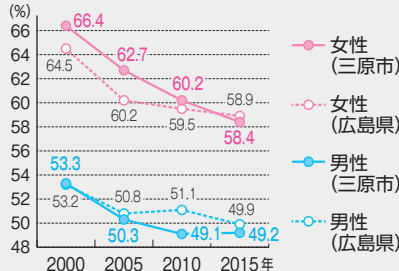


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

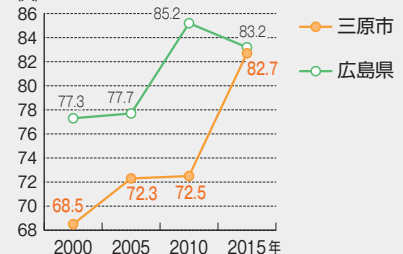


有配偶率(25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



有配偶出生率

(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

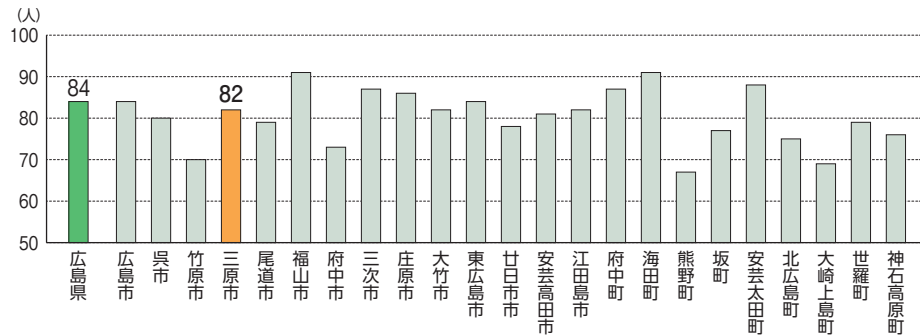
82人

広島県との差

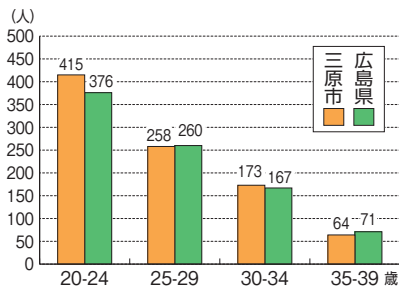
-1.4
人

全国との差

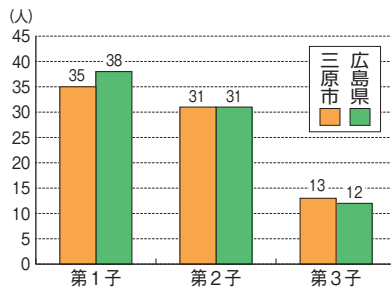
3.1
人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



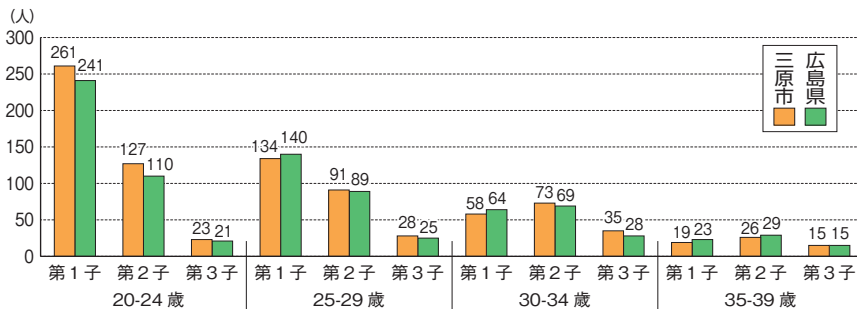
出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



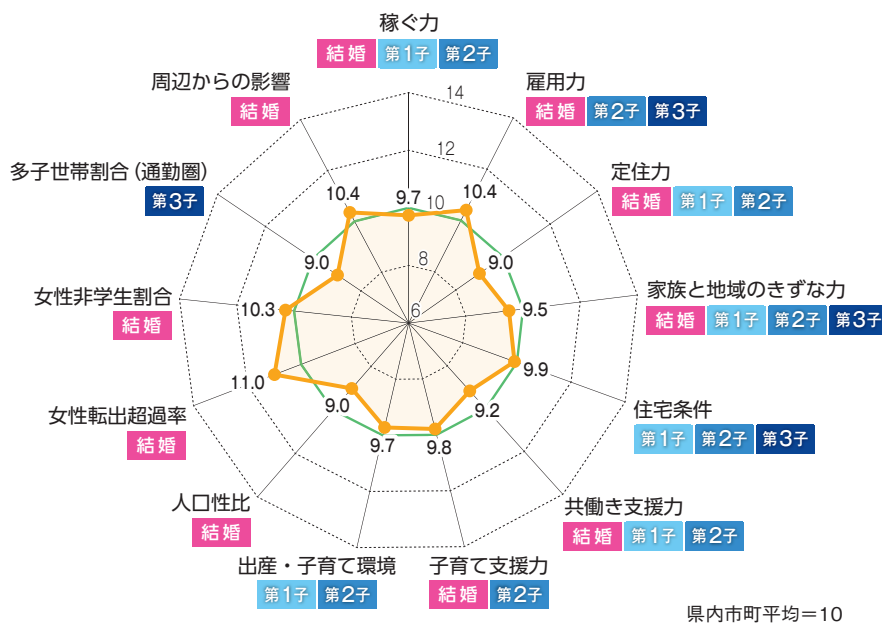
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は82人であり、県値(84人)を1.4人下回る。年齢階層別では、県値に比べて20-24歳、30-34歳で高いが、25-29歳、35-39歳では低い。出生順位別では、第1子が県値に比べて低い。年齢階層別にみると、第1子の出生率が25-29歳以上の各年齢階層で低く、有配偶出生率が県値を下回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性

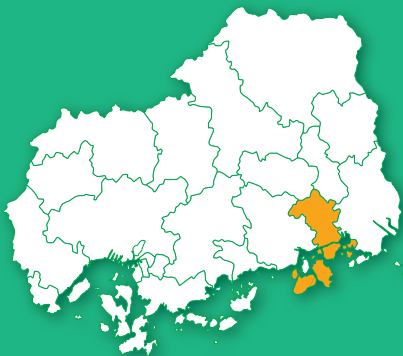


県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「稼ぐ力」「定住力」「家族と地域のきずな力」「共働き支援力」「子育て支援力」などが市町平均に比べて低く、これらの指標の改善が必要である。また、「女性転出超過率」が高く、この指標が低い周辺自治体と連携した広域的な取組みも必要となる。出生率に影響する指標のうち、第1子出生率に寄与する全ての指標が市町平均より低く、これらの指標の改善が必要である。

尾道市

Onomichi City



尾道市の出生数(2015年)
923人

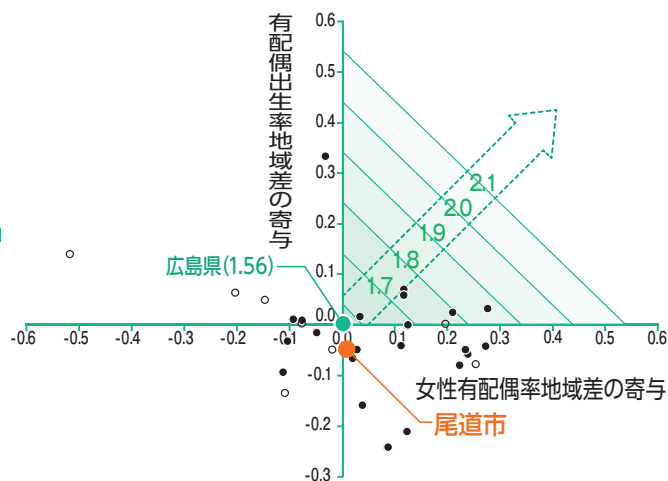
合計特殊出生率 (2011年~2015年)

1.52

合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年~2015年)
-0.04
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年~2015年)
0.12
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



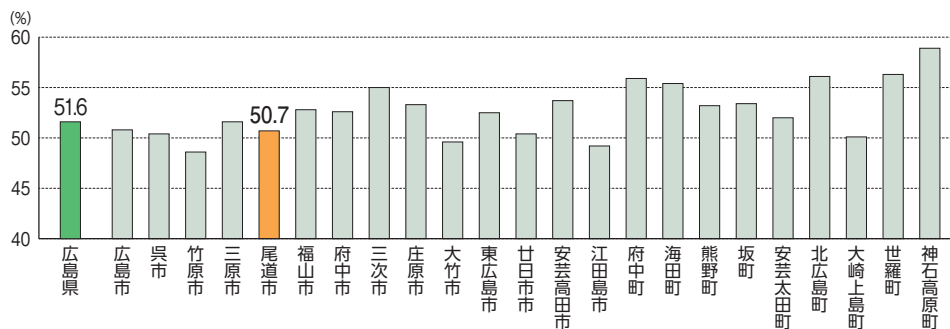
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

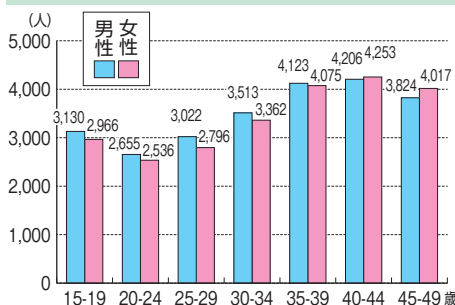
50.7%

広島県との差
-0.9
ポイント

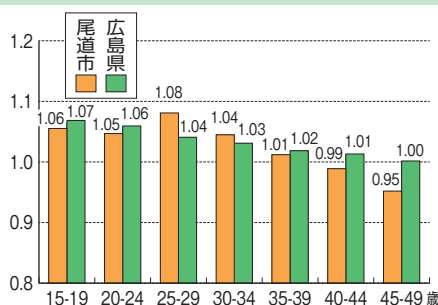
全国との差
0.9
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比(男/女)



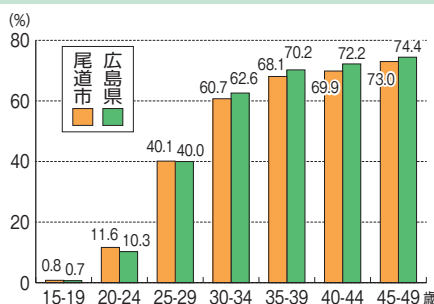
有配偶率の分析から 読み取れること

女性有配偶率は50.7%であり、県値(51.6%)を0.9ポイント下回る。

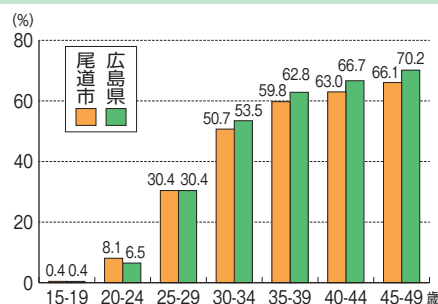
男女別人口は、35-39歳までの各年齢階層において女性が男性を下回り、40-44歳以上では上回る。人口性比は、25-29歳(女性<男性)、45-49歳(女性>男性)で男女間のアンバランスが大きい。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、25-29歳までの各年齢階層では県値に比べてやや高いが、30-34歳以上では低く、女性有配偶率が県値を下回っている要因となっている。男性有配偶率も同様の傾向にある。

年齢階層別有配偶率(女性)

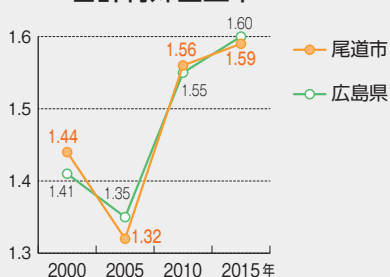


[参考] 年齢階層別有配偶率(男性)

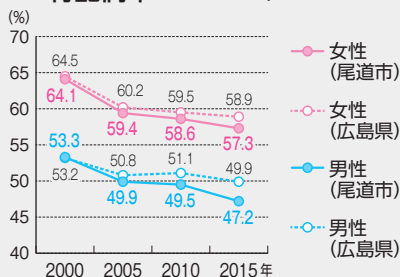


合計特殊出生率の関連指標の推移

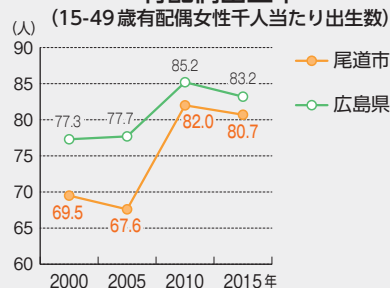
合計特殊出生率



有配偶率(25-39歳)



有配偶出生率



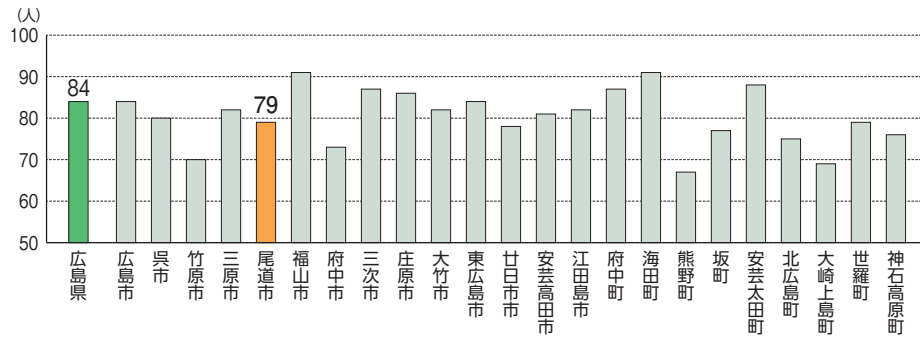
有配偶出生率 (2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

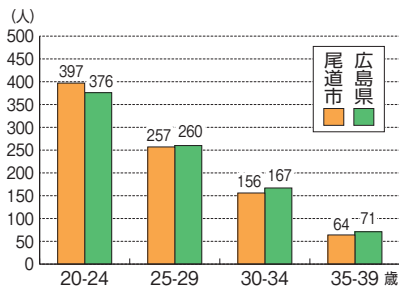
79人

広島県との差
-4.7人

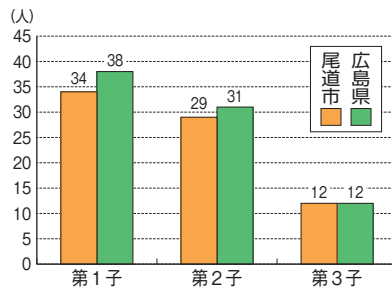
全国との差
-0.2人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



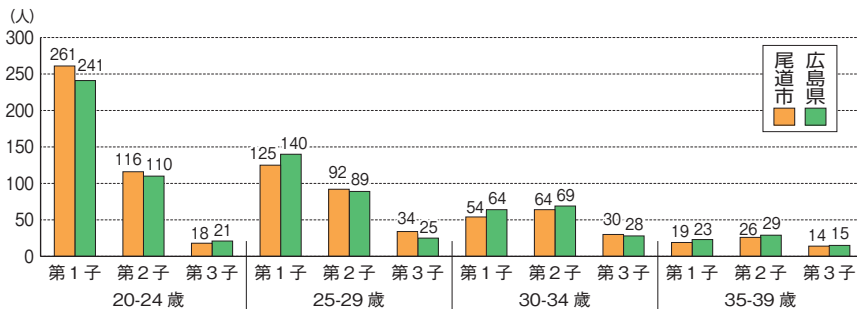
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は79人であり、県値(84人)を4.7人下回る。

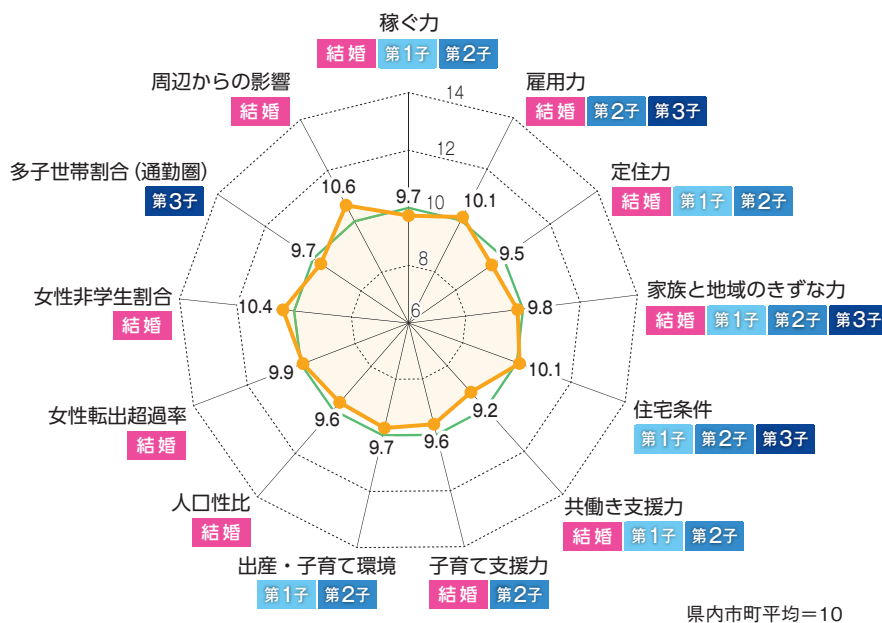
年齢階層別では、県値に比べて20-24歳で高いが、25-29歳以上では低い。

出生順位別では、第1子、第2子の出生率は県値に比べて低い。年齢階層別にみると、第1子の出生率が25-29歳以上の各年齢階層で低く、また、第2子も30歳代で低く、有配偶出生率が県値を下回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「稼ぐ力」「定住力」「共働き支援力」など、ほとんどの指標が市町平均に比べて低く、改善が必要である。

出生率に影響する指標では、第1子、第2子の出生率に寄与する「稼ぐ力」「定住力」「共働き支援力」「出産・子育て環境」が低く、結婚に影響する指標とともにこれらの指標の改善が必要である。

有配偶出生率

(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

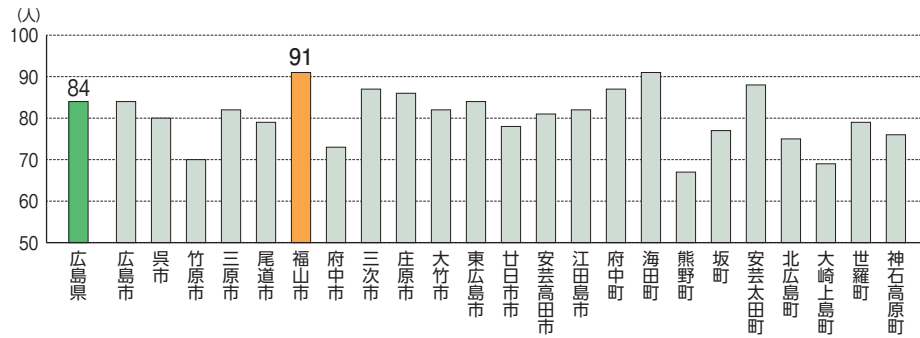
91人

広島県との差

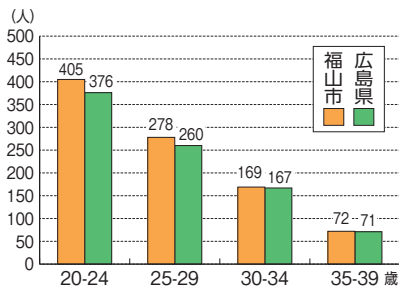
7.2人

全国との差

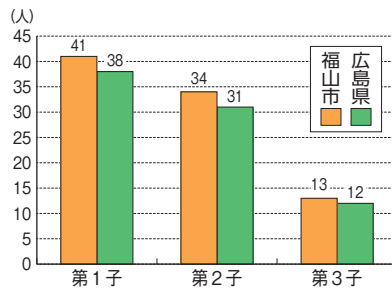
11.6人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



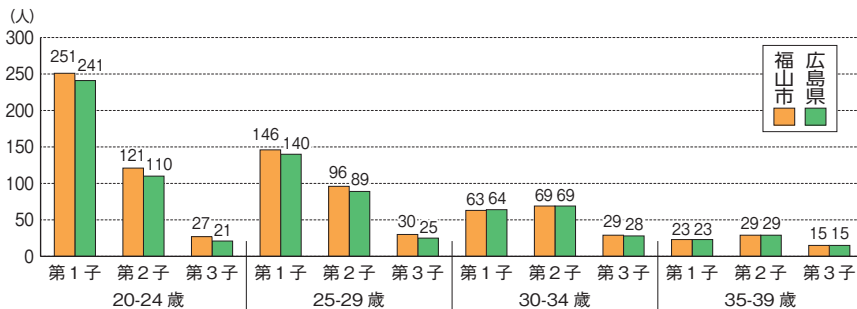
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は91人であり、県値(84人)を7.2人上回っており、県内では最も高い。

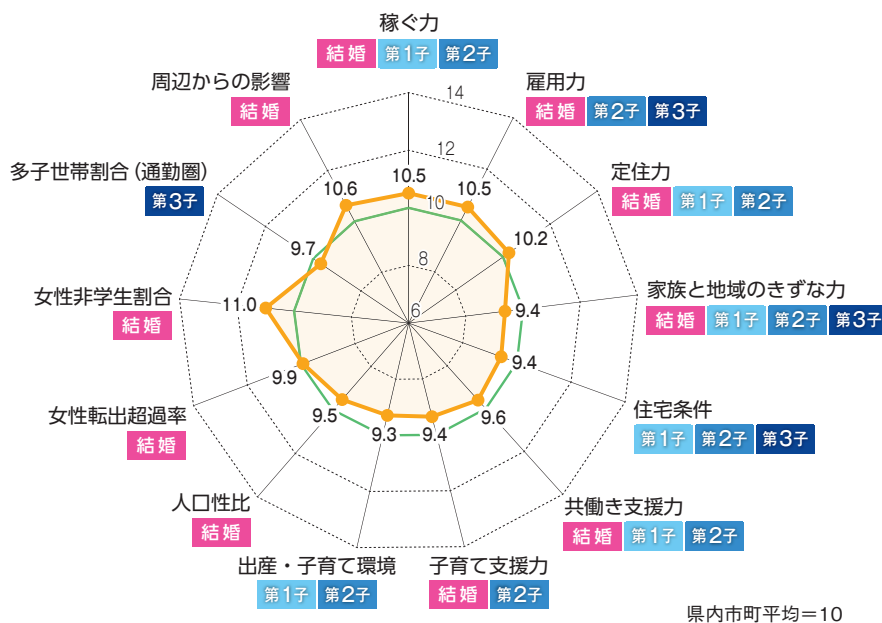
年齢階層別では、全ての年齢階層において県値に比べて高い。

出生順位別では、全て県値に比べて高い。年齢階層別にみると、20歳代において第1子から第3子までのいずれの出生率も県値に比べて高く、30歳代ではほぼ県値並みであり、有配偶出生率が県値を上回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「稼ぐ力」「雇用力」「定住力」「女性非学生割合」「周辺からの影響」が市町平均に比べて高く、女性有配偶率の高さに寄与している。

出生率に影響する指標では、「稼ぐ力」「雇用力」「定住力」が高いが、市町平均より低い「住宅条件」「出産・子育て環境」に加えて、結婚にも影響する「家族と地域のきずな力」「共働き支援力」「子育て支援力」を改善する必要がある。

広島市

呉市

竹原市

三原市

尾道市

福山市

府中市

三次市

庄原市

大竹市

東広島市

廿日市市

安芸高田市

江田島市

府中町

海田町

熊野町

坂町

安芸太田町

北広島町

大崎上島町

世羅町

神石高原町

府中市

Fuchu City

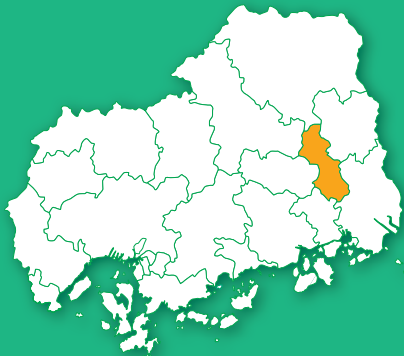
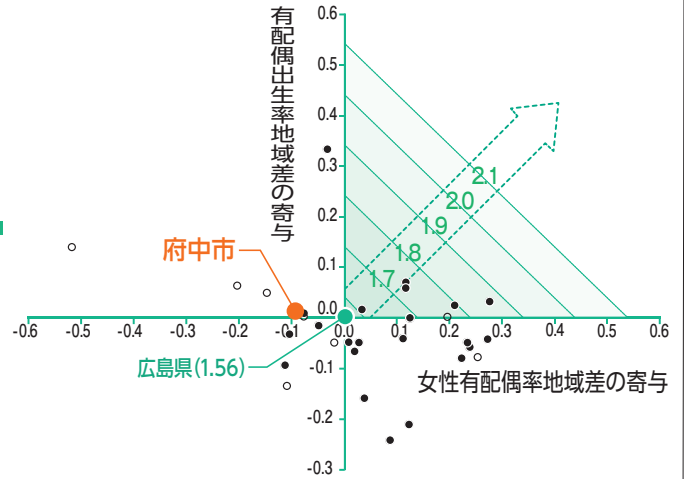
合計特殊出生率 (2011年～2015年)

1.48

合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年～2015年)
-0.08
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年～2015年)
0.08
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



府中市の出生数(2015年)
258人

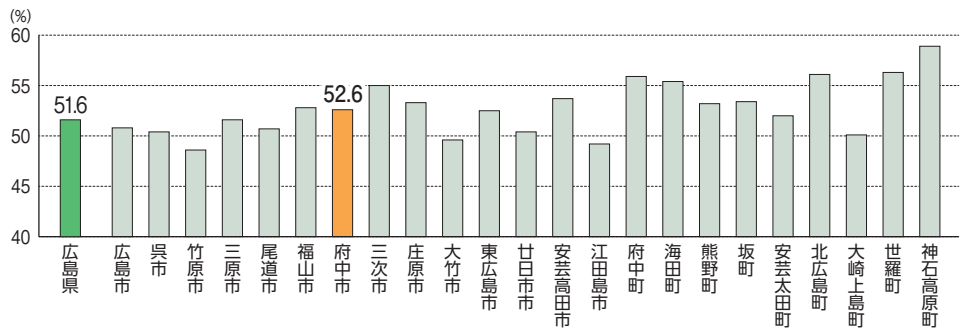
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

52.6%

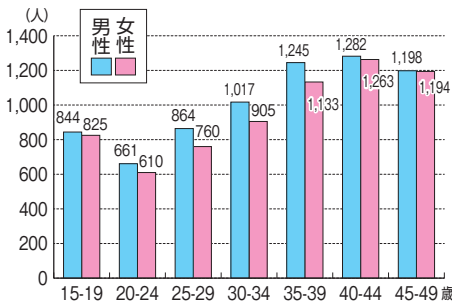
広島県との差
1.1
ポイント

全国との差
2.9
ポイント

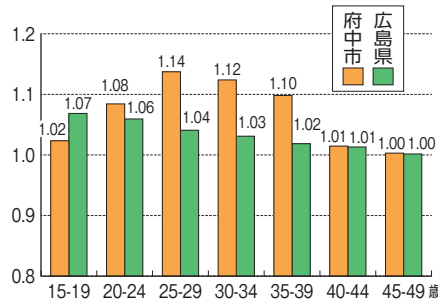


府中市

年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比(男/女)



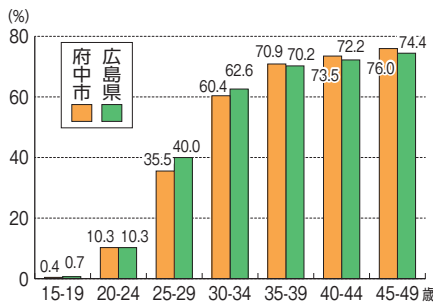
有配偶率の分析から読み取れること

女性有配偶率は52.6%であり、県値(51.6%)を1.1ポイント上回る。

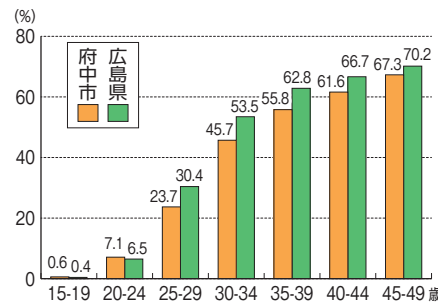
男女別人口は、全ての年齢階層で女性が男性を下回る。人口性比は、25-29歳から35-39歳までの各年齢階層における男女間のアンバランス(女性<男性)が大きい。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、25-29歳、30-34歳以外の各年齢階層で県値並みか県値に比べて高く、女性有配偶率が県値を上回っている要因となっている。人口性比が男性に偏っているため、男性有配偶率はほとんどの年齢階層において県値に比べて低い。

年齢階層別有配偶率(女性)

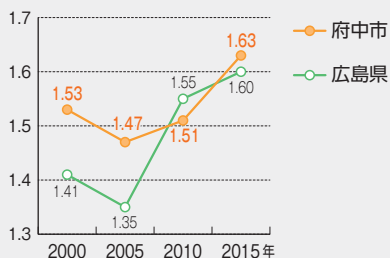


[参考] 年齢階層別有配偶率(男性)

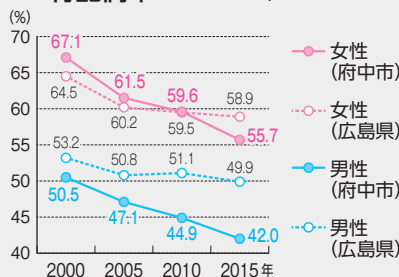


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

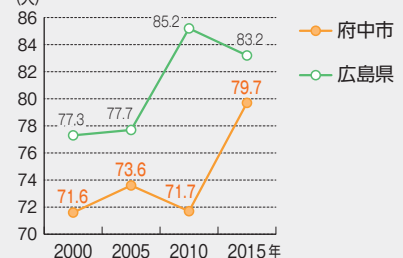


有配偶率(25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



有配偶出生率

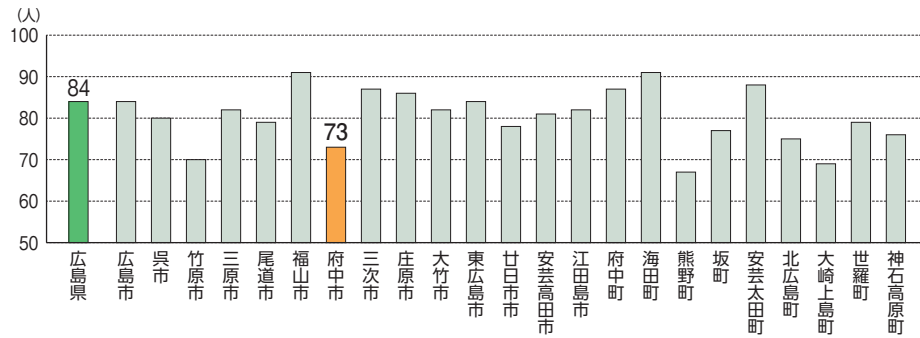
(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

73人

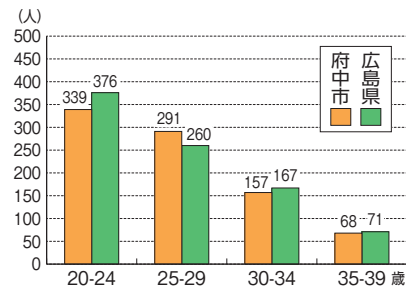
広島県との差
-11.2
人

全国との差
-6.7
人



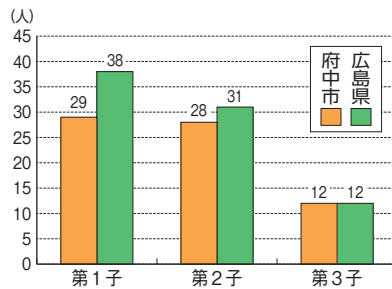
母の年齢階層別有配偶出生率

(各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

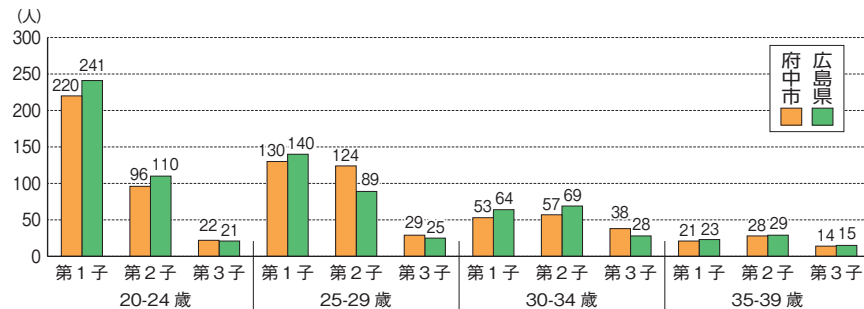


有配偶出生率の分析から読み取れること

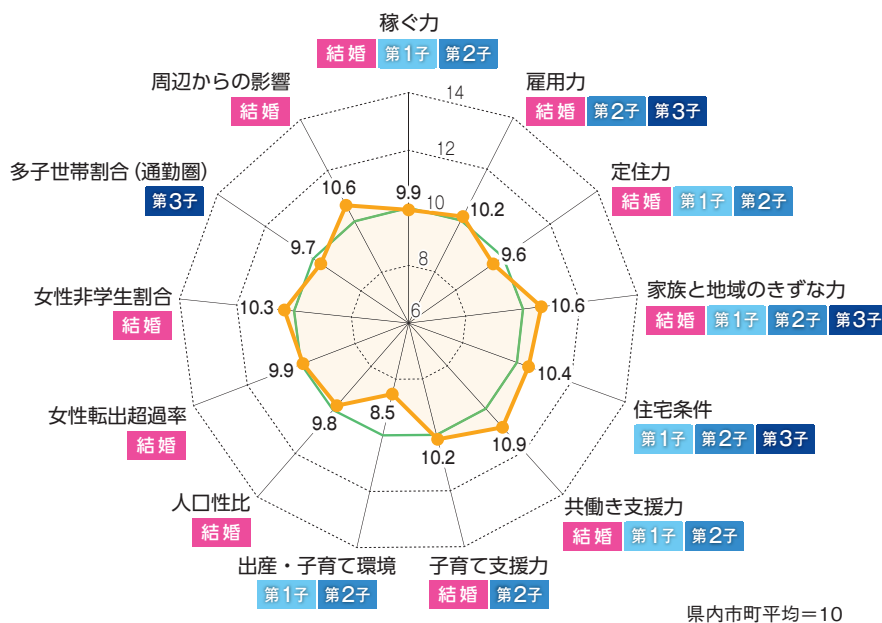
有配偶出生率は73人であり、県値(84人)を11.2人下回る。年齢階層別では、県値に比べて25-29歳で高いが、その他の年齢階層では低い。出生順位別では、県値に比べて第1子、第2子が低い。年齢階層別にみると、第1子の出生率が全ての年齢階層で、第2子も25-29歳以外の年齢階層で県値に比べて低く、有配偶出生率が県値を下回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率

(各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性

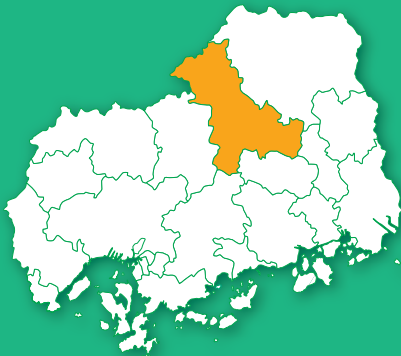


県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「家族と地域のきずな力」「共働き支援力」「周辺からの影響」などが市町平均に比べて高いが、「稼ぐ力」「定住力」が低く、改善が必要である。出生率に影響する指標では、第1子、第2子の出生率に寄与する「稼ぐ力」「定住力」「出産・子育て環境」が低く、これらの指標の改善が必要である。

三次市

Miyoshi City



三次市の出生数(2015年)
405人

合計特殊出生率 (2011年~2015年)

1.79

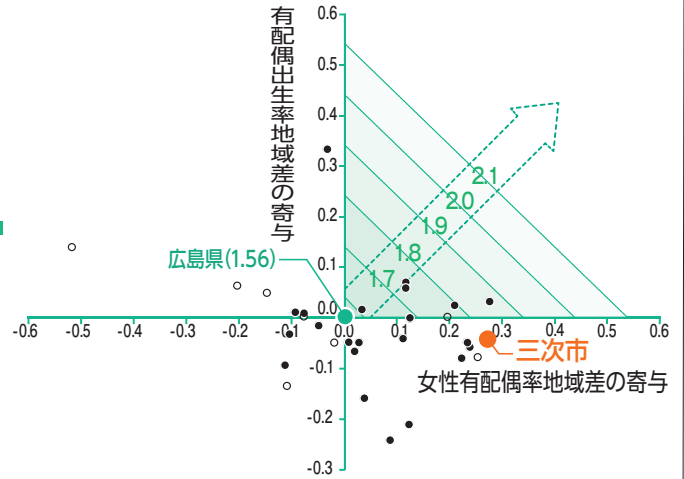
合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年~2015年)

0.23
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年~2015年)

0.40
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



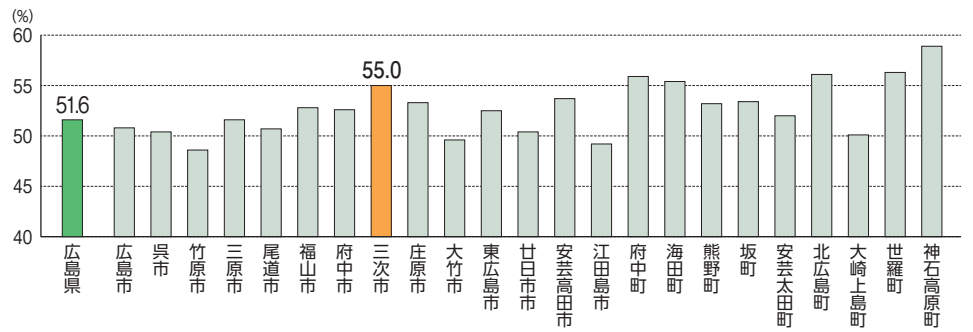
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

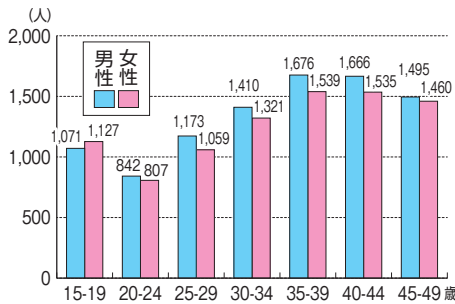
55.0%

広島県との差
3.4
ポイント

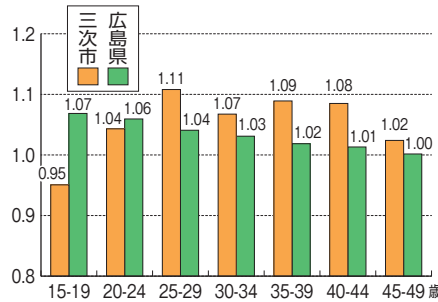
全国との差
5.3
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比 (男/女)



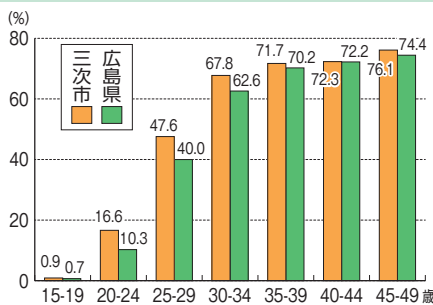
有配偶率の分析から 読み取れること

女性有配偶率は55.0%であり、県値(51.6%)を3.4ポイント上回っており、全市の中で最も高い。

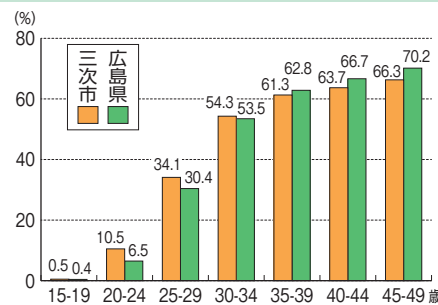
男女別人口は、20-24歳以上の各年齢階層において女性が男性を下回る。人口性比は、15-19歳(女性>男性)、25-29歳から40-44歳(女性<男性)の各年齢階層における男女間のアンバランスが大きい。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、全ての年齢階層において県値に比べて高く、中でも20歳代での差が大きく、女性有配偶率が県値を上回っている要因となっている。

年齢階層別有配偶率 (女性)

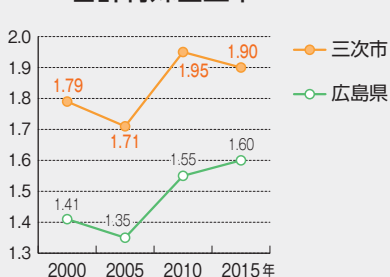


[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)

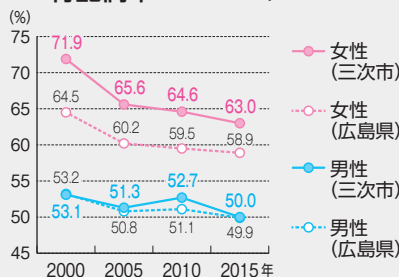


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

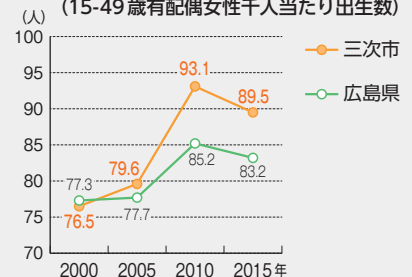


有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



有配偶出生率

(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

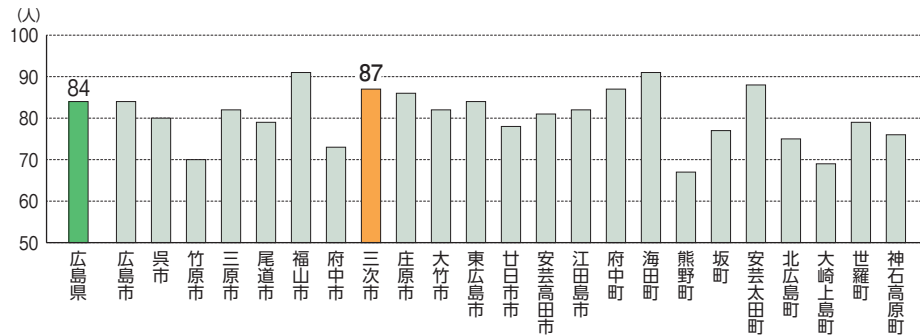
87人

広島県との差

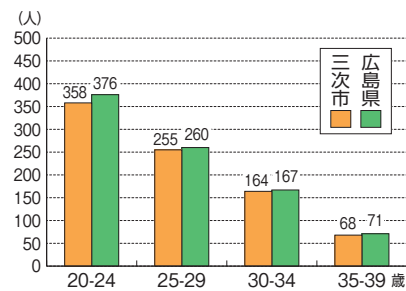
2.9人

全国との差

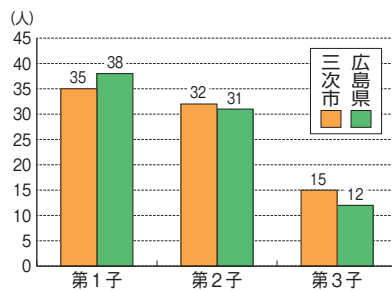
7.3人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



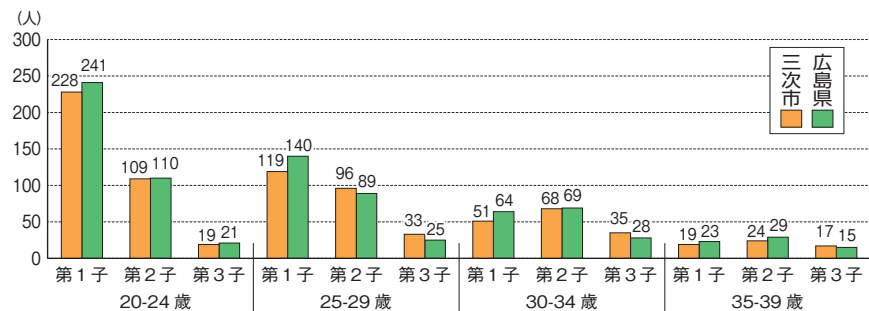
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は87人であり、県値(84人)を2.9人上回る。

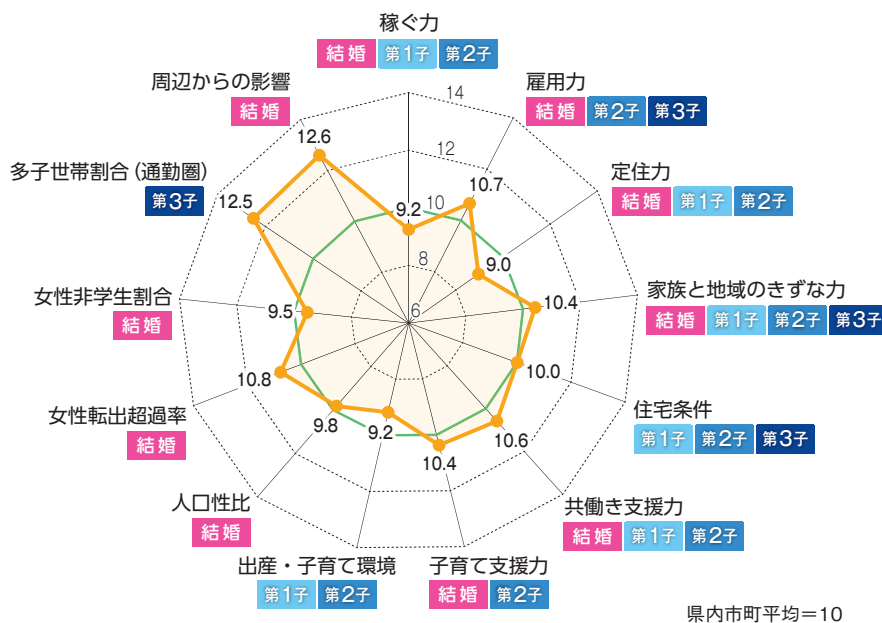
年齢階層別では、全ての年齢階層において県値に比べてやや低い。

出生順位別では、県値に比べて第1子が低く、第2子と第3子は高い。年齢階層別にみると、第1子の出生率は全ての年齢階層で県値に比べて低いものの、第2子が25-29歳、第3子が25-29歳から35-39歳で高く、有配偶出生率が県値を上回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「雇用力」「家族と地域のきずな力」「共働き支援力」「子育て支援力」「周辺からの影響」などが市町平均に比べて高く、女性有配偶率の高さに寄与している。

出生率に影響する指標では、「雇用力」「家族と地域のきずな力」「共働き支援力」「子育て支援力」「多子世帯割合」が高く、第2子、第3子の出生率に寄与している。一方、第1子に寄与する「稼ぐ力」「定住力」「出産・子育て環境」が低く、これらの指標の改善が必要である。

広島市

呉市

竹原市

三原市

尾道市

福山市

府中市

三次市

庄原市

大竹市

東広島市

廿日市市

安芸高田市

江田島市

府中町

海田町

熊野町

坂町

安芸太田町

北広島町

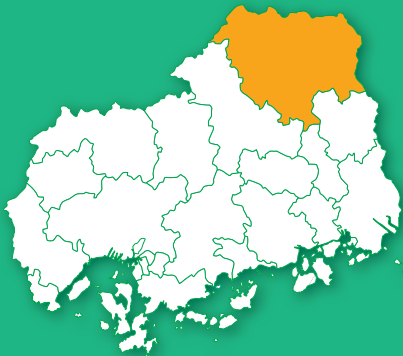
大崎上島町

世羅町

神石高原町

庄原市

Shobara City



庄原市の出生数(2015年)
219人

合計特殊出生率 (2011年～2015年)

1.79

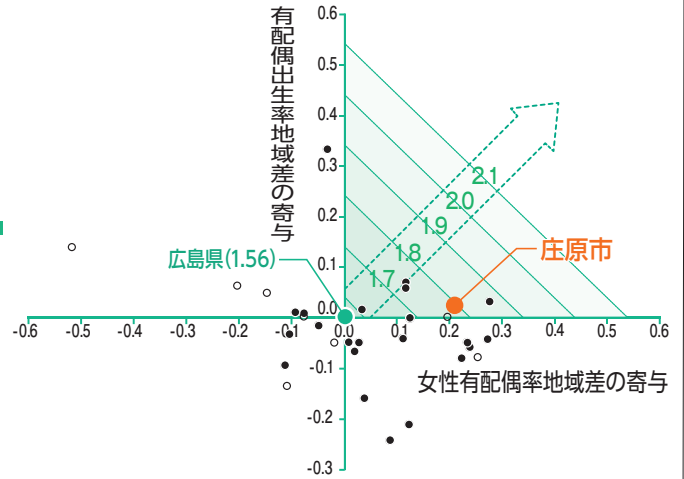
合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年～2015年)

0.23
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年～2015年)

0.39
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



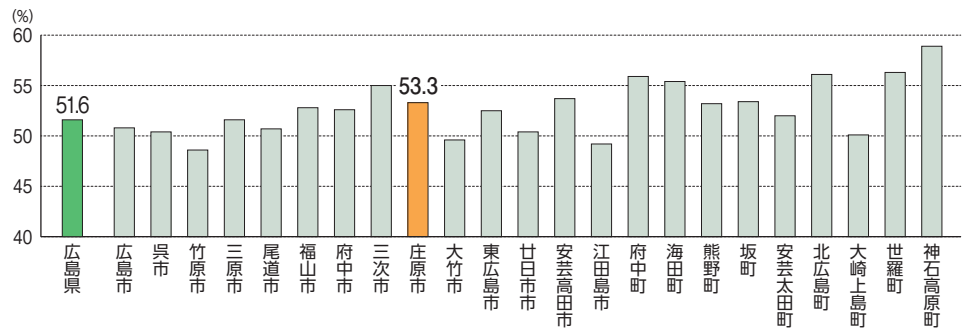
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

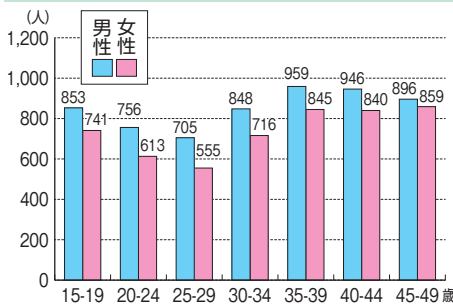
53.3%

広島県との差
1.7
ポイント

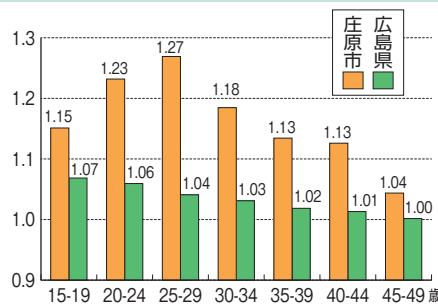
全国との差
3.6
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比(男/女)



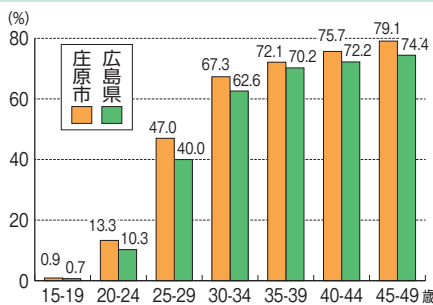
有配偶率の分析から 読み取れること

女性有配偶率は53.3%であり、県値(51.6%)を1.7ポイント上回る。

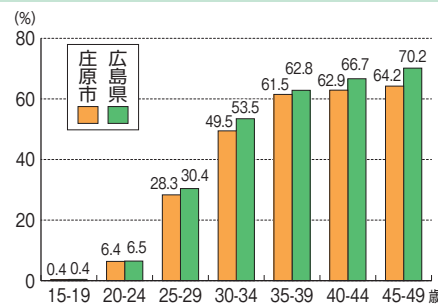
男女別人口は、全ての年齢階層において女性が男性を下回る。人口性比は、全ての年齢階層において男女間のアンバランス(女性<男性)が大きい。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、全ての年齢階層において県値に比べて高く、中でも20歳代で差が大きく、女性有配偶率全体が県値を上回っている要因となっている。男性有配偶率は、人口性比の県値との差を反映し、県値と比べて低い。

年齢階層別有配偶率(女性)

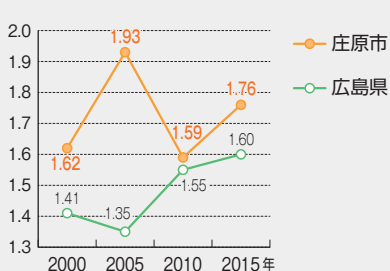


[参考] 年齢階層別有配偶率(男性)

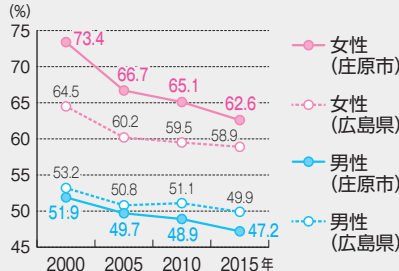


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

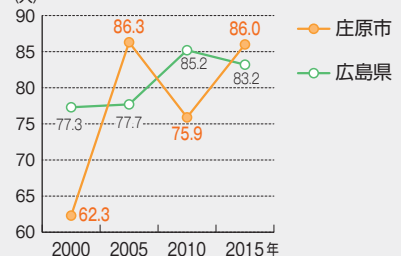


有配偶率(25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



有配偶出生率

(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

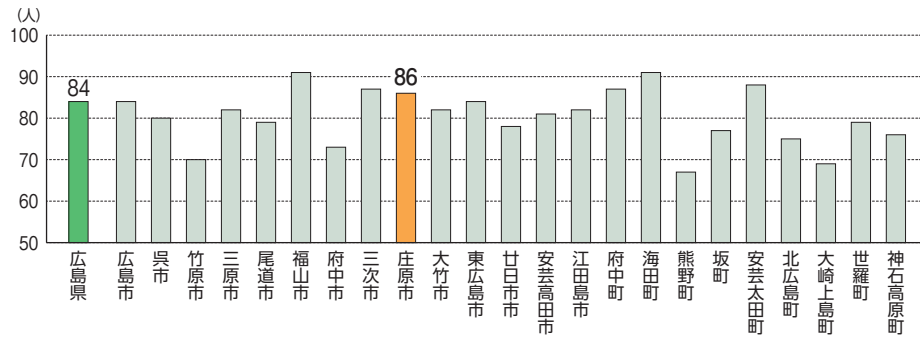
86人

広島県との差

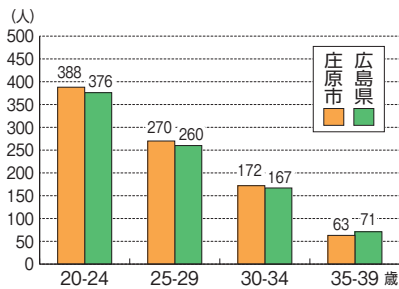
2.6人

全国との差

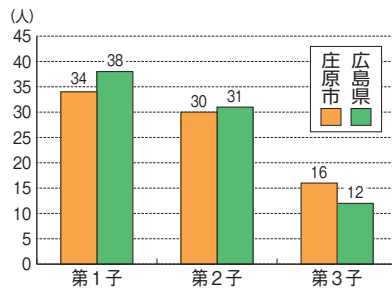
7.1人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



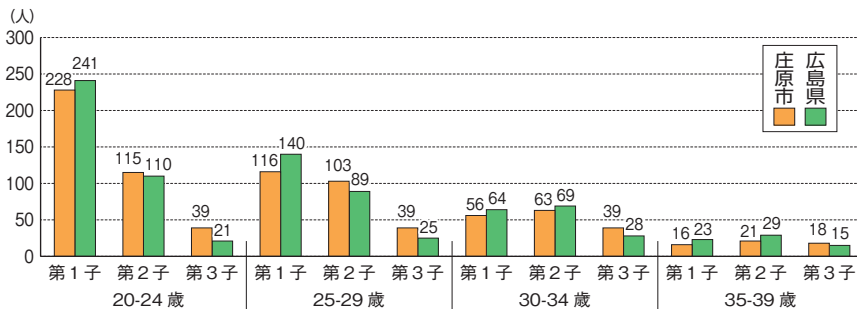
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は86人であり、県値(84人)を2.6人上回る。

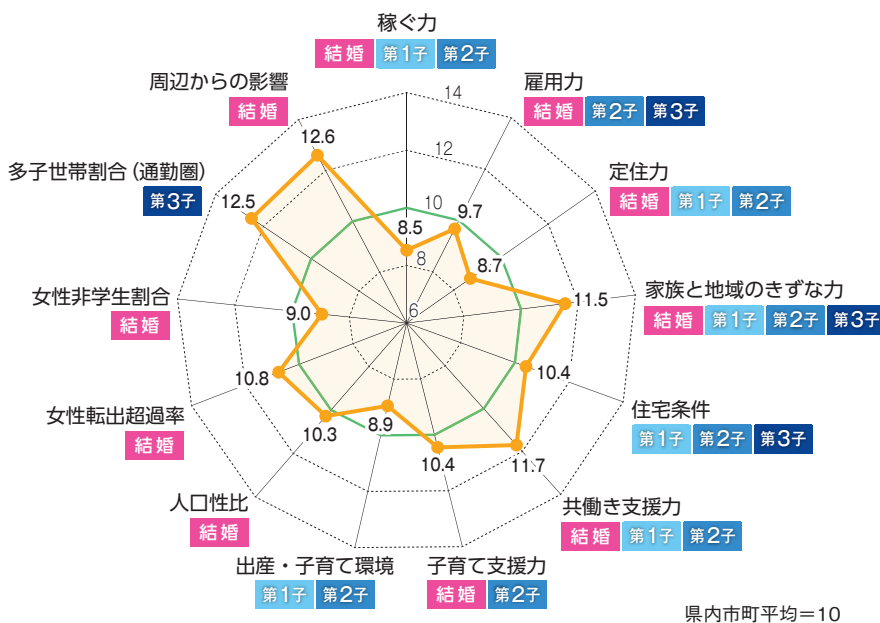
年齢階層別では、20-24歳から30-34歳までの各年齢階層において県値に比べて高い。

出生順位別では、第3子が県値に比べて高い。年齢階層別にみると、第1子の出生率は全ての年齢階層で県値に比べて低いものの、第3子が全ての年齢階層で県値に比べて高く、有配偶出生率が県値を上回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「稼ぐ力」「雇用力」「定住力」などが市町平均に比べて低く、これらの指標の改善が必要である。

出生率に影響する指標では、「家族と地域のきずな力」「住宅条件」「共働き支援力」「多子世帯割合」が高い一方で、第1子出生率に寄与する「稼ぐ力」「定住力」「出産・子育て環境」が低く、これらの指標の改善が必要である。

広島市

呉市

竹原市

三原市

尾道市

福山市

府中市

三次市

庄原市

大竹市

東広島市

廿日市市

安芸高田市

江田島市

府中町

海田町

熊野町

坂町

安芸太田町

北広島町

大崎上島町

世羅町

神石高原町

大竹市

Otake City

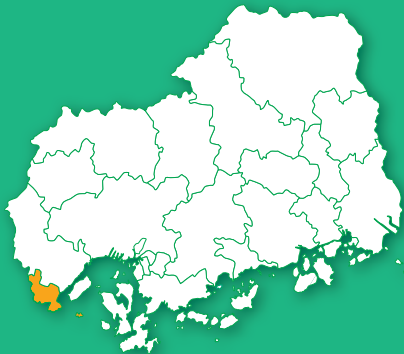
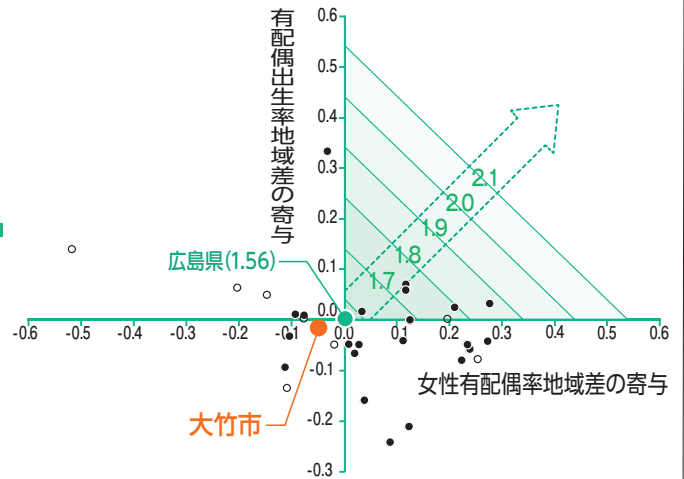
合計特殊出生率 (2011年～2015年)

1.50

合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年～2015年)
-0.06
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年～2015年)
0.10
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



大竹市の出生数(2015年)
199人

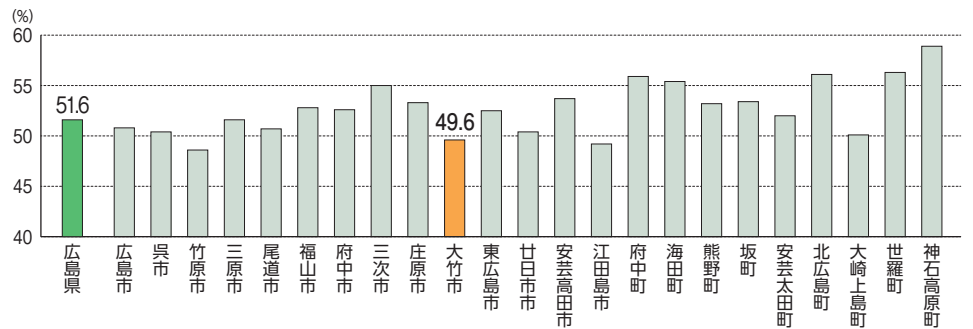
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

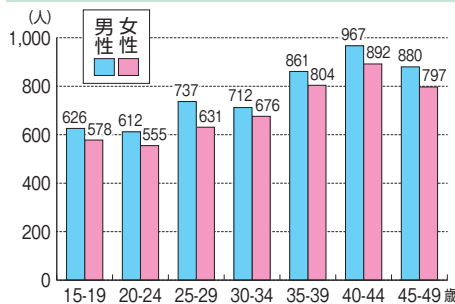
49.6%

広島県との差
-2.0
ポイント

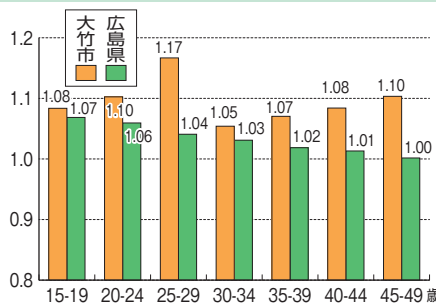
全国との差
-0.1
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比 (男/女)



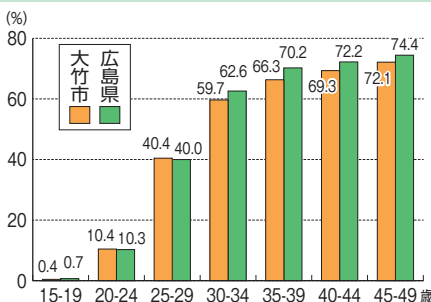
有配偶率の分析から読み取れること

女性有配偶率は49.6%であり、県値(51.6%)を2.0ポイント下回る。

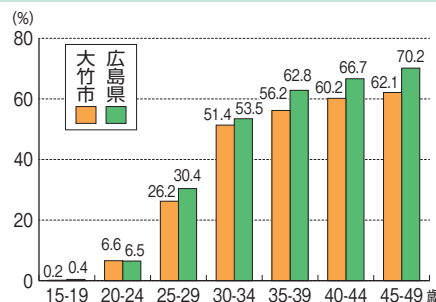
男女別人口は、全ての年齢階層において女性が男性を下回る。人口性比は、25-29歳における男女間のアンバランス(女性<男性)が大きい。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、20歳代では県値に比べてやや高いが、30-34歳以上の各年齢階層では低く、女性有配偶率が県値を下回っている要因となっている。男性有配偶率は、人口性比との県値差を反映し、県値と比べて低い。

年齢階層別有配偶率 (女性)

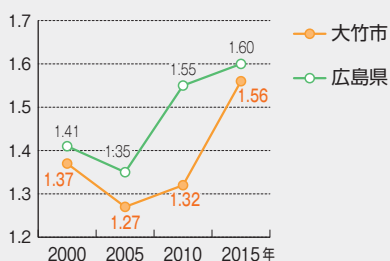


[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)

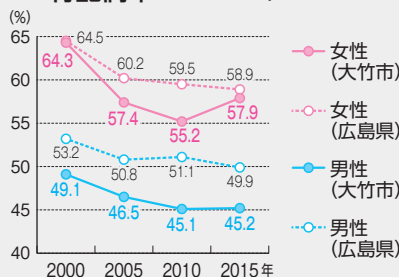


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

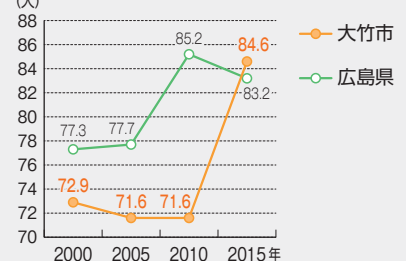


有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



有配偶出生率

(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

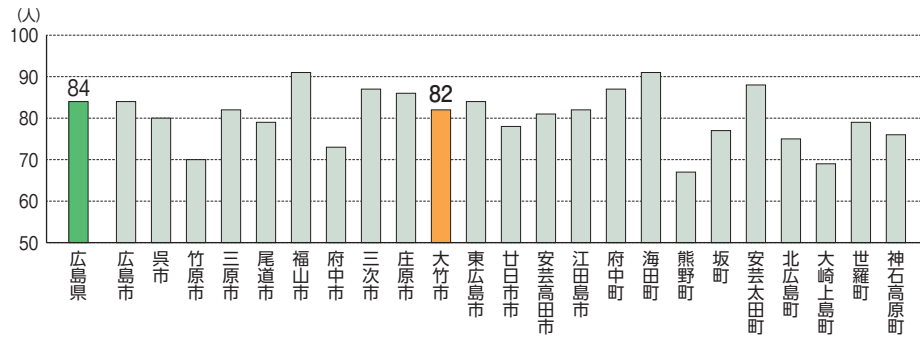
82人

広島県との差

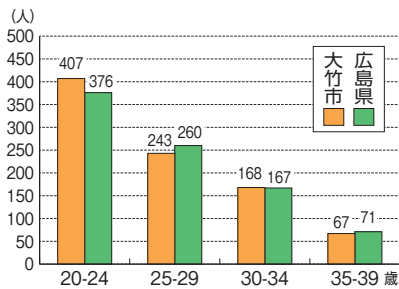
-2.2
人

全国との差

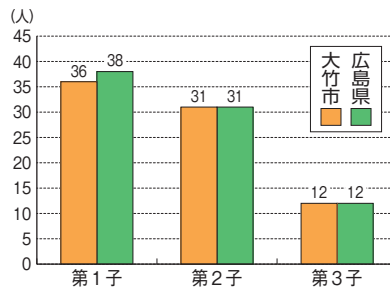
2.3
人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



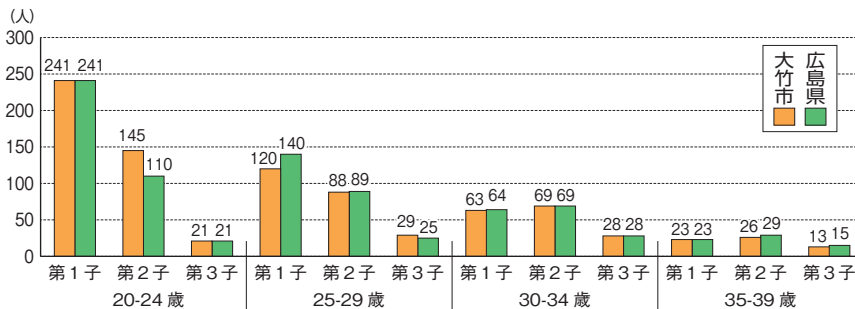
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は82人であり、県値(84人)を2.2人下回る。

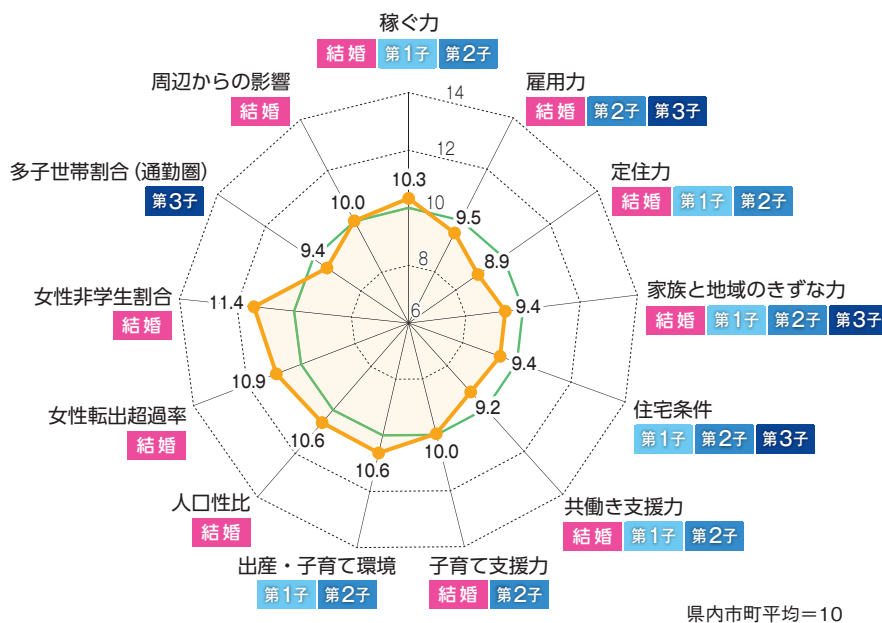
年齢階層別では、県値に比べて20-24歳で高く、25-29歳、35-39歳では低い。

出生順位別では、県値に比べて第1子が低い。年齢階層別にみると、25-29歳の第1子の出生率が県値に比べて低く、有配偶出生率が県値を下回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



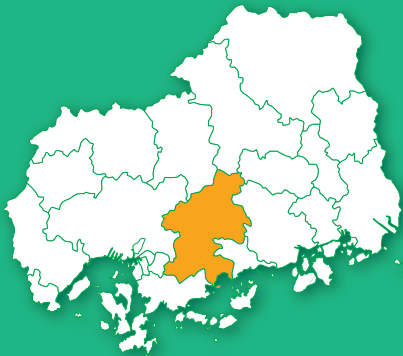
県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「雇用力」「定住力」「家族と地域のきずな力」「共働き支援力」が市町平均に比べて低く、これらの指標の改善が必要である。また、「女性転出超過率」が高く、この指標が低い周辺自治体と連携した広域的な取組みも必要である。

出生率に影響する指標では、第1子出生率に寄与する「定住力」「家族と地域のきずな力」「住宅条件」「共働き支援力」の改善が必要である。

東広島市

Higashihiroshima City



東広島市の出生数 (2015年)
1,698人

合計特殊出生率 (2011年～2015年)

1.63

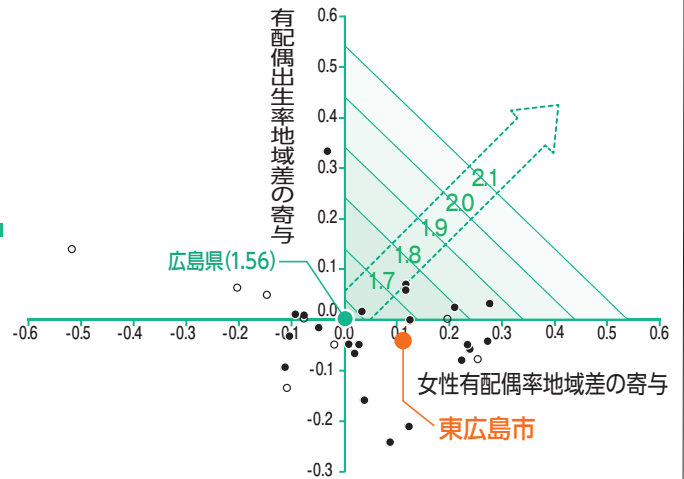
合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年～2015年)

0.07
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年～2015年)

0.23
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



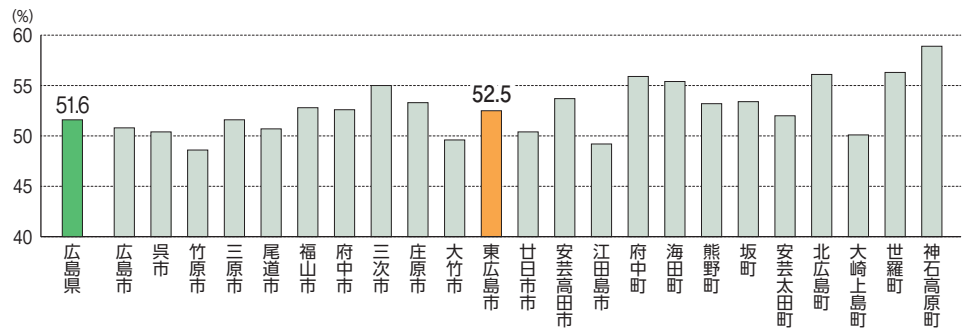
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

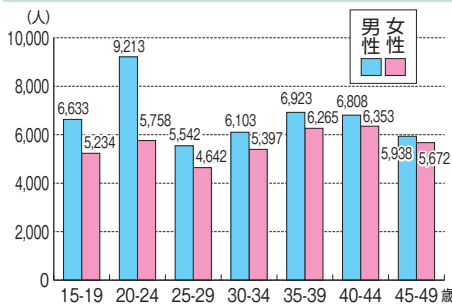
52.5%

広島県との差
0.9
ポイント

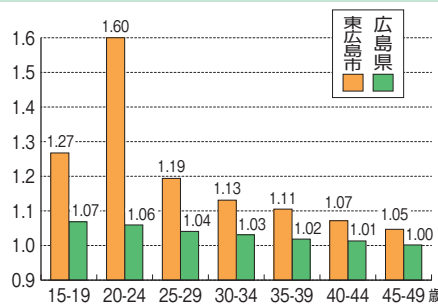
全国との差
2.8
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比 (男/女)



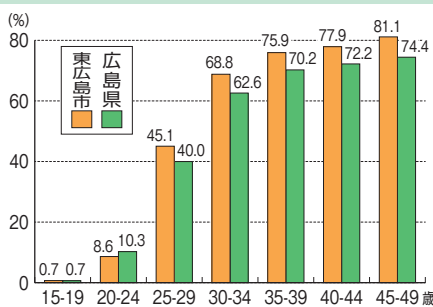
有配偶率の分析から読み取れること

女性有配偶率は52.5%であり、県値(51.6%)を0.9ポイント上回る。

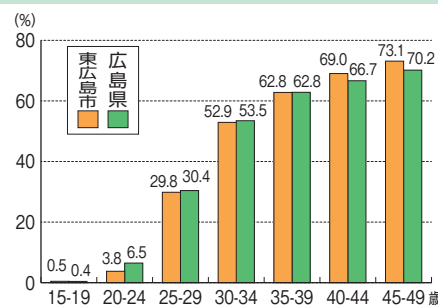
男女別人口は、全ての年齢階層において女性が男性を下回る。人口性比は、全ての年齢階層において男女間のアンバランス(女性<男性)が大きい。学生が多いという地域特性から、15-19歳から25-29歳において男女差が大きい。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、20-24歳で県値に比べてやや低い、25-29歳以上の各年齢階層では県値に比べて高く、女性有配偶率が県値を上回っている要因となっている。

年齢階層別有配偶率 (女性)

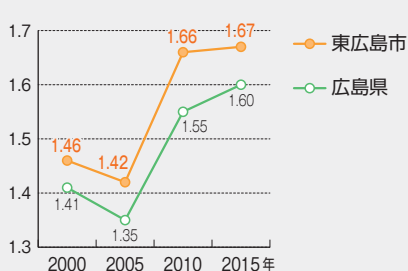


[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)

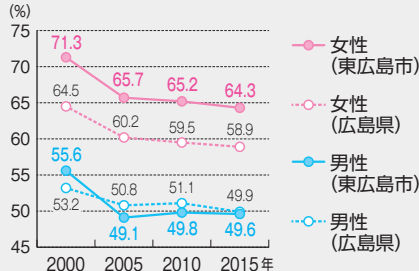


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

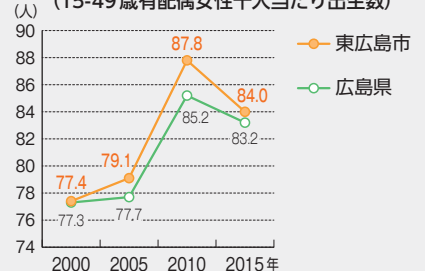


有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



有配偶出生率

(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

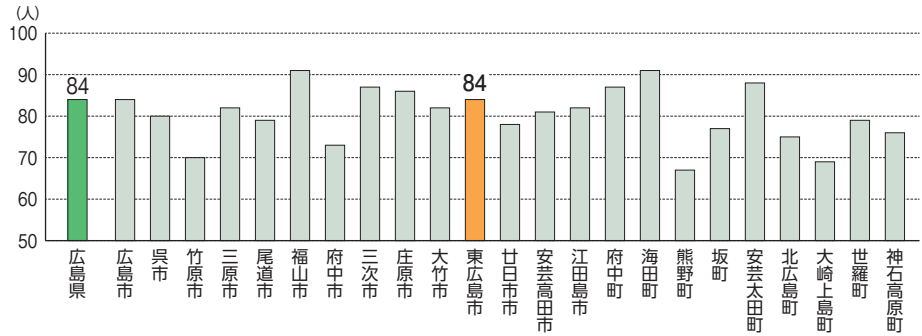
84人

広島県との差

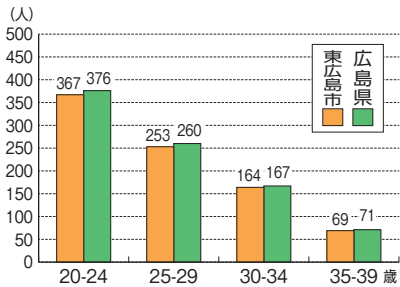
0.4人

全国との差

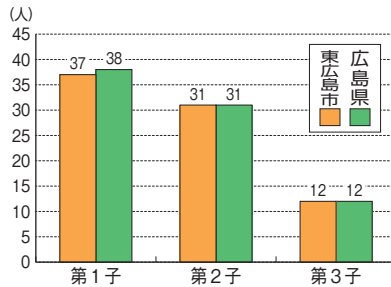
4.8人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



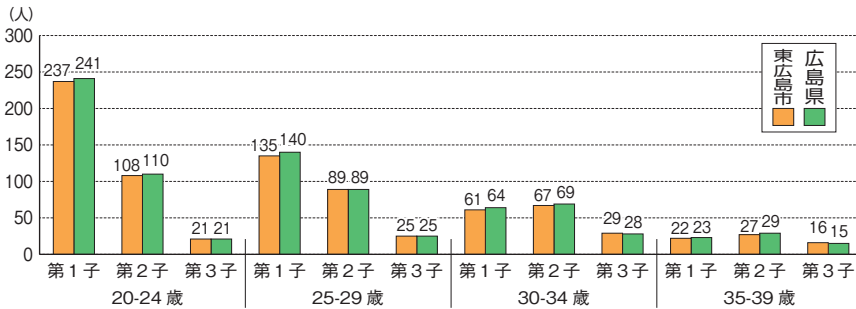
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は84人であり、県値(84人)と同水準である。

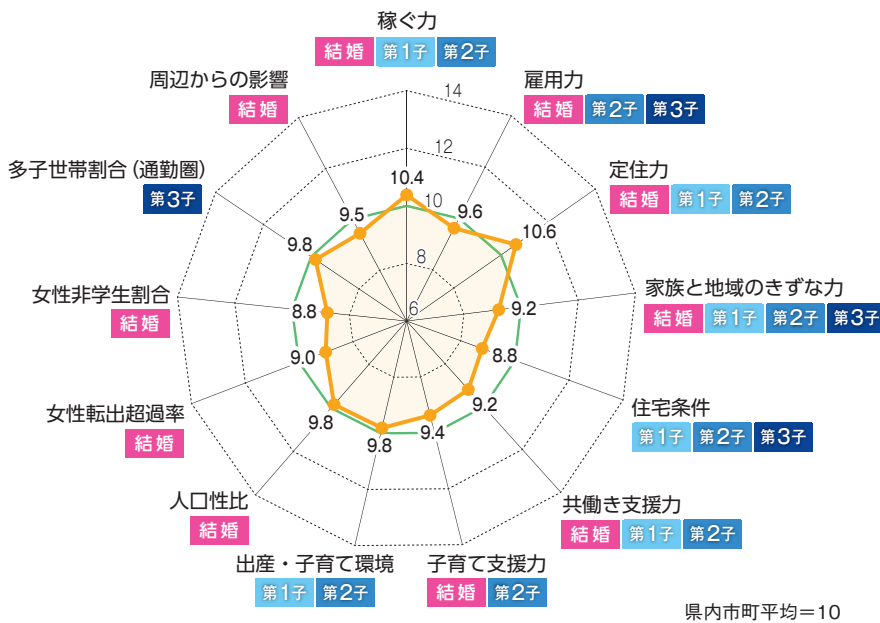
年齢階層別では、全ての年齢階層において県値に比べてやや低い。

出生順位別では、県値と比べて第1子がやや低い。年齢階層別にみると、全ての年齢階層において第1子の出生率が県値に比べて低い。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「雇用力」「家族と地域のきずな力」「共働き支援力」「子育て支援力」などが市町平均に比べて低く、これらの指標の改善が必要である。

出生率に影響する指標では、「住宅条件」「出産・子育て環境」の改善に加え、結婚にも影響する「雇用力」「家族と地域のきずな力」「共働き支援力」「子育て支援力」の改善が必要である。

広島市

呉市

竹原市

三原市

尾道市

福山市

府中市

三次市

庄原市

大竹市

東広島市

廿日市市

安芸高田市

江田島市

府中町

海田町

熊野町

坂町

安芸太田町

北広島町

大崎上島町

世羅町

神石高原町

廿日市市

Hatsukaichi City

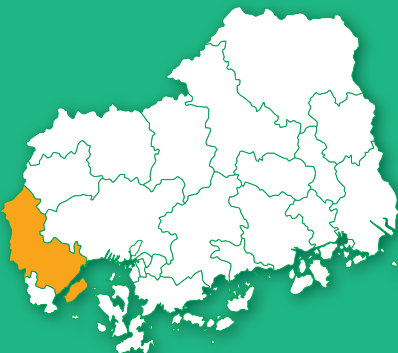
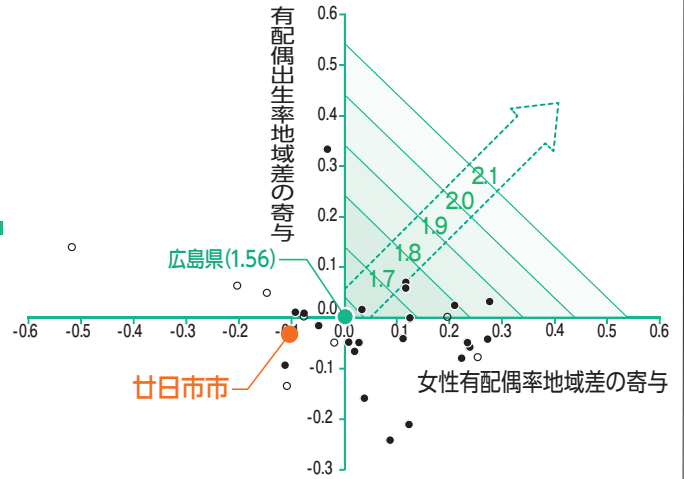
合計特殊出生率 (2011年～2015年)

1.42

合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年～2015年) **-0.14**
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年～2015年) **0.03**
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



廿日市の出生数 (2015年)
900人

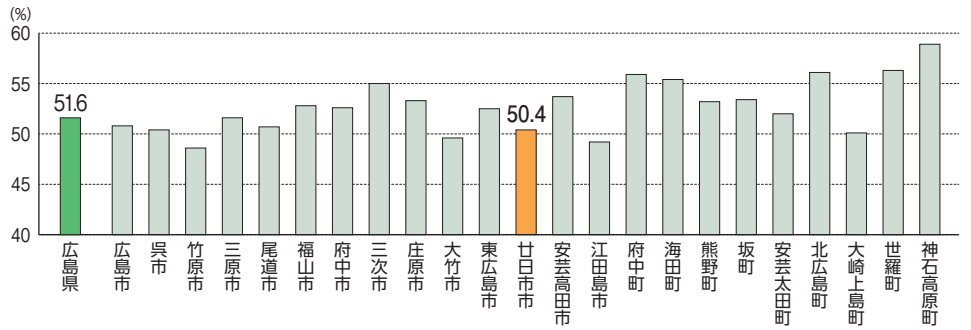
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

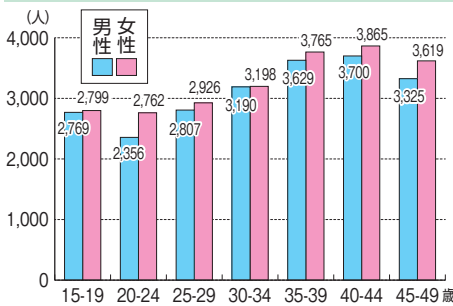
50.4%

広島県との差 **-1.2**
ポイント

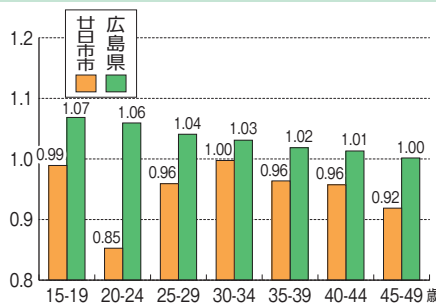
全国との差 **0.7**
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比 (男/女)



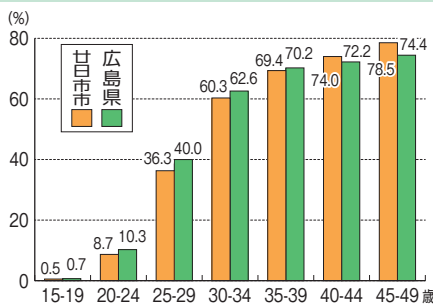
有配偶率の分析から読み取れること

女性有配偶率は50.4%であり、県値(51.6%)を1.2ポイント下回る。

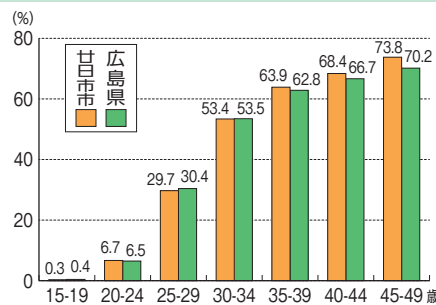
男女別人口は、全ての年齢階層で女性が男性を上回る。人口性比は、30-34歳を除くほぼ全ての年齢階層において男女間のアンバランス(女性>男性)が大きい。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、15-19歳から35-39歳までの各年齢階層では県値に比べて低く、女性有配偶率が県値を下回っている要因となっている。人口性比が女性に偏っているため、男性有配偶率はほとんどの年齢階層において県値並みか高い。

年齢階層別有配偶率 (女性)

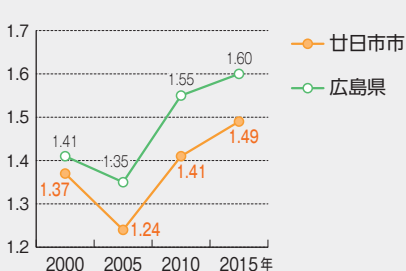


[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)

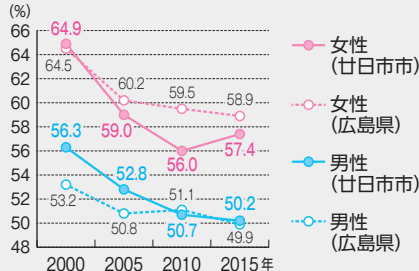


合計特殊出生率の関連指標の推移

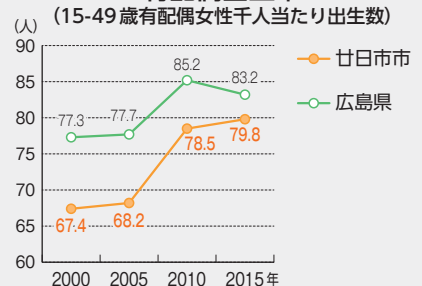
合計特殊出生率



有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率



有配偶出生率

(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

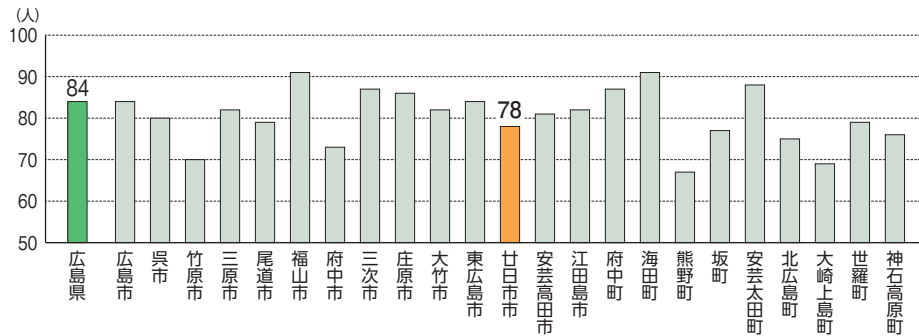
78人

広島県との差

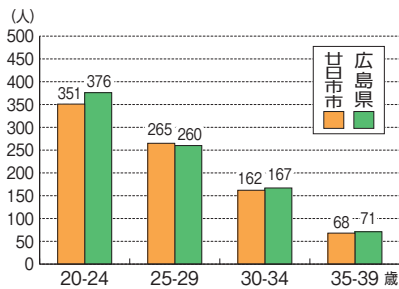
-5.9人

全国との差

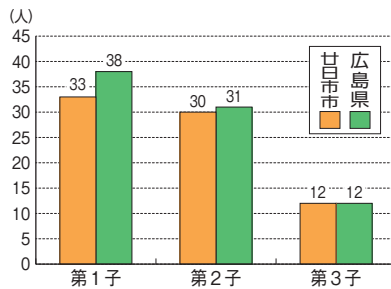
-1.4人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



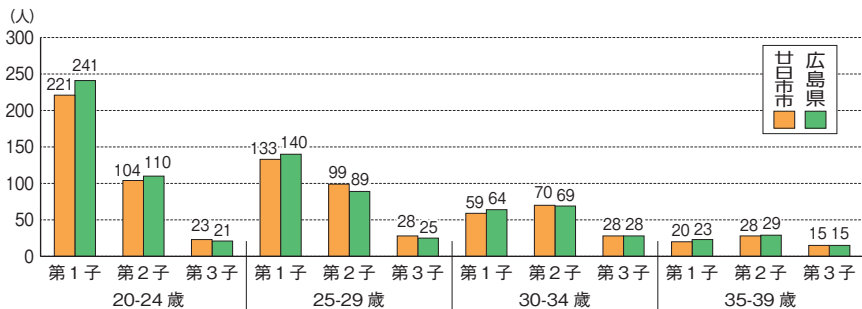
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は78人であり、県値(84人)を5.9人下回る。

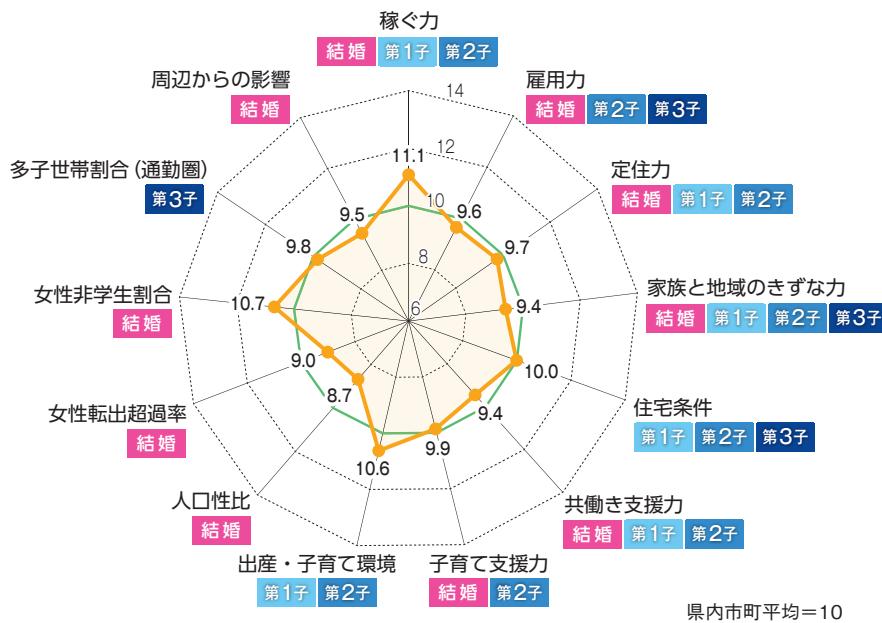
年齢階層別では、県値に比べて25-29歳がやや高いが、その他の年齢階層は低く、中でも20-24歳が低い。

出生順位別では、県値と比べて第1子、第2子が低い。年齢階層別にみると、全ての年齢階層において、第1子の出生率が県値に比べて低く、有配偶出生率が県値を下回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「稼ぐ力」「女性非学生割合」以外の全ての指標が市町平均に比べて低く、これらの指標の改善が必要である。

出生率に影響する指標では、「稼ぐ力」「住宅条件」「出産・子育て環境」以外の指標が低く、結婚にも影響する「雇用力」「定住力」「家族と地域のきずな力」「共働き支援力」の改善が必要である。

広島市

呉市

竹原市

三原市

尾道市

福山市

府中市

三次市

庄原市

大竹市

東広島市

廿日市市

安芸高田市

江田島市

府中町

海田町

熊野町

坂町

安芸太田町

北広島町

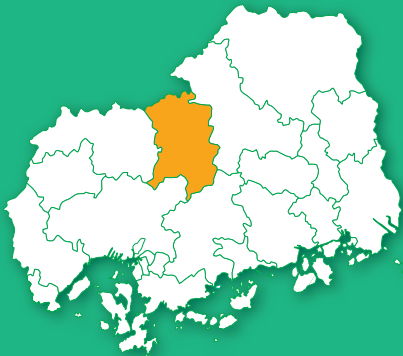
大崎上島町

世羅町

神石高原町

安芸高田市

Akitakata City



安芸高田市の出生数(2015年)
152人

合計特殊出生率 (2011年~2015年)

1.69

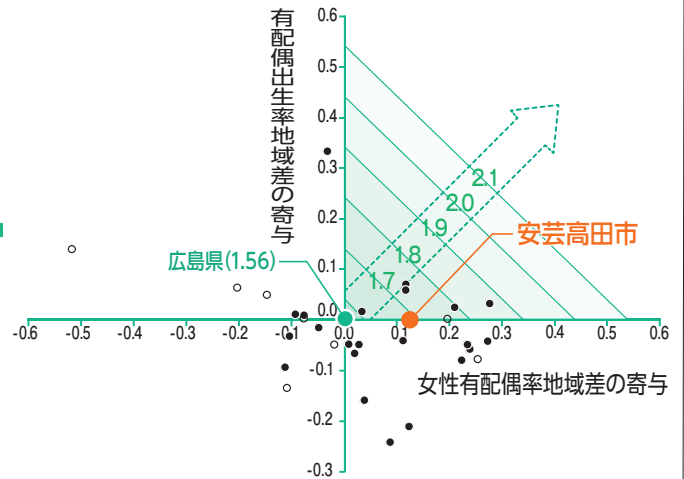
合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年~2015年)

0.13
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年~2015年)

0.29
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



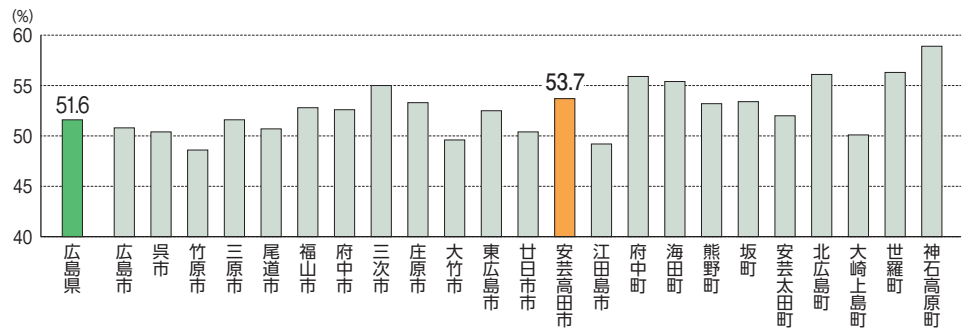
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

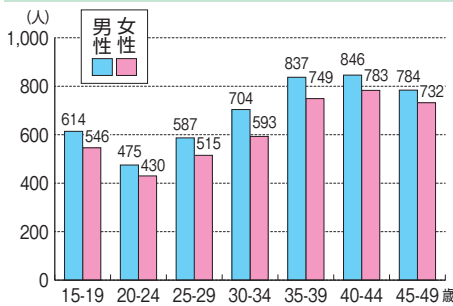
53.7%

広島県との差
2.1
ポイント

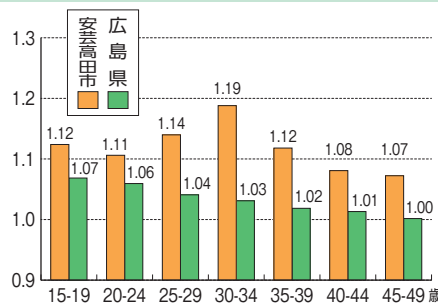
全国との差
4.0
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比 (男/女)



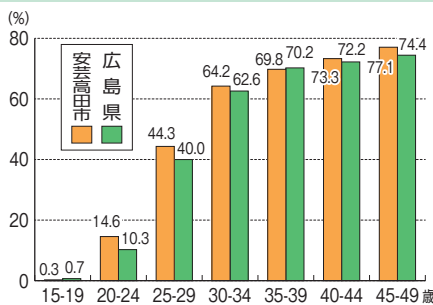
有配偶率の分析から読み取れること

女性有配偶率は53.7%であり、県値(51.6%)を2.1ポイント上回る。

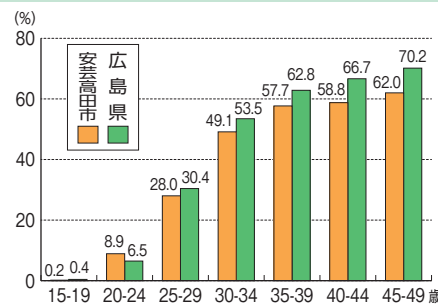
男女別人口は、全ての年齢階層において女性が男性を下回る。人口性比は、全ての年齢階層において男女間のアンバランス(女性<男性)が大きい。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、15-19歳、35-39歳で県値に比べてやや低いが、その他の各年齢階層では県値に比べて高く、女性有配偶率が県値を上回っている要因となっている。人口性比が男性に偏っているため、男性有配偶率はほとんどの年齢階層において県値に比べて低い。

年齢階層別有配偶率 (女性)

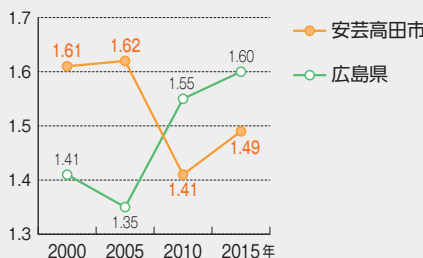


[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)

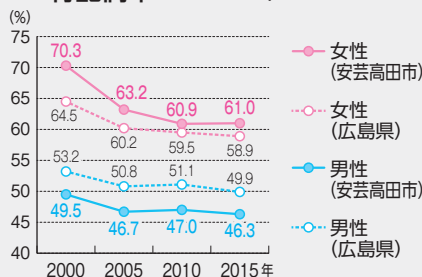


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

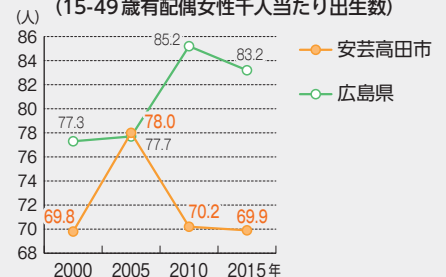


有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



有配偶出生率

(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

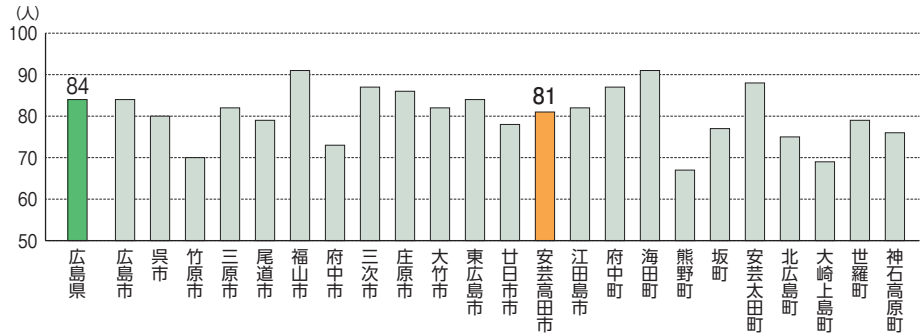
81人

広島県との差

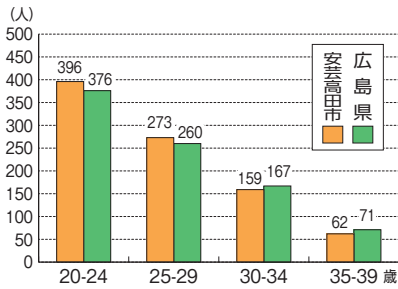
-2.7
人

全国との差

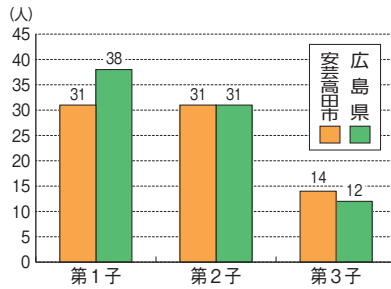
1.7
人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



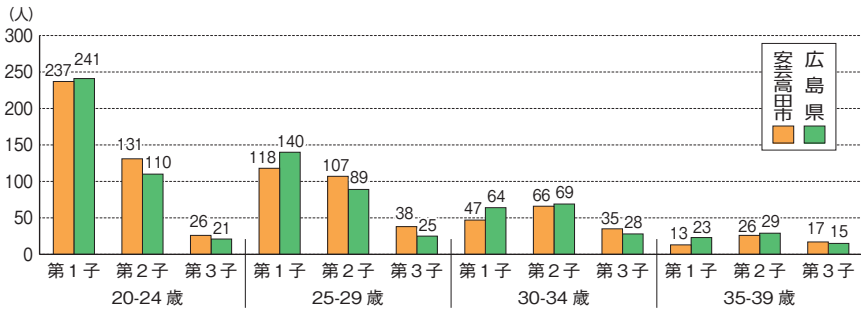
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は81人であり、県値(84人)を2.7人下回る。

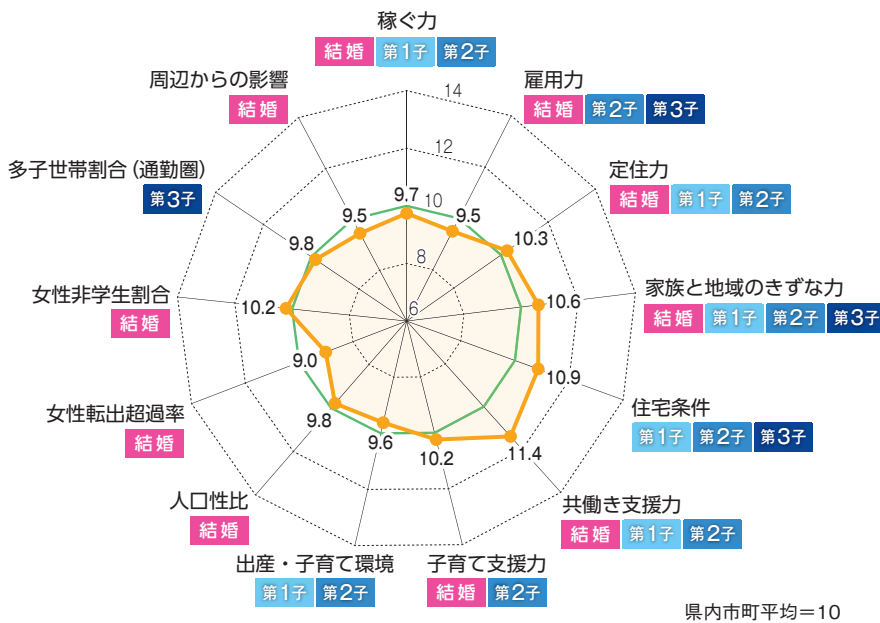
年齢階層別では、県値と比べて20歳代が高いが、30歳代では低い。

出生順位別では、県値と比べて第1子が低く、第3子が高い。年齢階層別にみると、全ての年齢階層において、第1子の出生率が県値に比べて低く、有配偶出生率が県値を下回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「定住力」「家族と地域のきずな力」「共働き支援力」などが市町平均に比べて高く、女性有配偶率に寄与している。一方、「稼ぐ力」「雇用力」などが低く、これらの指標の改善が必要である。

出生率に影響する指標では、第1子、第2子の出生率に寄与する「稼ぐ力」「出産・子育て環境」が低く、これらを改善することが必要である。

江田島市

Etajima City

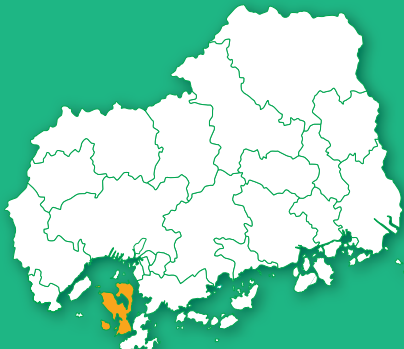
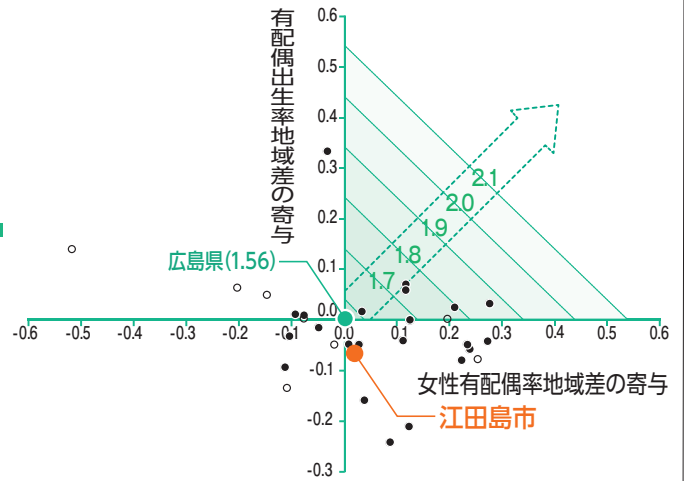
合計特殊出生率 (2011年～2015年)

1.51

合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年～2015年)
-0.05
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年～2015年)
0.12
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



江田島市の出生数 (2015年)
109人

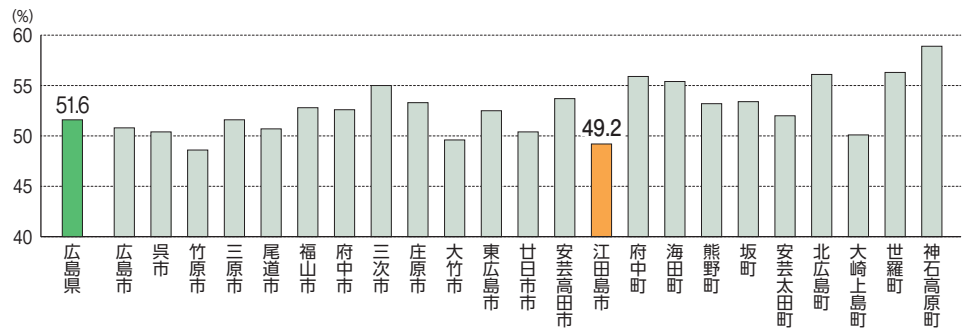
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

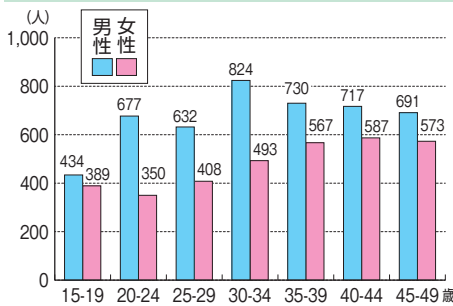
49.2%

広島県との差
-2.4
ポイント

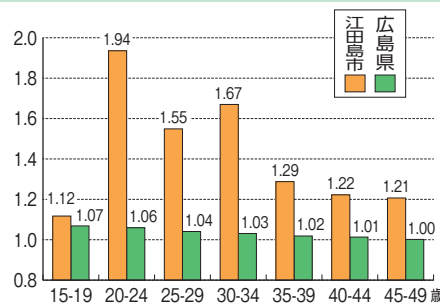
全国との差
-0.5
ポイント



年齢階層別男女別人口



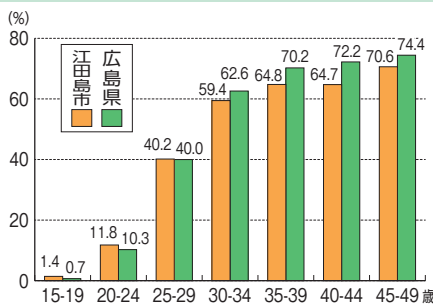
年齢階層別人口性比 (男/女)



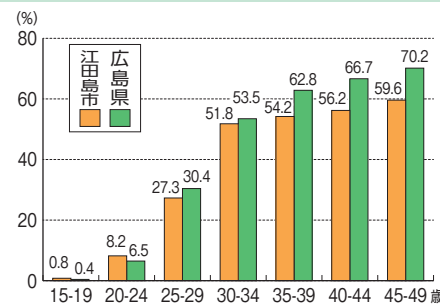
有配偶率の分析から読み取れること

女性有配偶率は49.2%であり、県値(51.6%)を2.4ポイント下回る。男女別人口は、全ての年齢階層において女性が男性を下回る。人口性比は、全ての年齢階層において男女間アンバランス(女性<男性)が大きい。中でも20-24歳から30-34歳において県との差が大きい。

年齢階層別有配偶率 (女性)



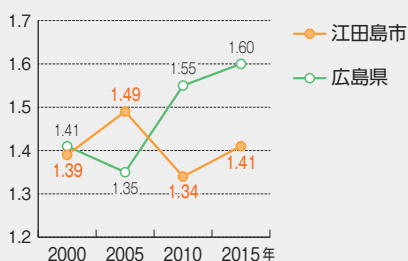
[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)



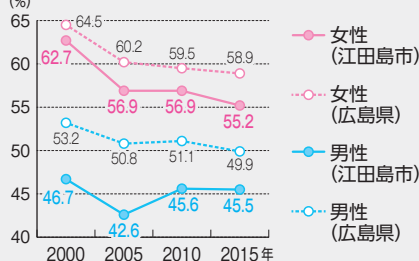
女性有配偶率を年齢階層別みると、15-19歳から25-29歳までの各年齢階層で県値に比べてやや高いが、30-34歳以上では低く、女性有配偶率が県値を下回っている要因となっている。人口性比が男性に偏っているため、男性有配偶率はほとんどの年齢階層において県値を下回っている。

合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

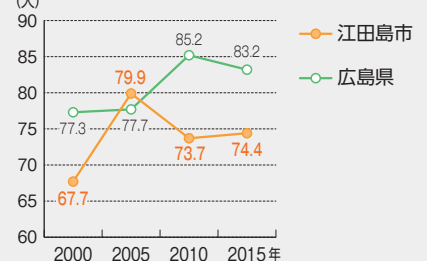


有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



有配偶出生率

(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

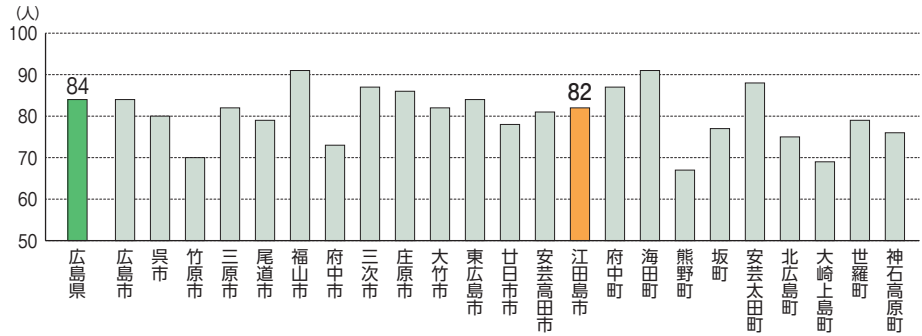
82人

広島県との差

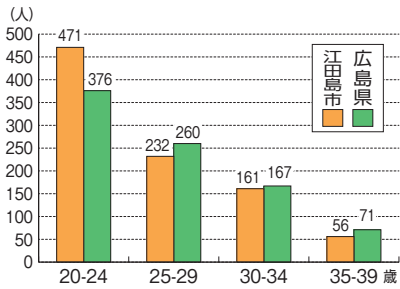
-1.9人

全国との差

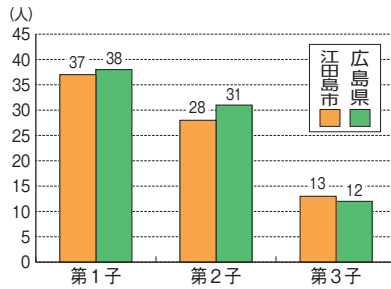
2.6人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



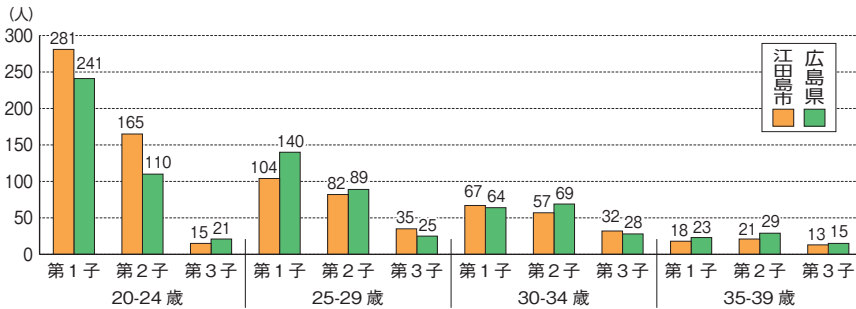
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は82人であり、県値(84人)を1.9人下回る。

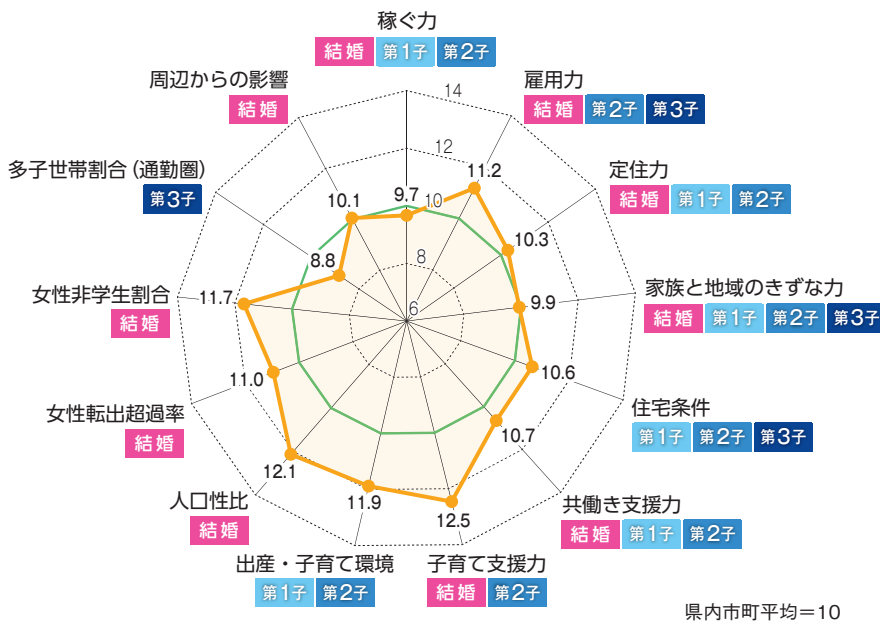
年齢階層別では、県値に比べて20-24歳が高いが、25-29歳以上の年齢階層においては低い。

出生順位別では、県値に比べて第1子と第2子が高い。年齢階層別にみると、20-24歳における第1子、第2子の出生率が県値に比べて高い。一方、25-29歳以上の各年齢階層においては、第2子が県値と比べて低く、有配偶出生率が県値を下回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

ほとんどの指標が市町平均に比べて高い中、結婚(女性有配偶率)に影響する指標である「稼ぐ力」「家族と地域のきずな力」が低い。この指標は、出生率にも影響する指標であり、これらの指標の改善が必要である。また、「女性転出超過率」が高く、この指標が低い周辺自治体と連携した広域的な取組みも必要である。

広島市

呉市

竹原市

三原市

尾道市

福山市

府中市

三次市

庄原市

大竹市

東広島市

廿日市市

安芸高田市

江田島市

府中町

海田町

熊野町

坂町

安芸太田町

北広島町

大崎上島町

世羅町

神石高原町

府中町

Fuchu Town

合計特殊出生率 (2011年～2015年)

1.74

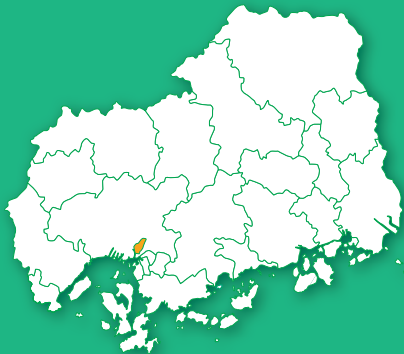
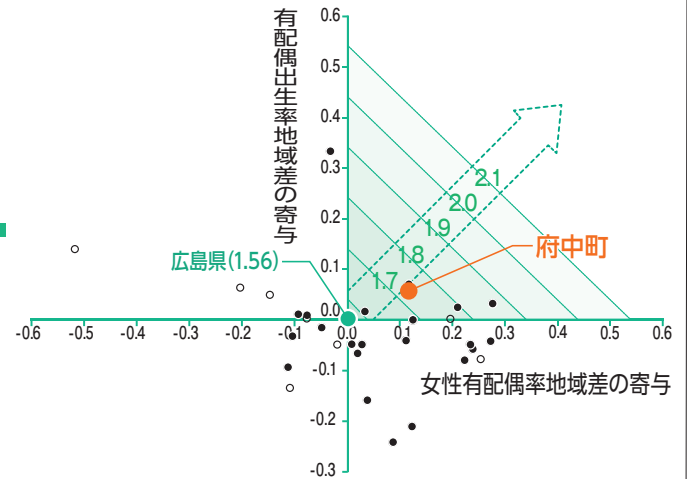
合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年～2015年)

0.18
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年～2015年)

0.34
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



府中町の出生数(2015年)
559人

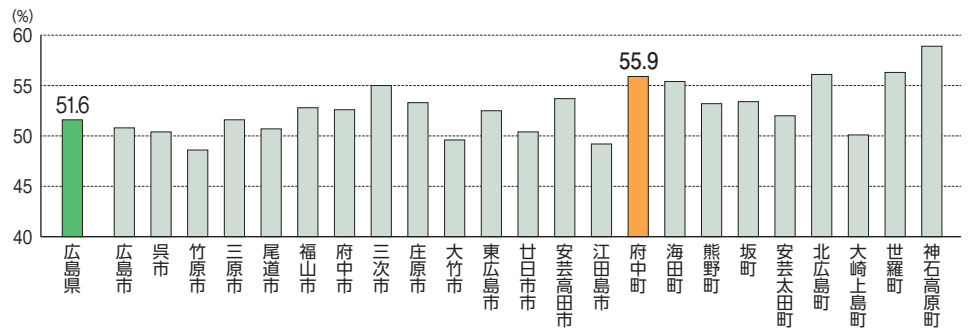
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

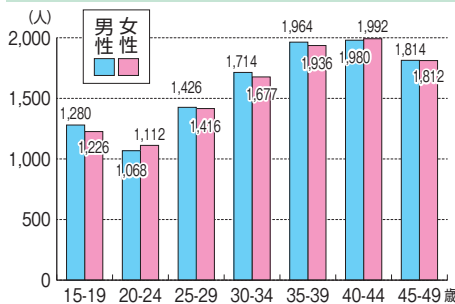
55.9%

広島県との差
4.3
ポイント

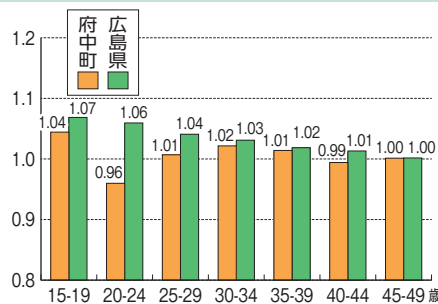
全国との差
6.1
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比(男/女)



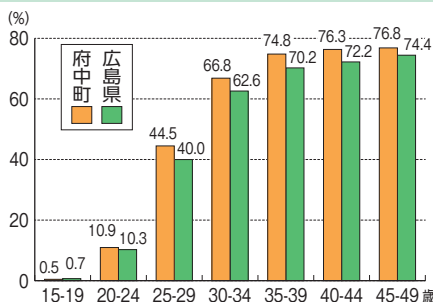
有配偶率の分析から読み取れること

女性有配偶率は55.9%であり、県値(51.6%)を4.3ポイント上回る。

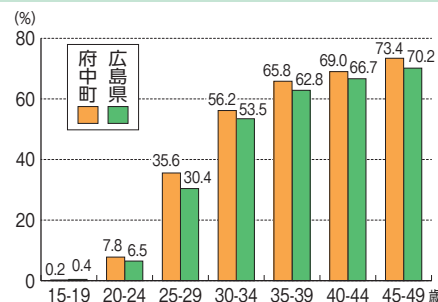
男女別人口は、20-24歳、40-44歳において女性が男性をやや上回る。人口性比は、20-24歳を除く各年齢階層において大きなアンバランスはない。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、20-24歳以上の各年齢階層で県値に比べて高く、女性有配偶率が県値を上回っている要因となっている。男性有配偶率も同様の傾向にある。

年齢階層別有配偶率(女性)

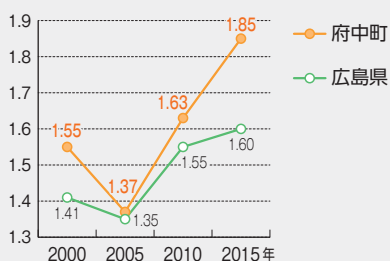


[参考] 年齢階層別有配偶率(男性)

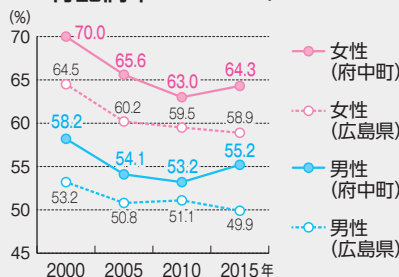


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

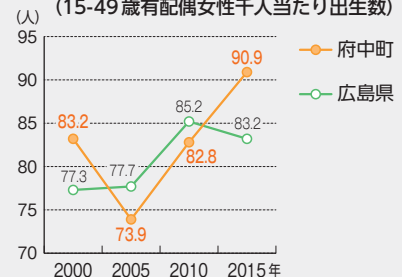


有配偶率(25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



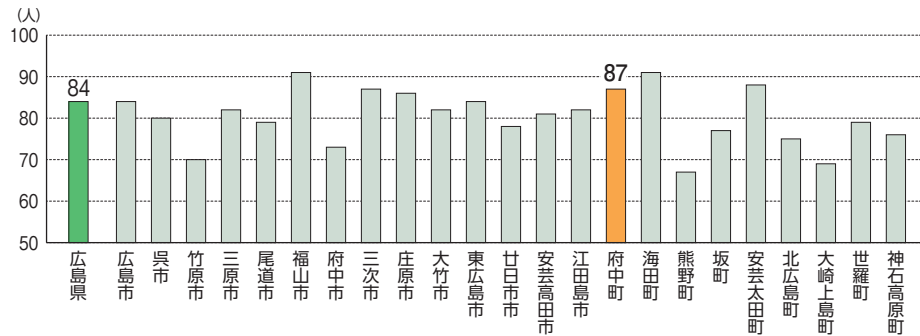
有配偶出生率 (2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

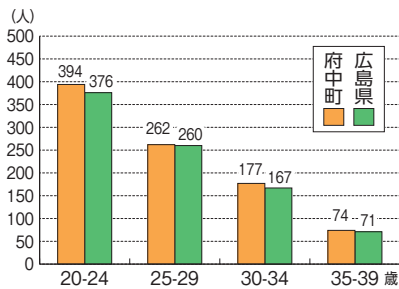
87人

広島県との差
3.3人

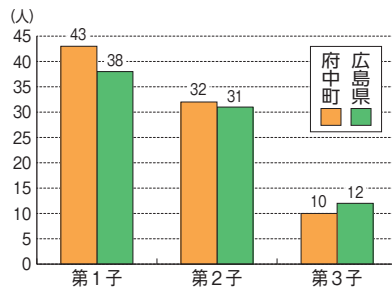
全国との差
7.8人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



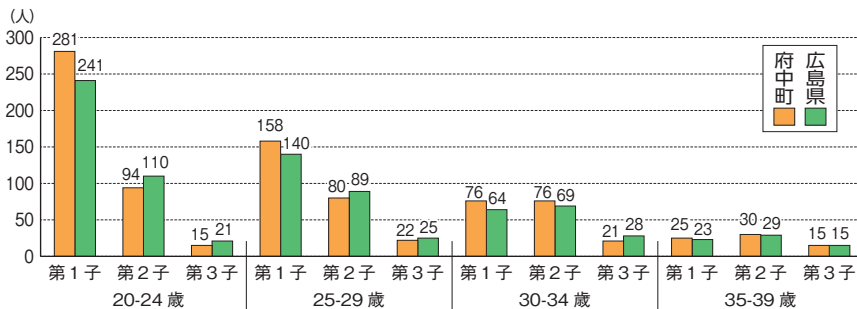
出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



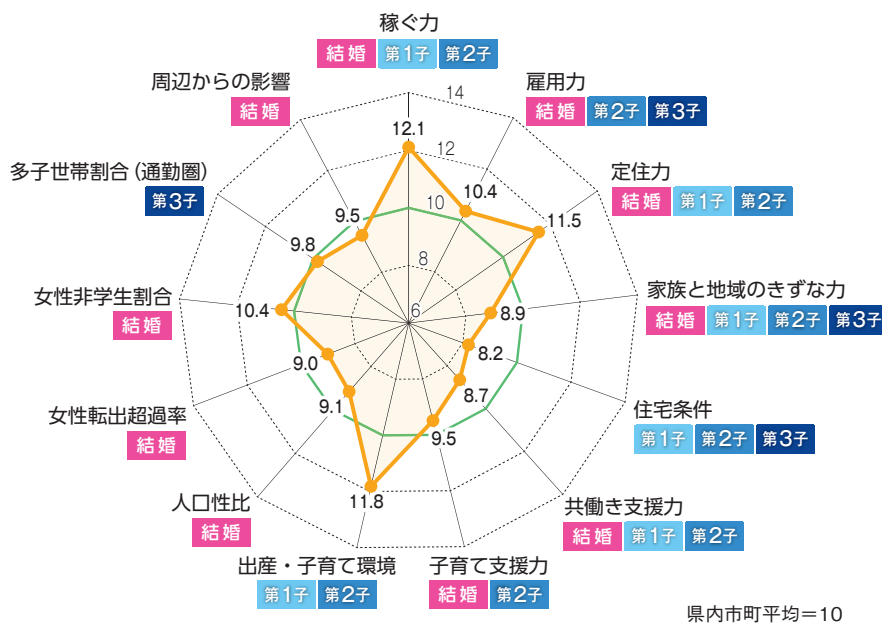
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は87人であり、県値(84人)を上回る。年齢階層別では、全ての各年齢階層において県値に比べて高い。出生順位別では、第1子、第2子が県値に比べて高い。年齢階層別にみると、第1子の出生率が全ての年齢階層で県値に比べて高く、中でも20歳代は県内で最も高く、有配偶出生率が県値を上回っている要因となっている。一方、第2子は20歳代で低く、第3子は全ての年齢階層において低い。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「稼ぐ力」「雇用力」「定住力」などが市町平均に比べて高く、女性有配偶率に寄与している。一方、「家族と地域のきずな力」「共働き支援力」「子育て支援力」「周辺からの影響」は低く、これらの指標の改善が必要である。出生率に影響する指標である「稼ぐ力」「雇用力」「定住力」が出生率の高さに寄与しているが、第3子の出生率を上げるためには、「家族と地域のきずな力」「住宅条件」を改善する必要がある。

広島市

呉市

竹原市

三原市

尾道市

福山市

府中市

三次市

庄原市

大竹市

東広島市

廿日市市

安芸高田市

江田島市

府中町

海田町

熊野町

坂町

安芸太田町

北広島町

大崎上島町

世羅町

神石高原町

海田町

Kaita Town

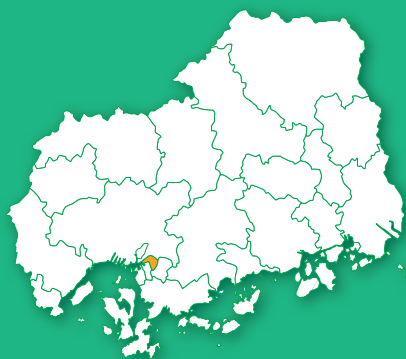
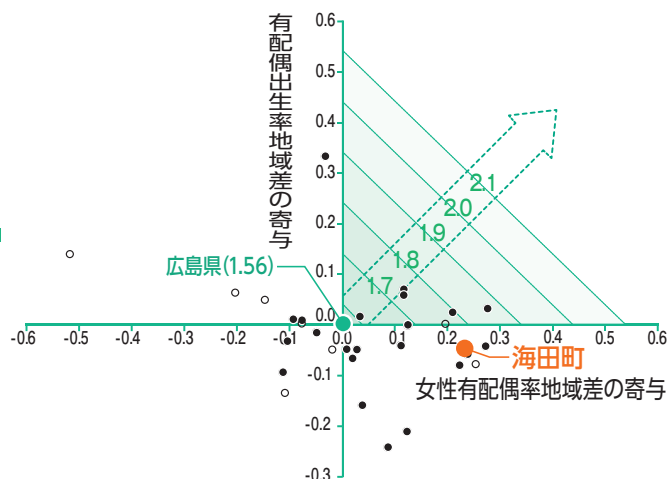
合計特殊出生率 (2011年～2015年)

1.74

合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年～2015年)
0.18
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年～2015年)
0.35
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



海田町の出生数(2015年)
320人

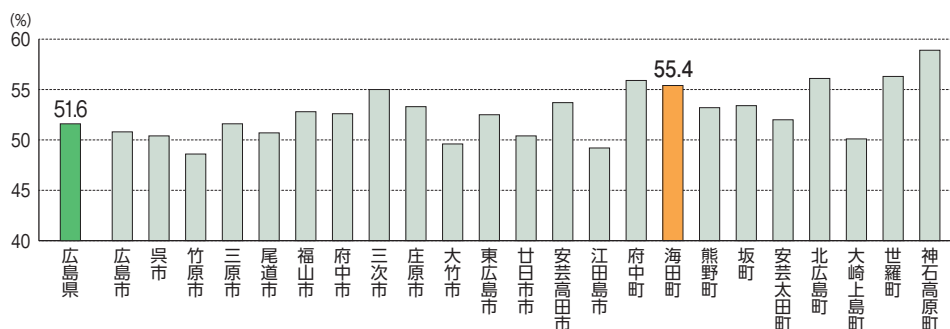
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

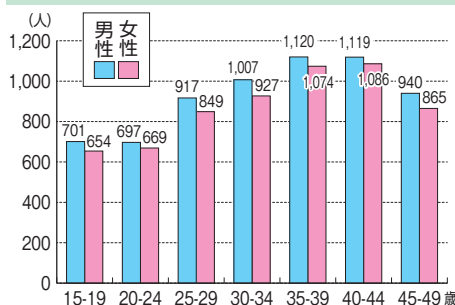
55.4%

広島県との差
3.8
ポイント

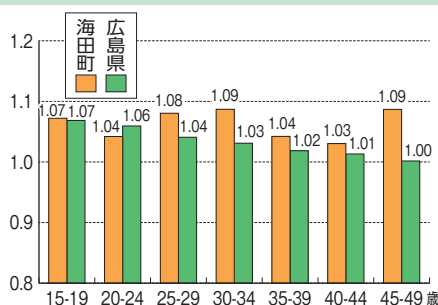
全国との差
5.7
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比 (男/女)



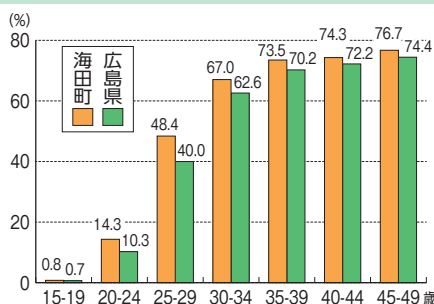
有配偶率の分析から 読み取れること

女性有配偶率は55.4%であり、県値(51.6%)を3.8ポイント上回る。

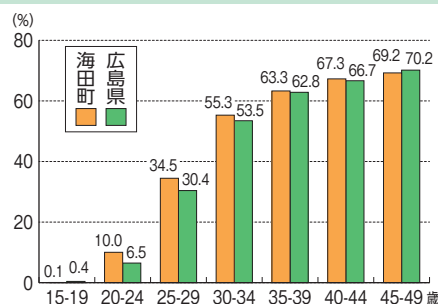
男女別人口は、全ての年齢階層において女性が男性を下回る。人口性比は、25-29歳、30-34歳、45-49歳において男女間のアンバランス(女性<男性)がやや大きい。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、全ての年齢階層において県値に比べて高く、中でも25-29歳で差が大きく、女性有配偶率が県値を上回っている要因となっている。男性有配偶率も同様の傾向にある。

年齢階層別有配偶率 (女性)

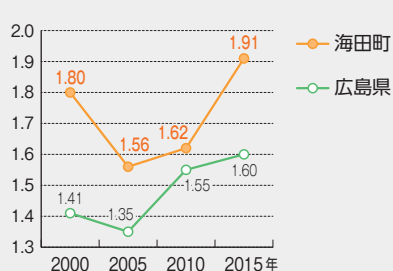


[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)

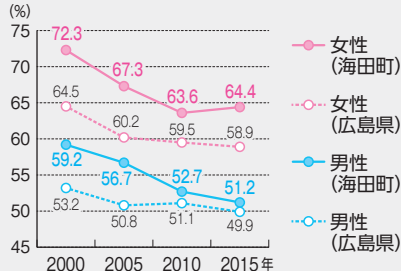


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

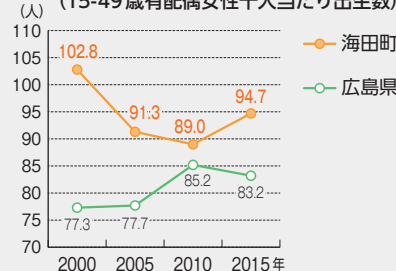


有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



有配偶出生率

(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

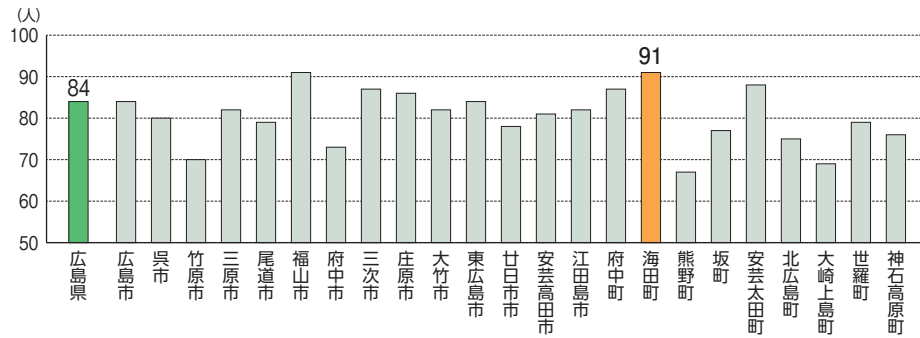
91人

広島県との差

7.3人

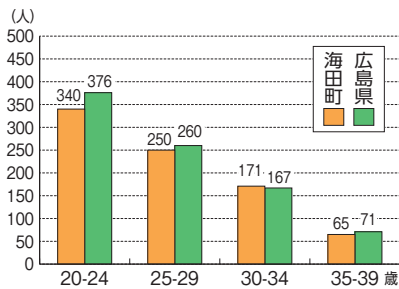
全国との差

11.8人



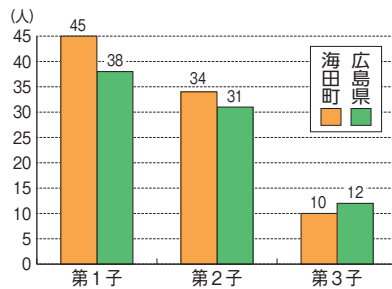
母の年齢階層別有配偶出生率

(各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



有配偶出生率の分析から読み取れること

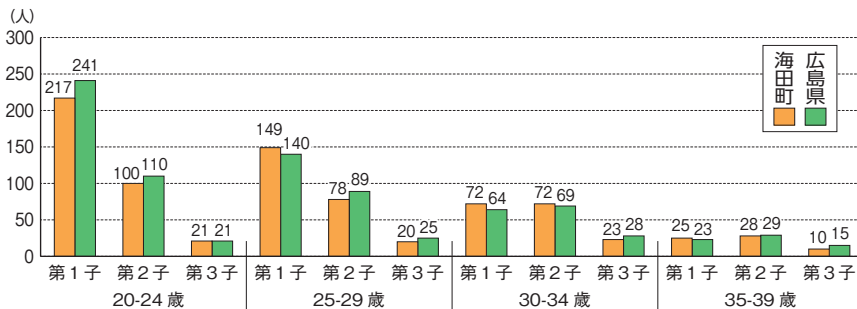
有配偶出生率は91人であり、県値(84人)を7.3人上回り、県内では福山市とともに最も高い。

年齢階層別では、県値に比べて30-34歳で高いが、その他の各年齢階層では県値に比べて低い。

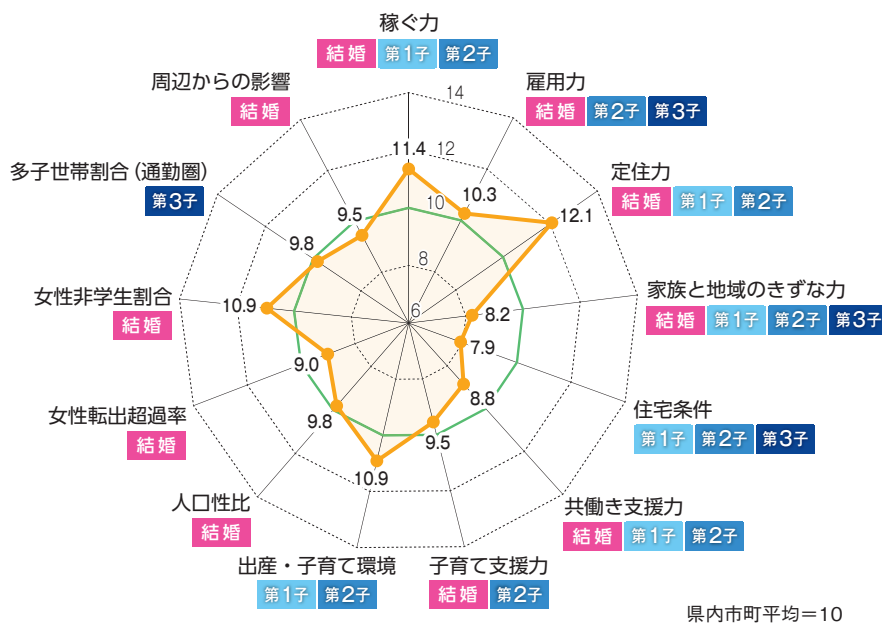
出生順位別では、県値に比べて第1子、第2子が高いが、第3子は低い。年齢階層別にみると、第1子は20-24歳以外の各年齢階層で県値に比べて高く、有配偶出生率が県値を上回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率

(各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「稼ぐ力」「雇用力」「定住力」などが市町平均に比べて高く、女性有配偶率に寄与している。一方、「家族と地域のきずな力」「共働き支援力」「子育て支援力」「周辺からの影響」が低く、これらの指標の改善が必要である。

出生率に影響する指標では、「稼ぐ力」「雇用力」「定住力」「出産・子育て環境」が高い。現状の水準にとどまることなく、出生率を上げるためには「家族と地域のきずな力」「子育て支援力」「住宅条件」を改善し、第2子、第3子の出生率の向上を図ることが求められる。

広島市

呉市

竹原市

三原市

尾道市

福山市

府中市

三次市

庄原市

大竹市

東広島市

廿日市市

安芸高田市

江田島市

府中町

海田町

熊野町

坂町

安芸太田町

北広島町

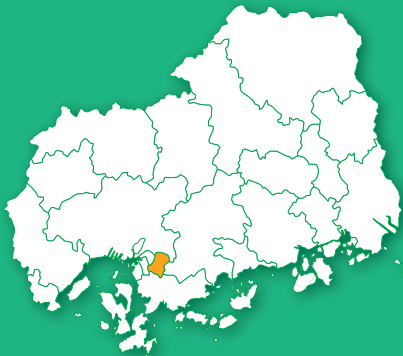
大崎上島町

世羅町

神石高原町

熊野町

Kumano Town



熊野町の出生数(2015年)
143人

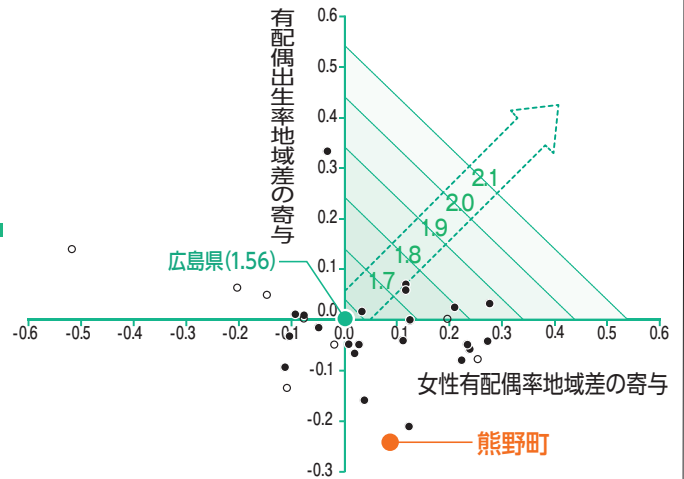
合計特殊出生率 (2011年~2015年)

1.41

合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年~2015年)
-0.16
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年~2015年)
0.01
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



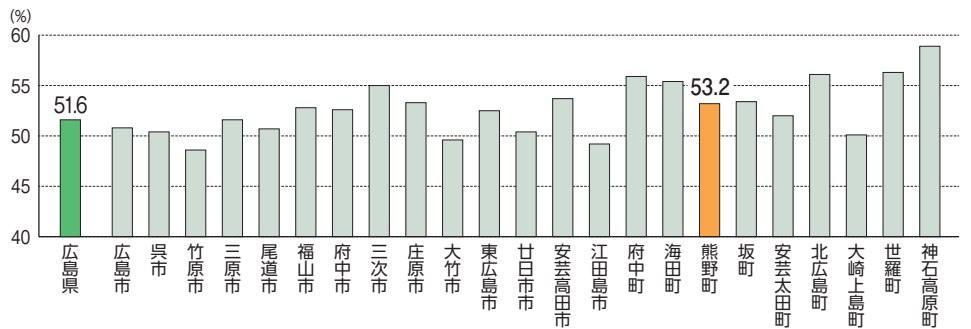
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

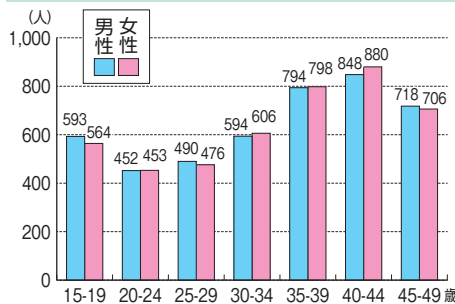
53.2%

広島県との差
1.6
ポイント

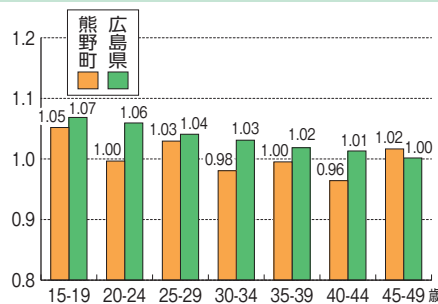
全国との差
3.5
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比 (男/女)



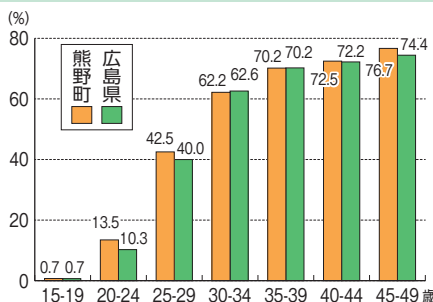
有配偶率の分析から読み取れること

女性有配偶率は53.2%であり、県値(51.6%)を1.6ポイント上回る。

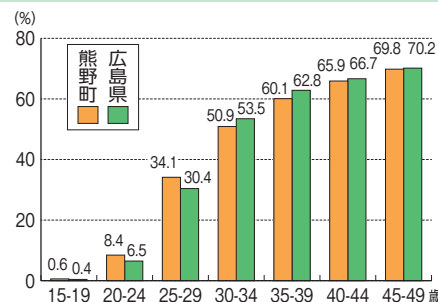
男女別人口は、40-44歳で女性が男性をやや上回るが、各年齢階層において差はほとんどない。人口性比は、40-44歳を除きアンバランスはほとんどない。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、20歳代で県値に比べて高く、女性有配偶率が県値を上回っている要因となっている。男性有配偶率もほぼ同様の傾向にある。

年齢階層別有配偶率 (女性)

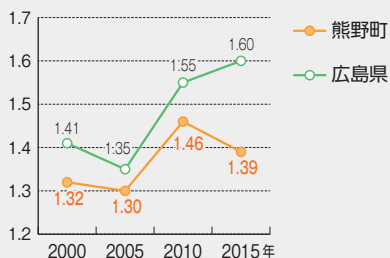


[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)

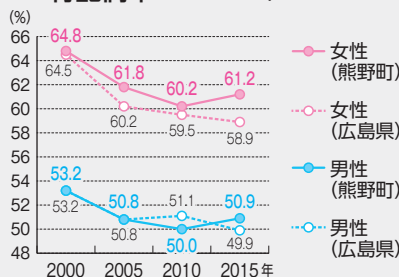


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

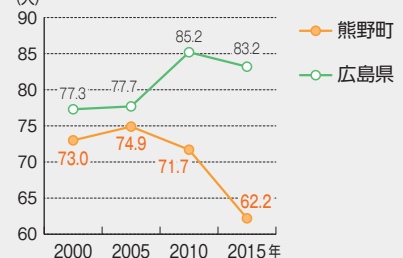


有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



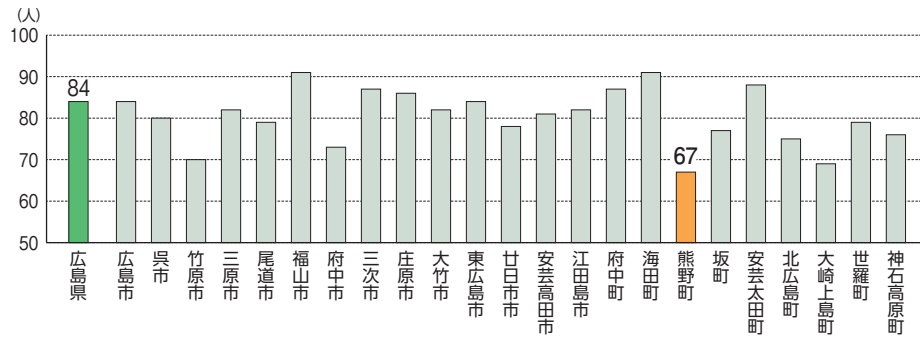
有配偶出生率 (2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

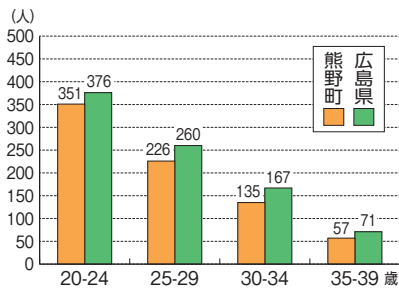
67人

広島県との差
-16.9人

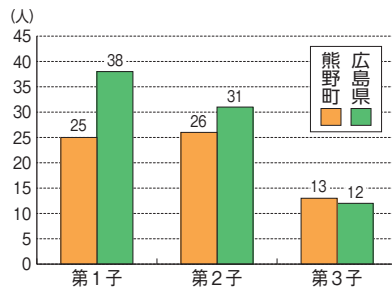
全国との差
-12.4人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



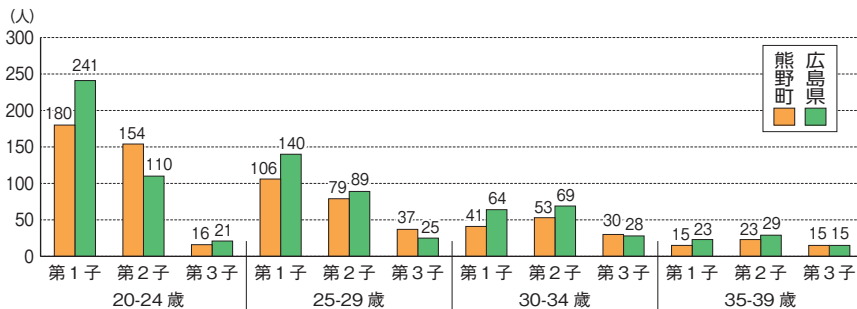
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は67人であり、県値(84人)を16.9人下回り、県内では最も低い。

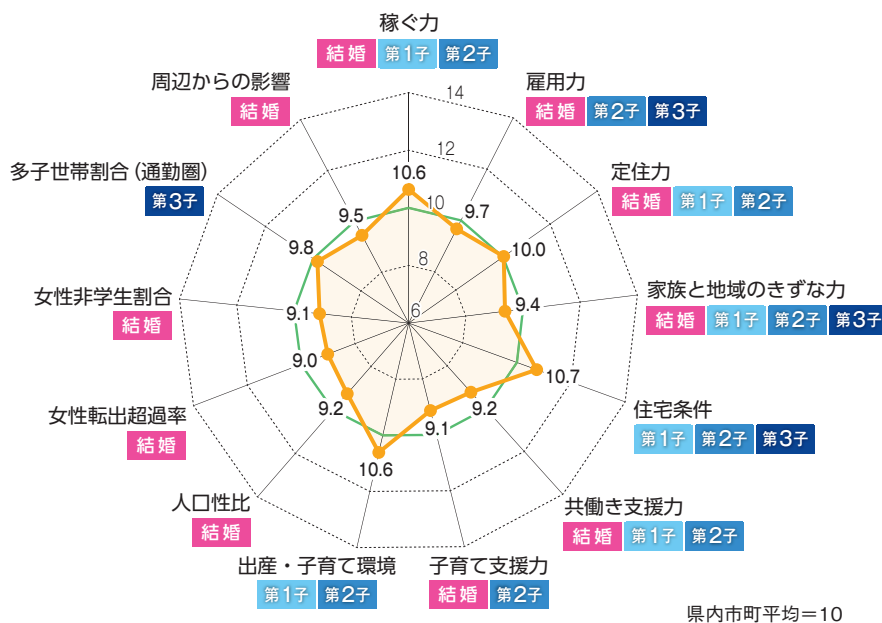
年齢階層別では、全ての年齢階層において県値に比べて低い。

出生順位別では、県値に比べて、第1子、第2子が低く、第3子が高い。年齢階層別にみると、全ての年齢階層において第1子の出生率が県値に比べて低く、特に20-24歳で差が大きく、有配偶出生率が県値を下回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「稼ぐ力」「定住力」以外の指標が市町平均に比べて低く、これらの指標の改善が必要である。

出生率に影響する指標では、「住宅条件」「出産・子育て環境」は高いものの、結婚にも影響する「家族と地域のきずな力」「共働き支援力」「子育て支援力」などの改善が必要である。

広島市

呉市

竹原市

三原市

尾道市

福山市

府中市

三次市

庄原市

大竹市

東広島市

廿日市市

安芸高田市

江田島市

府中町

海田町

熊野町

坂町

安芸太田町

北広島町

大崎上島町

世羅町

神石高原町

坂町

Saka Town

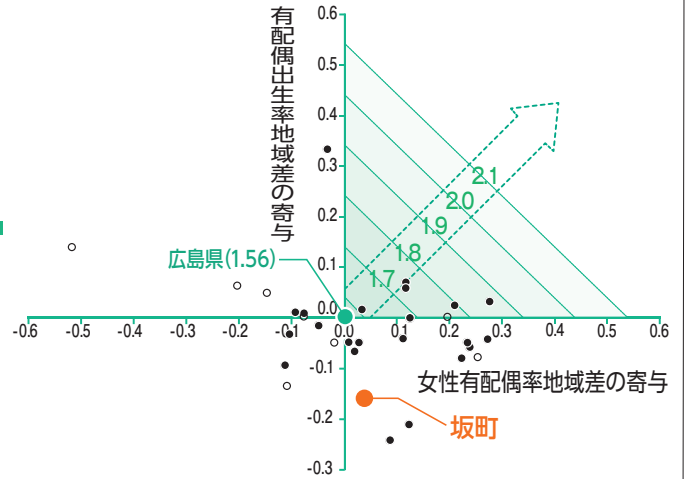
合計特殊出生率 (2011年～2015年)

1.44

合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年～2015年)
-0.12
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年～2015年)
0.04
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



坂町の出生数 (2015年)
87人

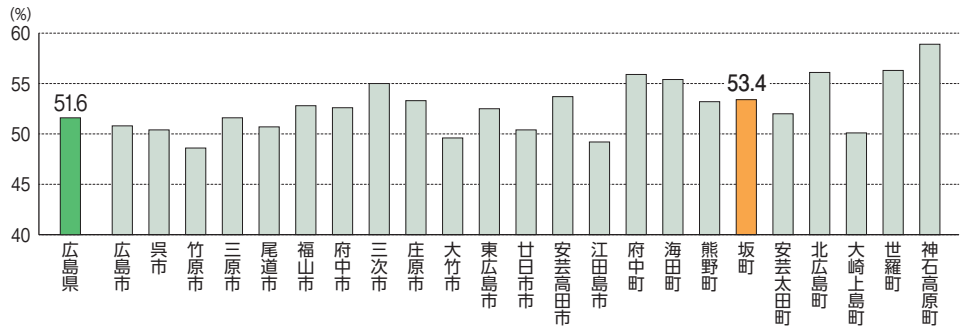
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

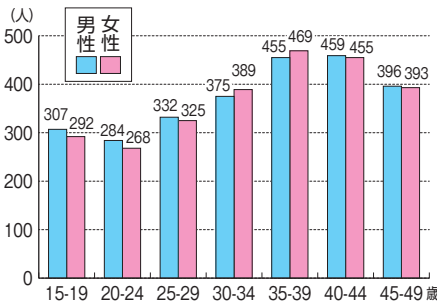
53.4%

広島県との差
1.8
ポイント

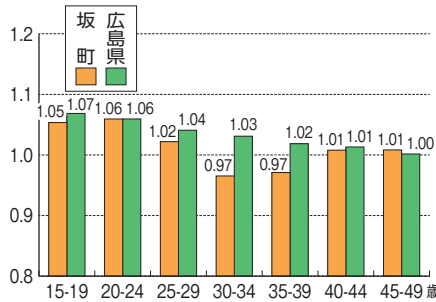
全国との差
3.7
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比 (男/女)



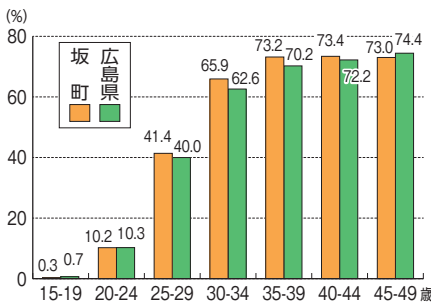
有配偶率の分析から 読み取れること

女性有配偶率は53.4%であり、県値(51.6%)を1.8ポイント上回る。

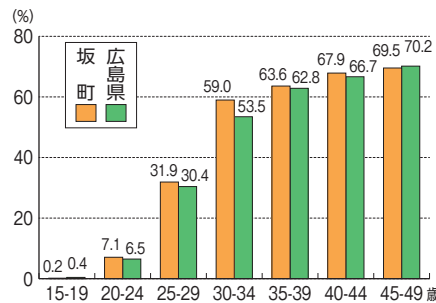
男女別人口は、30歳代で女性が男性をやや上回るが、各年齢階層において差はほとんどない。人口性比は、30歳代を除き、アンバランスはない。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、25-29歳から40-44歳の各年齢階層で県値に比べて高く、女性有配偶率が県値を上回っている要因となっている。男性有配偶率もほぼ同様の傾向にある。

年齢階層別有配偶率 (女性)

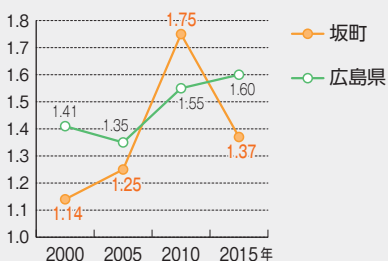


[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)

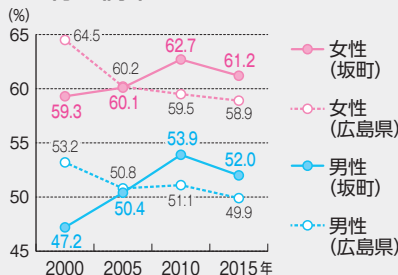


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

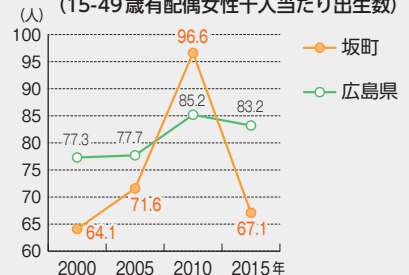


有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



有配偶出生率

(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

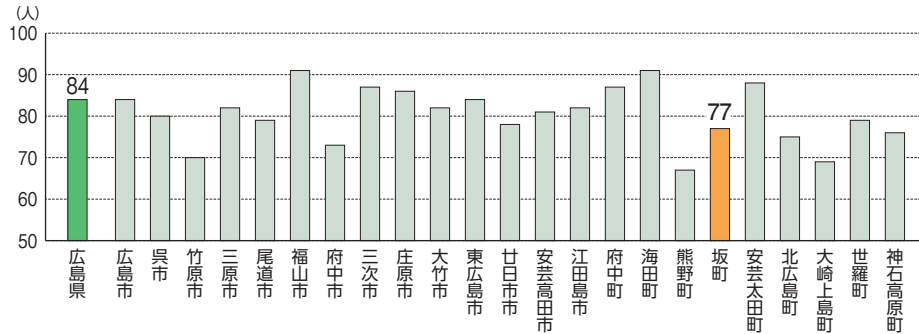
77人

広島県との差

-6.9人

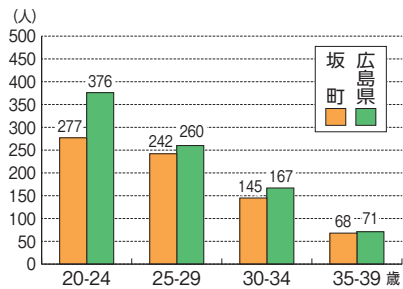
全国との差

-2.4人



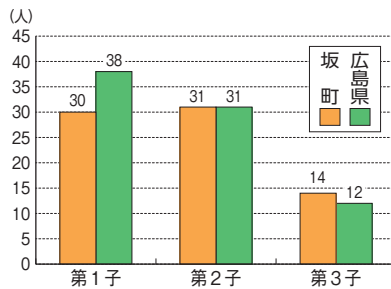
母の年齢階層別有配偶出生率

(各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

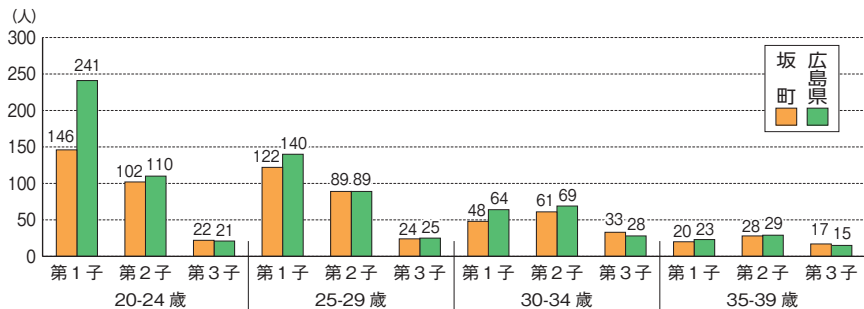


有配偶出生率の分析から読み取れること

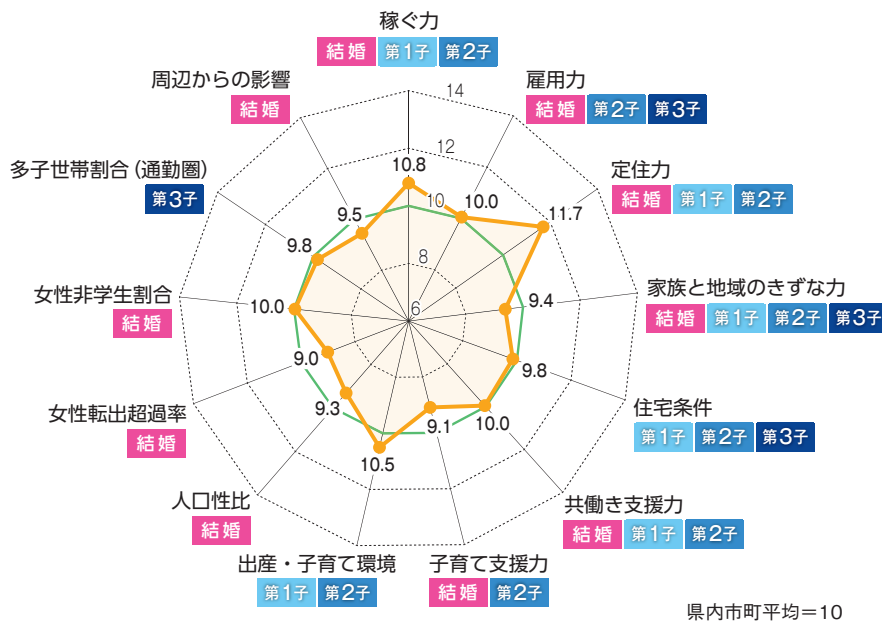
有配偶出生率は77人であり、県値(84人)を6.9人下回る。
 年齢階層別では、全ての年齢階層において県値に比べて低い。
 出生順位別では、県値と比べて第1子が低く、第3子が高い。年齢階層別にみると、全ての年齢階層で第1子出生率が県値に比べて低く、特に20-24歳の差が大きく、有配偶出生率が県値を下回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率

(各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「家族と地域のきずな力」「子育て支援力」「周辺からの影響」などが市町平均に比べて低いことから、これらの指標の改善が必要である。
 出生率に影響する指標では、「住宅条件」の改善とともに、結婚にも影響する「家族と地域のきずな力」「子育て支援力」の改善が必要である。

安芸太田町

Akiota Town

合計特殊出生率 (2011年～2015年)

1.86

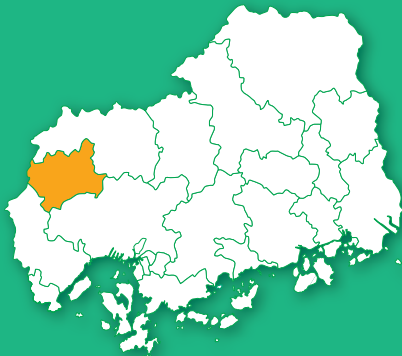
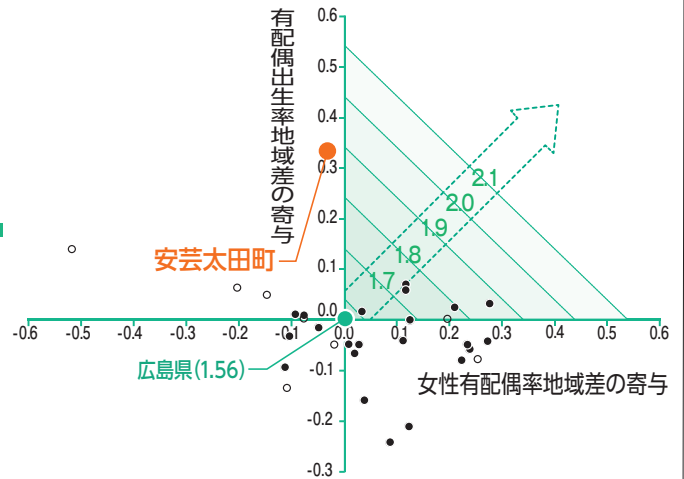
合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年～2015年)

0.30
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年～2015年)

0.46
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



安芸太田町の出生数 (2015年)
33人

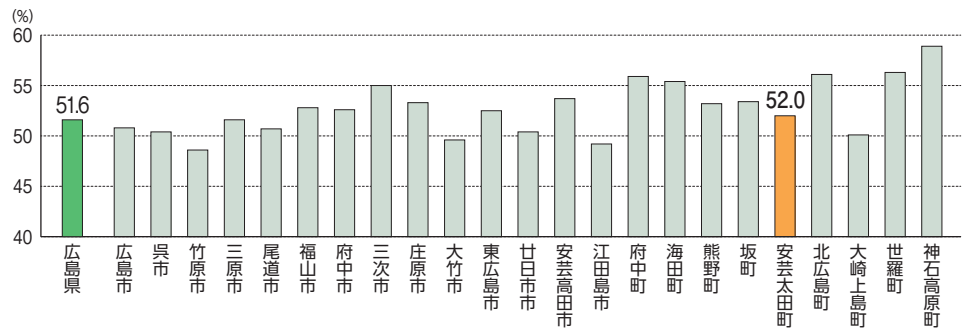
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

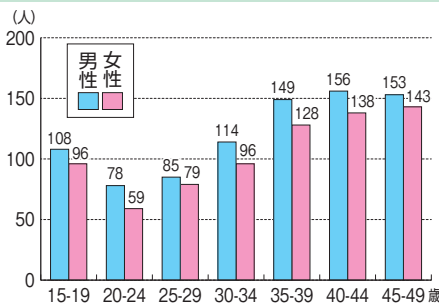
52.0%

広島県との差
0.4
ポイント

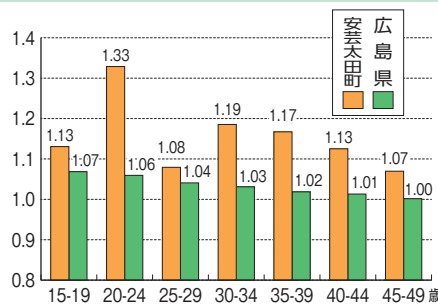
全国との差
2.3
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比 (男/女)



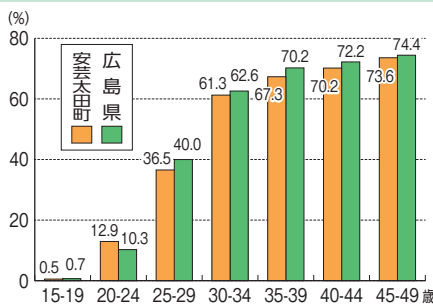
有配偶率の分析から読み取れること

女性有配偶率は52.0%であり、県値(51.6%)とほぼ同水準である。

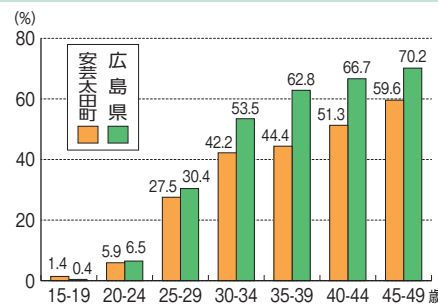
男女別人口は、全ての年齢階層で女性が男性を下回る。人口性比は、20-24歳、30-34歳、35-39歳において男女間のアンバランス(女性<男性)が大きい。

女性有配偶率は、20-24歳で県値に比べて高く、その他の各年齢階層は低い。人口性比が男性に偏っているため、男性有配偶率は15-19歳以外の年齢階層において県値に比べて低い。

年齢階層別有配偶率 (女性)

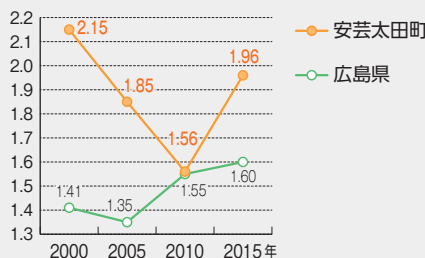


[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)

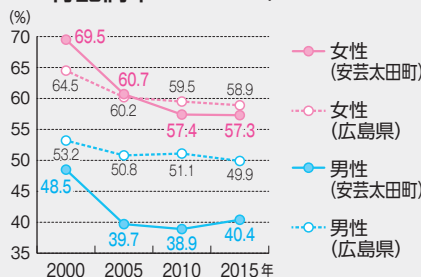


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

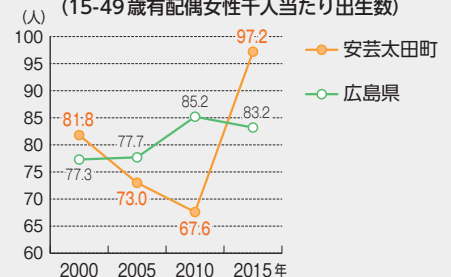


有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



有配偶出生率

(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

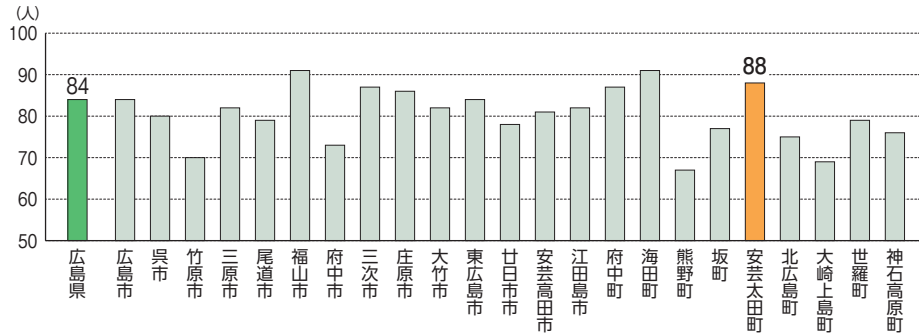
88人

広島県との差

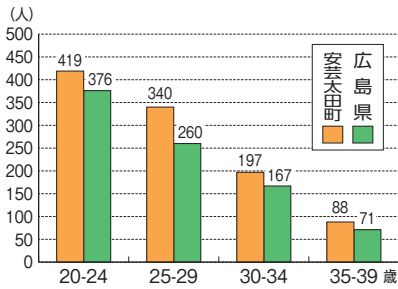
4.2人

全国との差

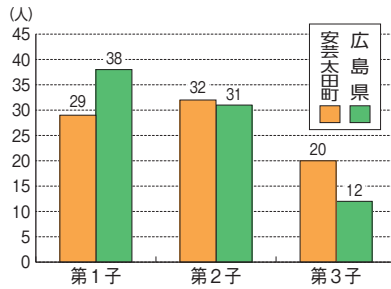
8.6人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



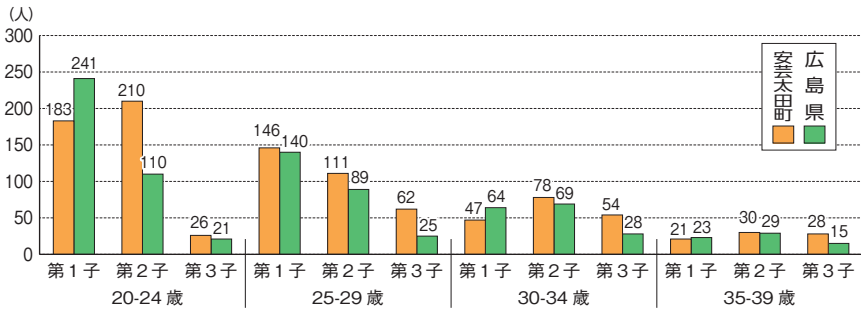
出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



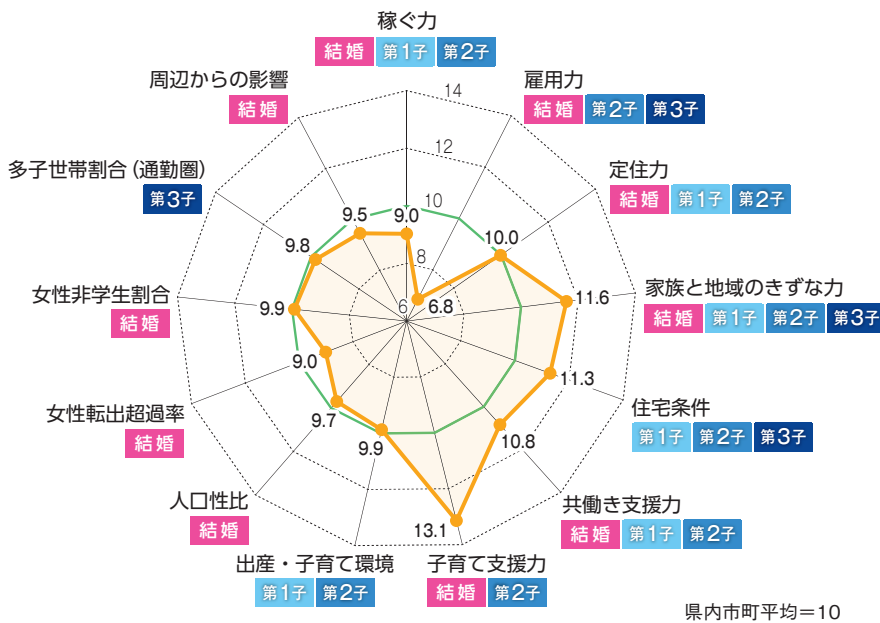
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は88人であり、県値(84人)を4.2人上回る。
 年齢階層別では、全ての年齢階層において県値に比べて高い。
 出生順位別では、県値に比べて第1子が低いが、それ以外は高い。
 年齢階層別にみると、25-29歳以外の各年齢階層で第1子の出生率が県値に比べて低いが、第2子、第3子は全ての年齢階層で高く、有配偶出生率が県値を上回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「家族と地域のきずな力」「共働き支援力」「子育て支援力」は市町平均に比べて高いが、「雇用力」が著しく低いため、改善が必要である。
 出生率に影響する指標では、「家族と地域のきずな力」「住宅条件」「共働き支援力」「子育て支援力」は高いが、「出産・子育て環境」が低く、結婚にも影響する「稼ぐ力」「雇用力」とともに、改善が重要である。

北広島町

Kitahiroshima Town

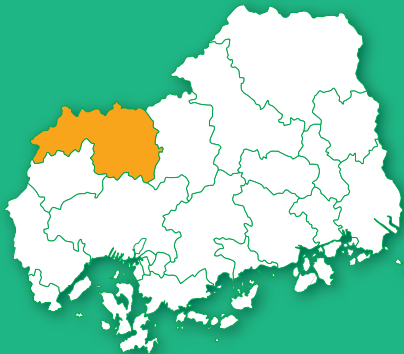
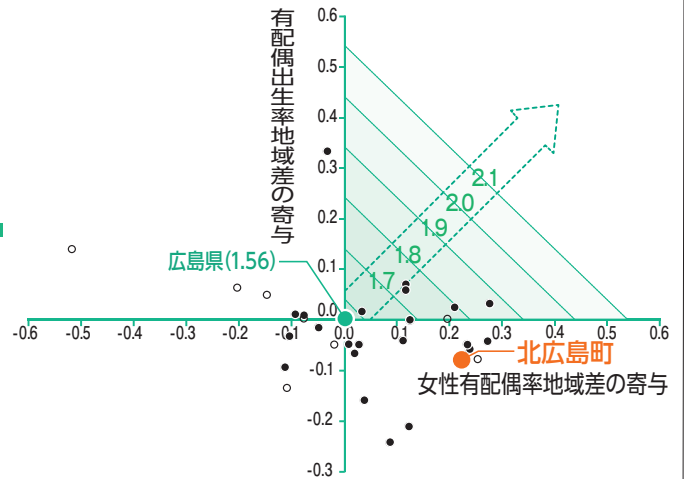
合計特殊出生率 (2011年～2015年)

1.70

合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年～2015年)
0.14
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年～2015年)
0.30
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



北広島町の出生数 (2015年)
106人

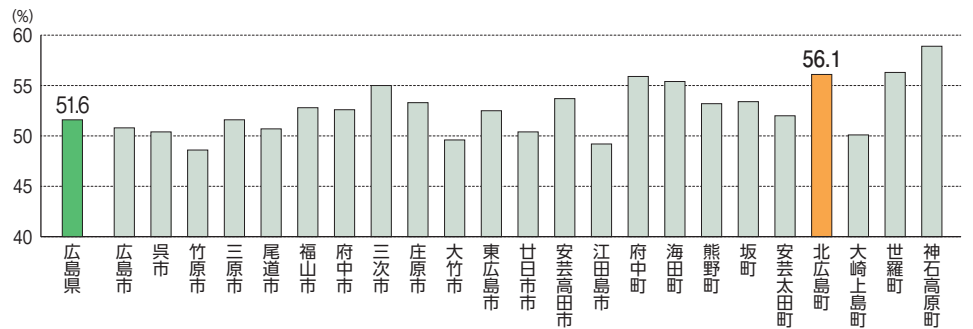
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

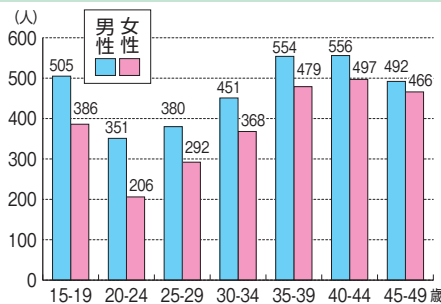
56.1%

広島県との差
4.5
ポイント

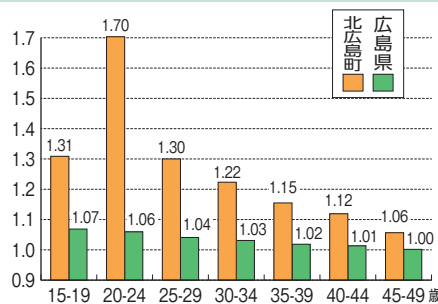
全国との差
6.4
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比 (男/女)



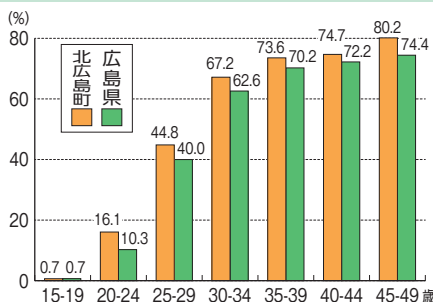
有配偶率の分析から読み取れること

女性有配偶率は56.1%であり、県値(51.6%)を4.5ポイント上回る。

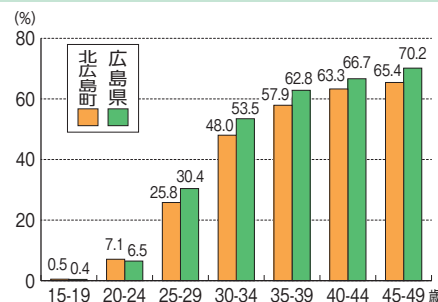
男女別人口は、全ての年齢階層で女性が男性を下回る。人口性比は、20-24歳を最大とし、全ての年齢階層において男女間のアンバランス(女性<男性)が大きい。

女性有配偶率は、全ての年齢階層において県値に比べて高い。人口性比が男性に偏っているため、男性有配偶率は15-19歳、20-24歳を除く各年齢階層において県値に比べて低い。

年齢階層別有配偶率 (女性)

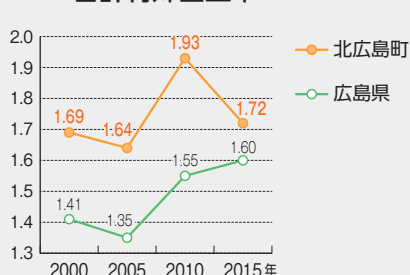


[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)

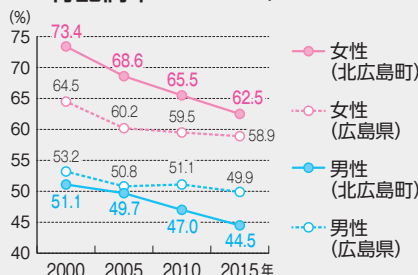


合計特殊出生率の関連指標の推移

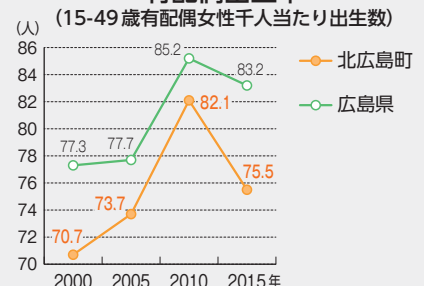
合計特殊出生率



有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率



有配偶出生率

(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

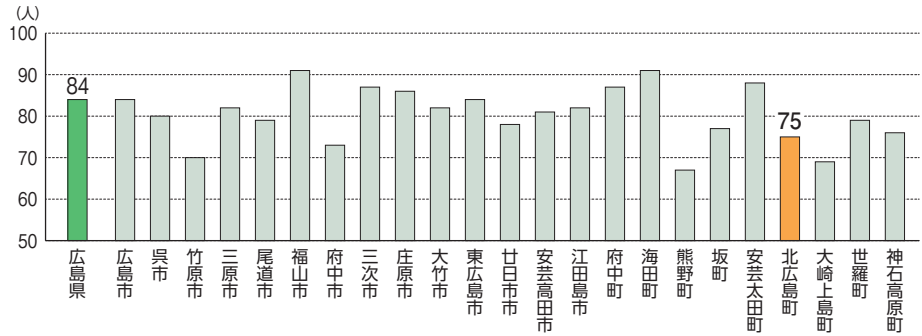
75人

広島県との差

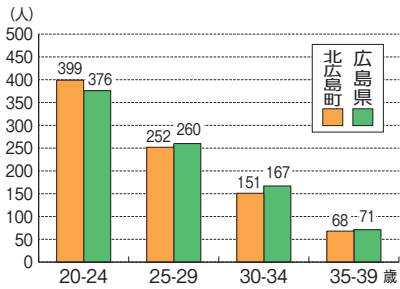
-9.2人

全国との差

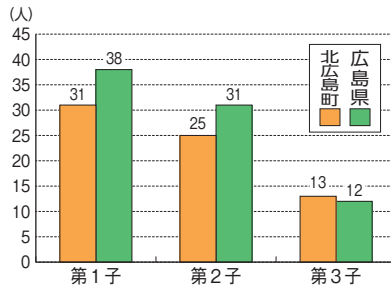
-4.7人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



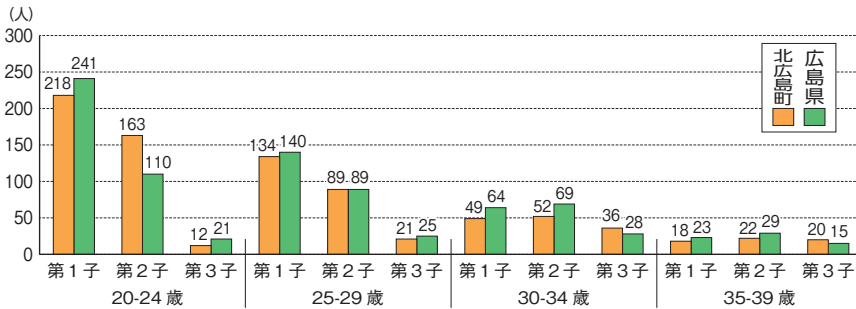
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は75人であり、県値(84人)を9.2人下回る。

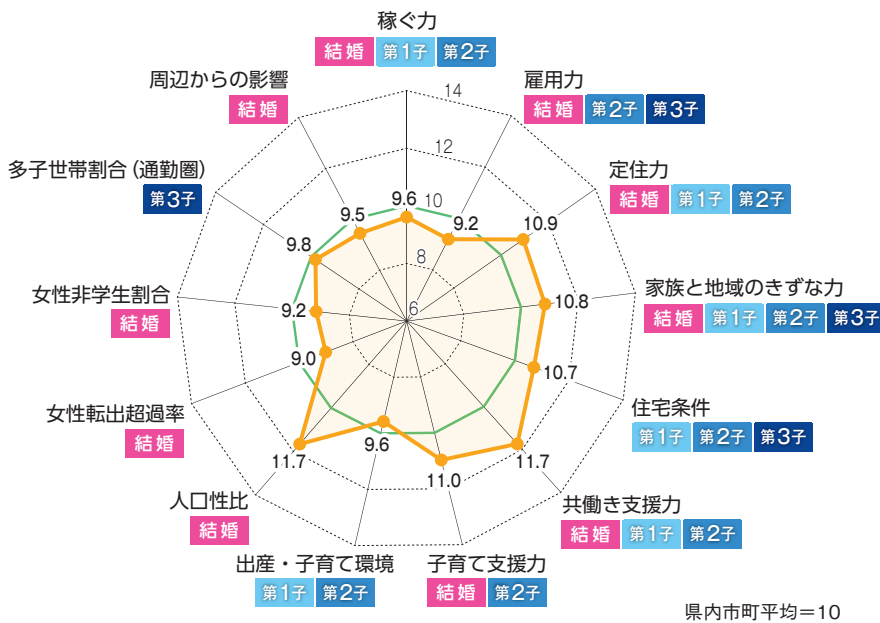
年齢階層別では、県値に比べて20-24歳が高いが、その他の年齢階層においては低い。

出生順位別では、県値に比べて第1子、第2子が低く、第3子が高い。年齢階層別にみると全ての年齢階層で第1子出生率が県値に比べて低く、第2子も25-29歳以上の各年齢階層において、県値並みか低いことが、有配偶出生率が県値を下回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「稼ぐ力」「雇用力」「周辺からの影響」などが市町平均に比べて低く、これらの指標の改善が必要である。

出生率に影響する指標では、「定住力」「家族と地域のきずな力」「住宅条件」「共働き支援力」「子育て支援力」は高いが、「出産・子育て環境」は低く、結婚にも影響する「稼ぐ力」「雇用力」とともに改善が必要である。

大崎上島町

Osakikamijima Town

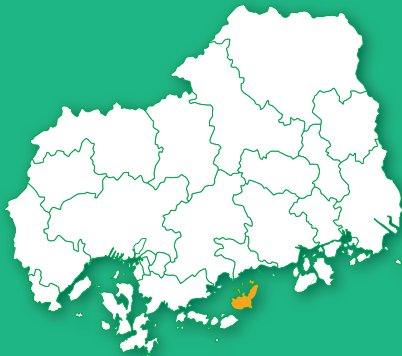
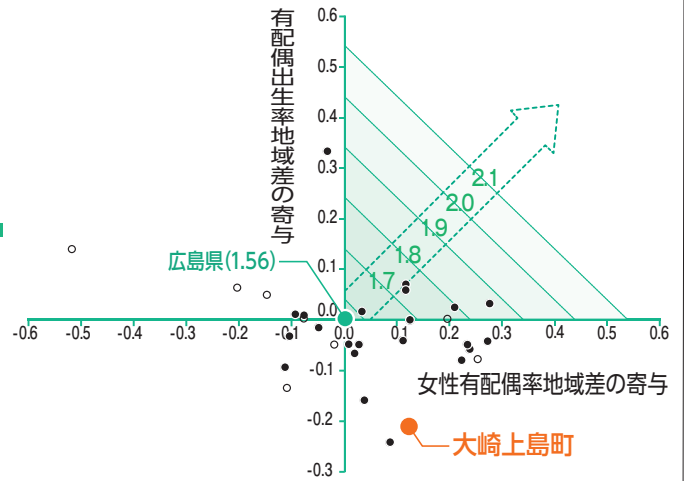
合計特殊出生率 (2011年～2015年)

1.47

合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年～2015年) **-0.09**
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年～2015年) **0.07**
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



大崎上島町の出生数 (2015年)
30人

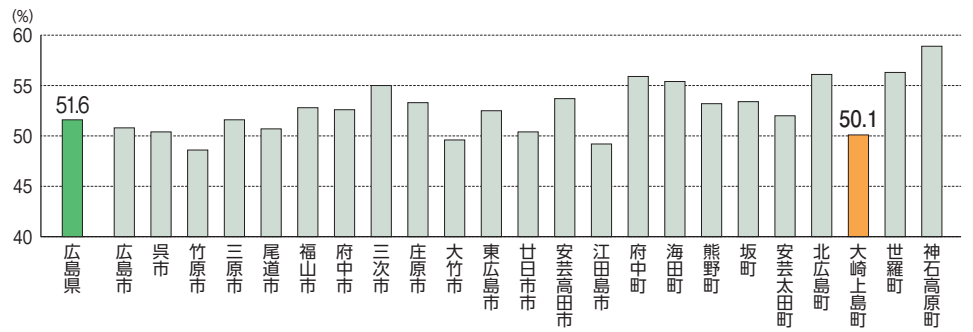
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

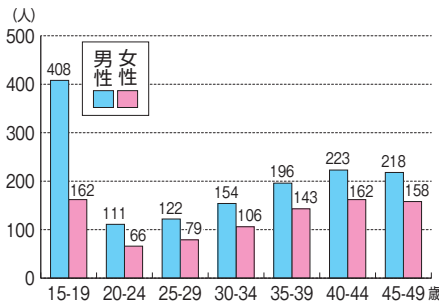
50.1%

広島県との差 **-1.4**
ポイント

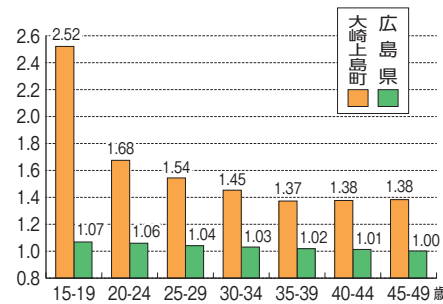
全国との差 **0.4**
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比 (男/女)



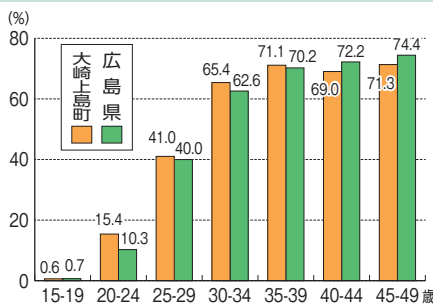
有配偶率の分析から 読み取れること

女性有配偶率は50.1%であり、県値(51.6%)を1.4ポイント下回る。

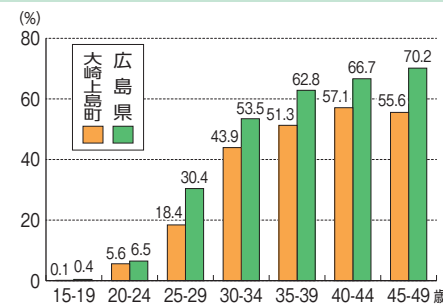
男女別人口は、全ての年齢階層において女性が男性を下回る。人口性比は、15-19歳を最大とし、全ての年齢階層で男女間のアンバランス(女性<男性)が大きい。

女性有配偶率を年齢階層別に見ると、40歳代で県値に比べて低く、女性有配偶率が県値を下回っている要因となっている。人口性比が男性に偏っているため、男性有配偶率は全ての年齢階層において県値に比べて低い。

年齢階層別有配偶率 (女性)

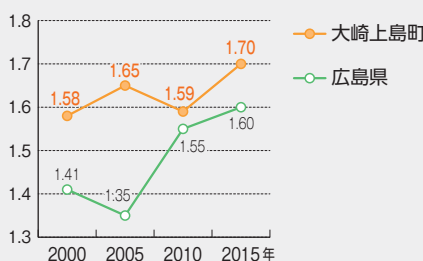


[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)

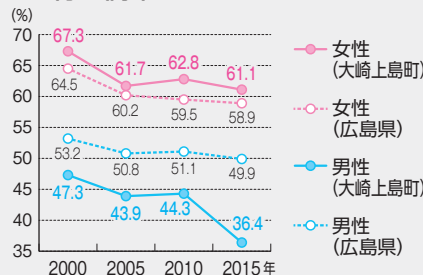


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

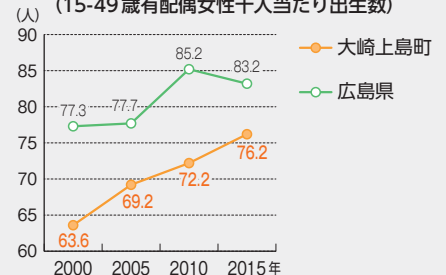


有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



有配偶出生率

(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

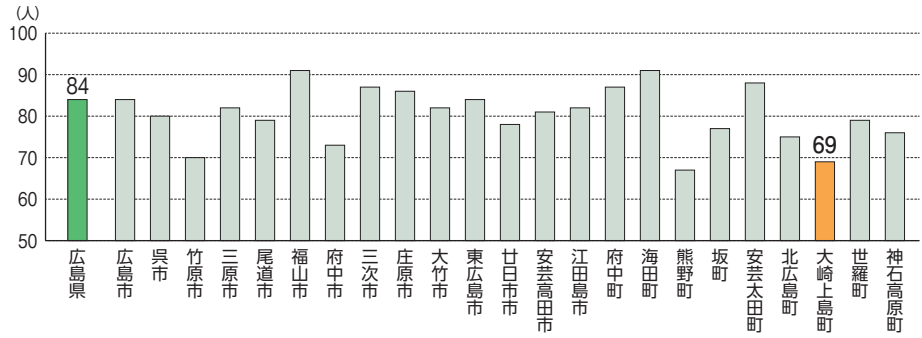
69人

広島県との差

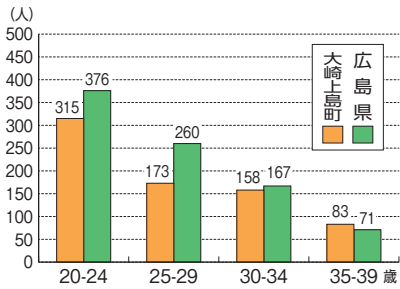
-15.1
人

全国との差

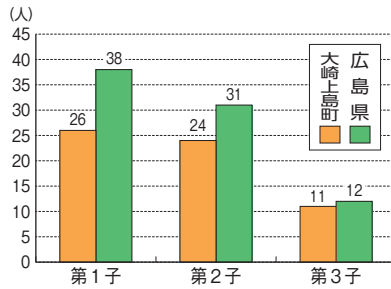
-10.6
人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



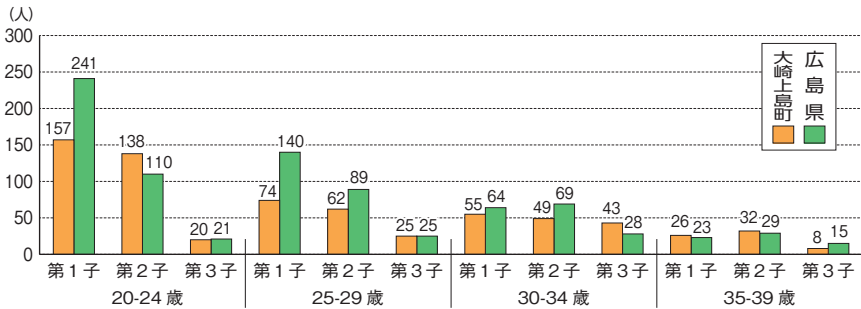
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は69人であり、県値(84人)を15.1人下回る。

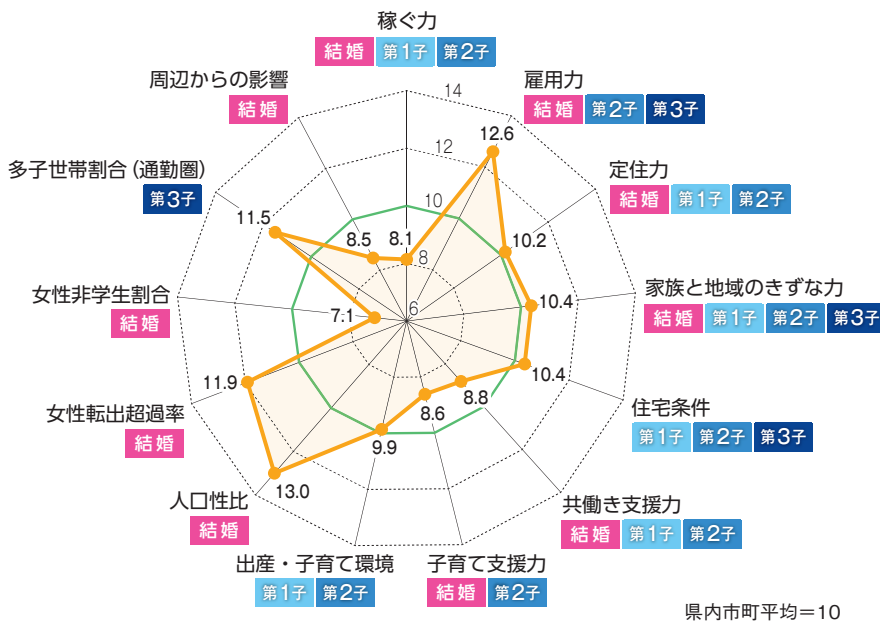
年齢階層別では、県値に比べて35-39歳で高いが、その他の各年齢階層においては県値に比べて低い。

出生順位別では、県値に比べて全ての出生順位で低い。年齢階層別にみると、20-24歳から30-34歳において第1子出生率が県値に比べて低く、有配偶出生率が県値を下回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「稼ぐ力」「共働き支援力」「子育て支援力」「周辺からの影響」などが市町平均に比べて低く、これらの指標の改善が必要である。また、「女性転出超過率」が高く、この指標が低い周辺自治体と連携した広域的な取組みも必要である。

出生率に影響する指標では、「出産・子育て環境」の改善とともに結婚にも影響する「稼ぐ力」「共働き支援力」「子育て支援力」の改善が必要である。

世羅町

Sera Town

合計特殊出生率 (2011年～2015年)

1.74

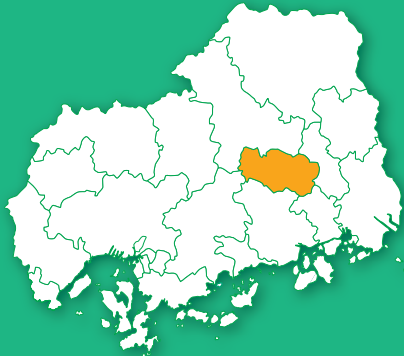
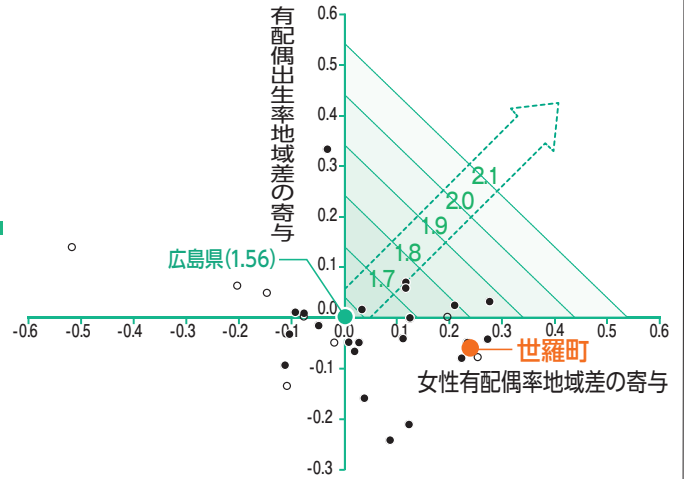
合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年～2015年)

0.18
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年～2015年)

0.34
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



世羅町の出生数(2015年)
94人

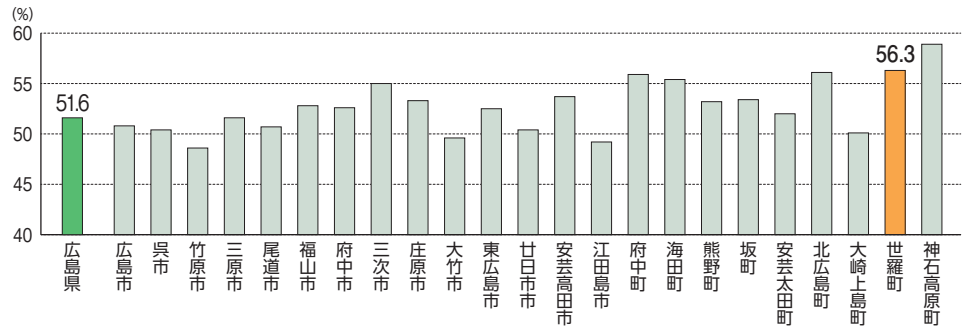
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

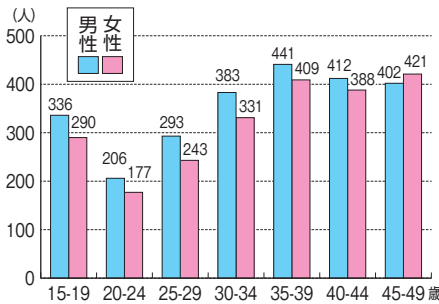
56.3%

広島県との差
4.8
ポイント

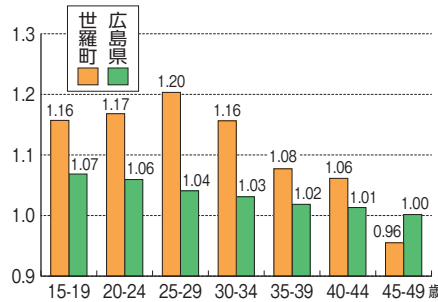
全国との差
6.6
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比 (男/女)



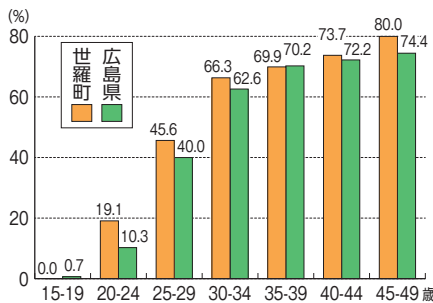
有配偶率の分析から 読み取れること

女性有配偶率は56.3%であり、県値(51.6%)を4.8ポイント上回る。

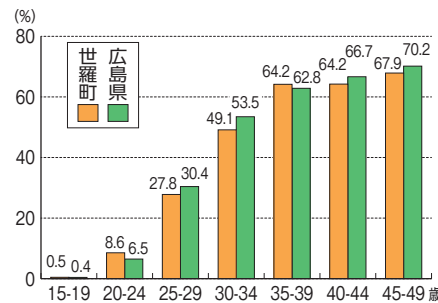
男女別人口は、45-49歳を除く各年齢階層において女性が男性を下回る。人口性比は、15-19歳から30-34歳までの各年齢階層で男女間のアンバランス(女性<男性)が大きい。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、20歳代で県値に比べて高く、女性有配偶率が県値を上回っている要因となっている。人口性比が男性に偏っているため、男性有配偶率はほとんどの年齢階層において県値並みか県値に比べて低い。

年齢階層別有配偶率 (女性)

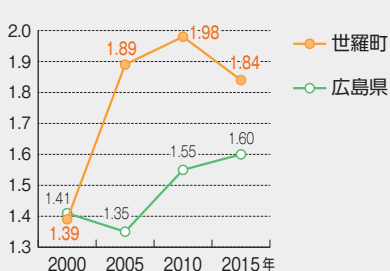


[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)

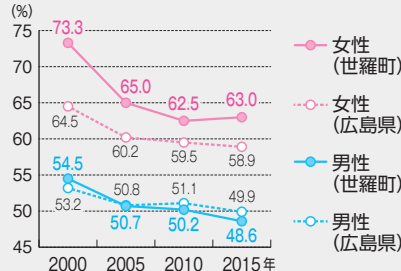


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

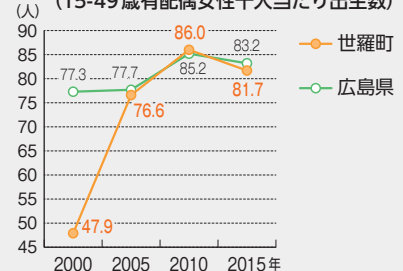


有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



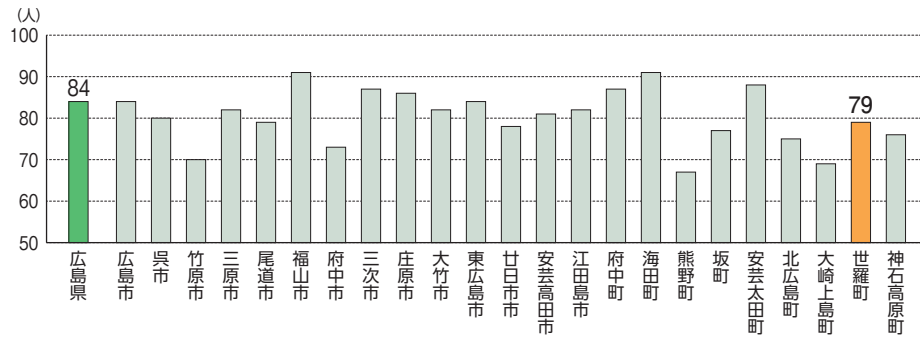
有配偶出生率 (2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

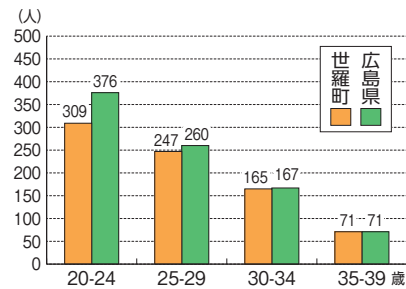
79人

広島県との差
-5.0人

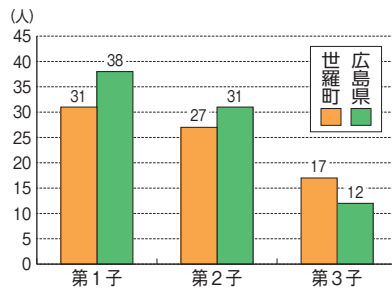
全国との差
-0.5人



母の年齢階層別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



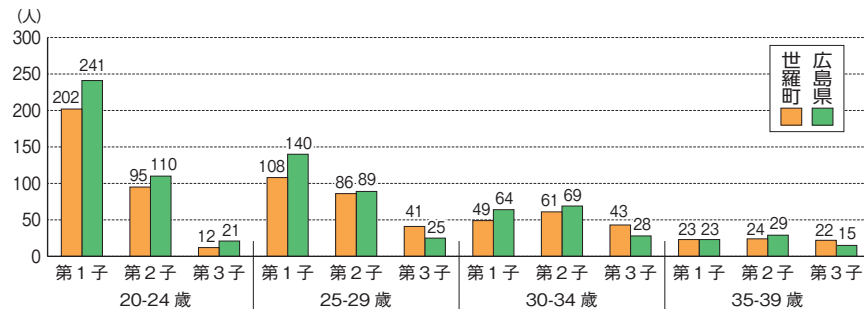
出生順位別有配偶出生率 (15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



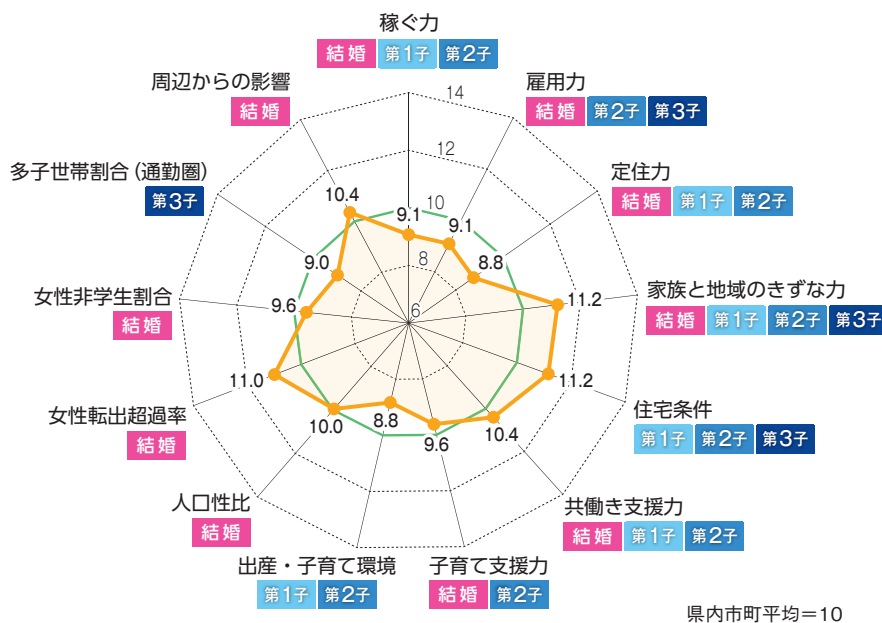
有配偶出生率の分析から読み取れること

有配偶出生率は79人であり、県値(84人)を5.0人下回る。
年齢階層別では、県値に比べて35-39歳以外の各年齢階層において低い。
出生順位別では、県値に比べて第1子、第2子は低く、第3子は高い。年齢階層別にみると、全ての年齢階層において第1子、第2子の出生率が県値に比べて低く、有配偶出生率が県値を下回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率 (各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「稼ぐ力」「雇用力」「定住力」「子育て支援力」などが市町平均に比べて低く、これらの指標の改善が必要である。また、「女性転出超過率」が高く、この指標が低い周辺自治体と連携した広域的な取組みも必要である。
出生率に影響する指標では、「出産・子育て環境」の改善とともに、結婚にも影響する「稼ぐ力」「雇用力」「定住力」「子育て支援力」の改善が必要である。

- 広島市
- 呉市
- 竹原市
- 三原市
- 尾道市
- 福山市
- 府中市
- 三次市
- 庄原市
- 大竹市
- 東広島市
- 廿日市市
- 安芸高田市
- 江田島市
- 府中町
- 海田町
- 熊野町
- 坂町
- 安芸太田町
- 北広島町
- 大崎上島町
- 世羅町
- 神石高原町

神石高原町

Jinsekikogen Town

合計特殊出生率 (2011年～2015年)

1.87

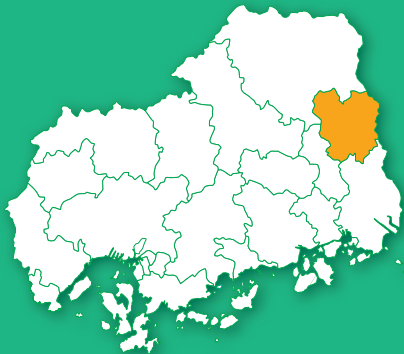
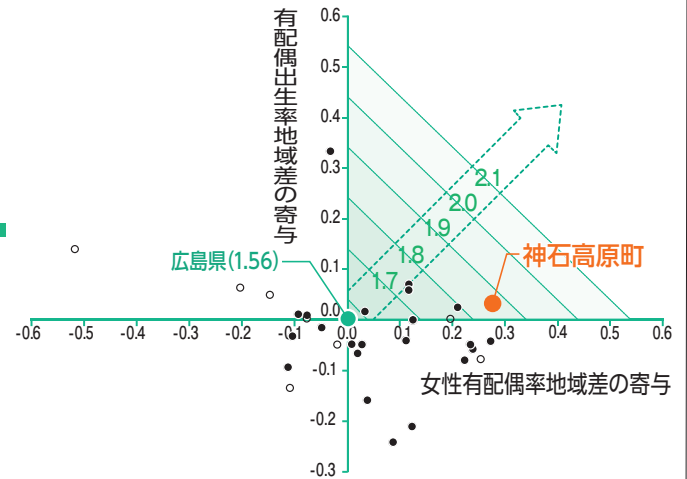
合計特殊出生率の
広島県との差
(2011年～2015年)

0.31
ポイント

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年～2015年)

0.47
ポイント

合計特殊出生率地域差の女性有配偶率地域差と 有配偶出生率地域差による寄与と分解



神石高原町の出生数 (2015年)
45人

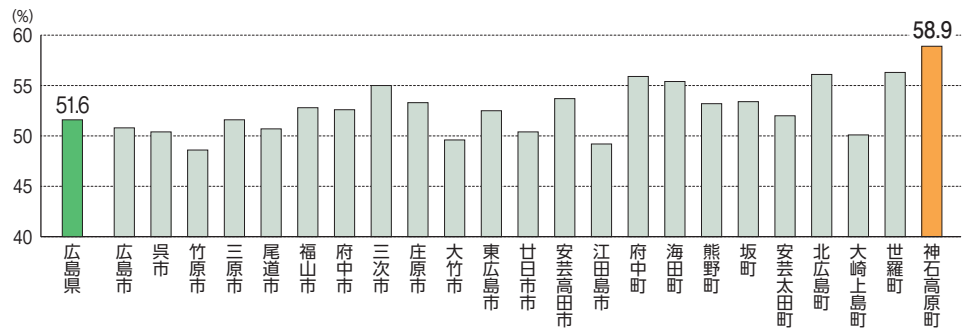
女性有配偶率

(2010年・2015年の平均値)

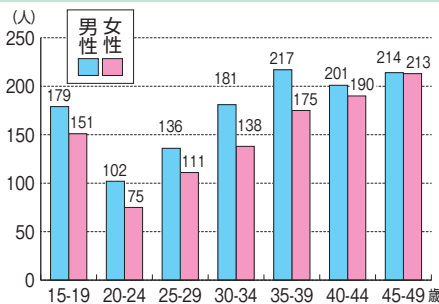
58.9%

広島県との差
7.3
ポイント

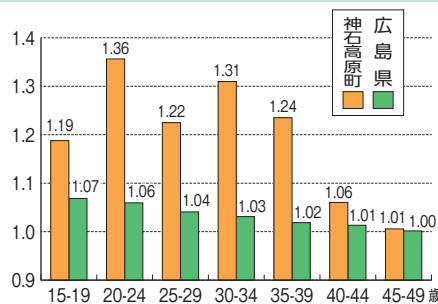
全国との差
9.1
ポイント



年齢階層別男女別人口



年齢階層別人口性比 (男/女)



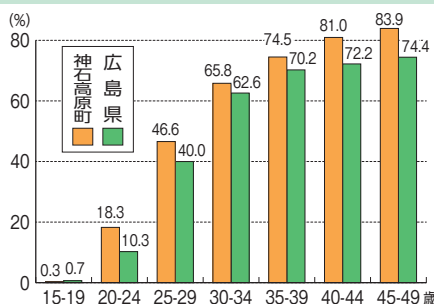
有配偶率の分析から読み取れること

女性有配偶率は58.9%であり、県値(51.6%)を7.3ポイント上回り、県内で最も高い。

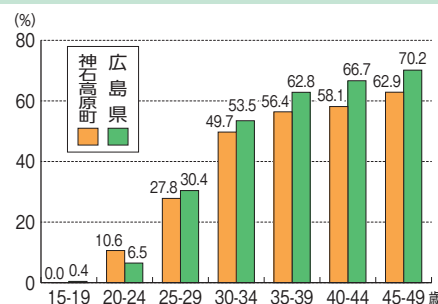
男女別人口は、全ての年齢階層において女性が男性を下回る。人口性比は、15-19歳から35-39歳までの各年齢階層において男女間のアンバランス(女性<男性)が大きい。

女性有配偶率を年齢階層別にみると、20-24歳以上の各年齢階層で県値に比べて高く、女性有配偶率が県値を上回っている要因となっている。人口性比が男性に偏っているため、男性有配偶率は25-29歳以上の年齢階層において県値に比べて低い。

年齢階層別有配偶率 (女性)

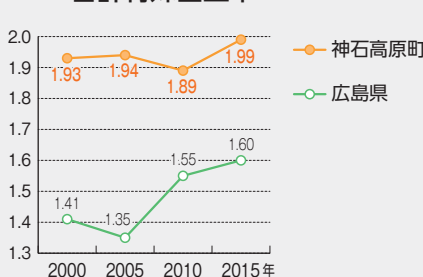


[参考] 年齢階層別有配偶率 (男性)

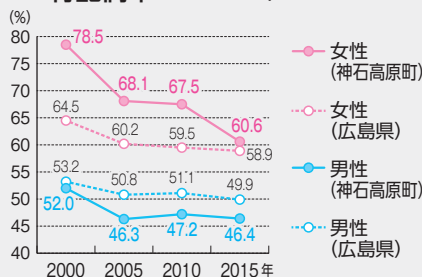


合計特殊出生率の関連指標の推移

合計特殊出生率

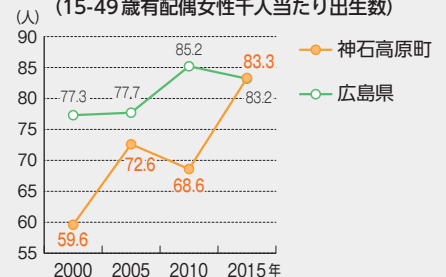


有配偶率 (25-39歳)



有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)



有配偶出生率

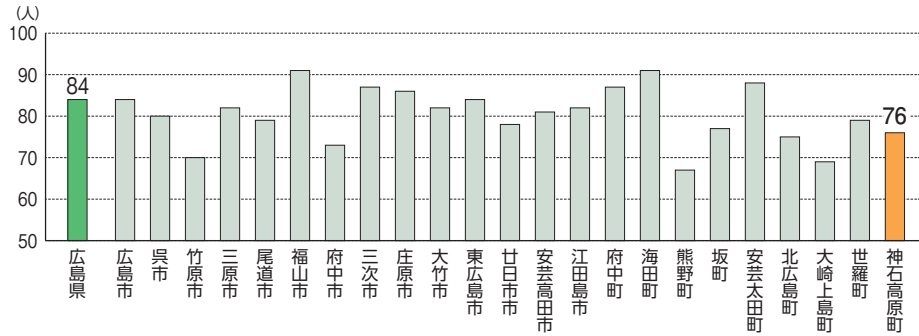
(2011年～2015年)

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

76人

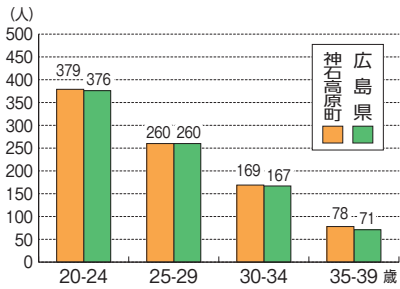
広島県との差
-8.3人

全国との差
-3.8人



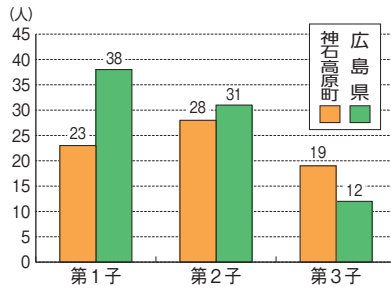
母の年齢階層別有配偶出生率

(各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生順位別有配偶出生率

(15-49歳有配偶女性千人当たり出生数)

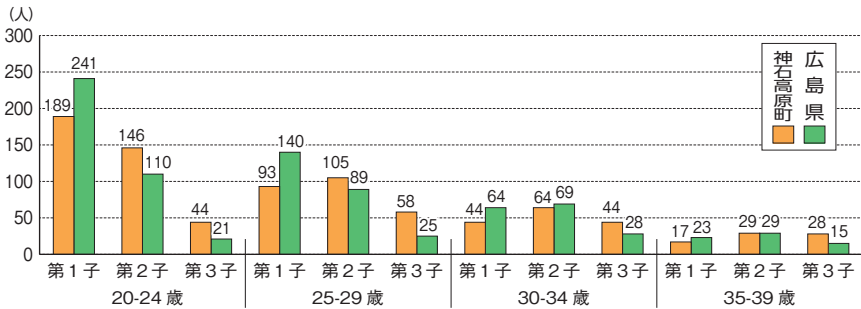


有配偶出生率の分析から読み取れること

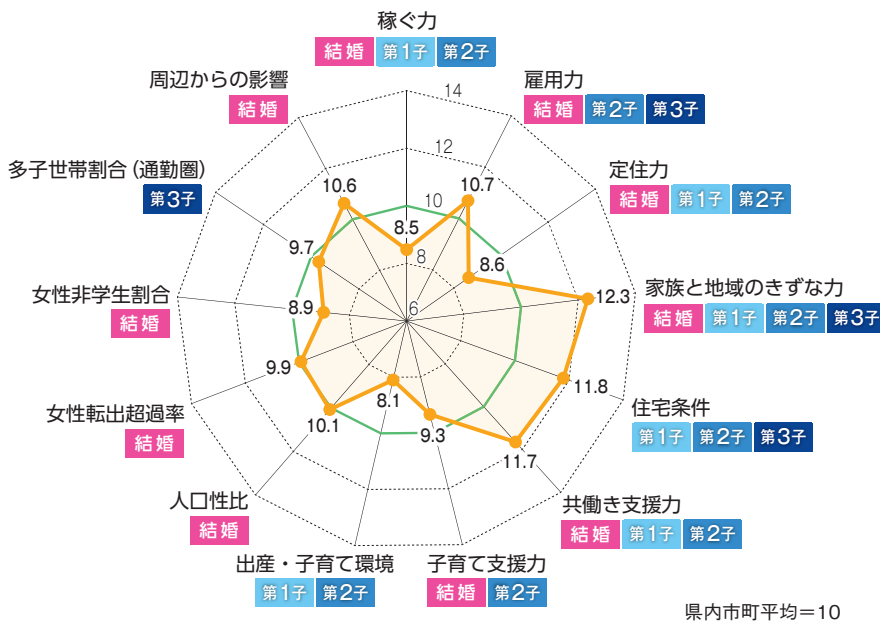
有配偶出生率は76人であり、県値(84人)を8.3人下回る。
 年齢階層別では、全ての年齢階層においてほぼ県値並みにある。
 出生順位別では、県値に比べ第1子、第2子が低く、第3子が高い。年齢階層別にみると、全ての年齢階層において第1子が県値に比べて低く、有配偶出生率が県値を下回っている要因となっている。

母の年齢階層別出生順位別有配偶出生率

(各年齢階層の有配偶女性千人当たり出生数)



出生率に影響している市町の社会経済特性



県内市町平均からみた特徴

結婚(女性有配偶率)に影響する指標では、「稼ぐ力」「定住力」「子育て支援力」などが市町平均に比べて低く、これらの指標の改善が必要である。
 出生率に影響する指標では、「出産・子育て環境」の改善とともに、結婚にも影響する「稼ぐ力」「定住力」「子育て支援力」の改善が必要である。

(4) 女性有配偶率・有配偶出生率に影響を及ぼす要因の理論・仮説

女性有配偶率と有配偶出生率に影響を及ぼす要因について、影響を及ぼすことの理論・仮説を示した。

また、重回帰分析（58 ページ参照）を行う際に利用・検討した説明変数を例示するとともに、理論・仮説に基づき有配偶率及び有配偶出生率の上昇を図る施策例を示した。

女性有配偶率に影響を及ぼす要因

区分	理論・仮説	説明変数の例	因果(想定)	施策例
① 人口構造	●男女のマッチングである結婚は、地域の人口性比のバランスに影響を受ける（男性の方が多い地域では女性有配偶率が上昇する）	●女性転出超過率（生産年齢人口） ●人口性比（男/女）	正	●「就活」「婚活」「保活」と絡めた総合的な移住対策 ●他自治体からの転入者向け住宅支援
	●学生の割合が少ないほど、女性有配偶率は高くなる	●女性人口非学生割合（15-49歳）	正	●若者定住住宅の整備 ●正規雇用型の企業誘致
	●平均初婚年齢は、年齢階層別の女性有配偶率に影響を及ぼす	●女性の平均初婚年齢 ●男性の平均初婚年齢	負	●若年層へのライフプラン講座 ●婚活イベント
② 所得・賃金	●所得が高くなると、結婚の機会費用（結婚により仕事をやめる、自由に使える所得が減るなど）が増加する ●女性の所得を含む所得全体の上昇により、女性が経済的安定を目的に結婚する必要性が低下する	●1世帯当たり課税対象所得 ●人口一人当たり課税対象所得 ●就業者一人当たり雇用者報酬 ●世帯収入	負	●生徒、学生に対するライフプラン、妊孕力教育 ●結婚新生活スタートにかかる経済的支援 ●新婚さん応援パスポート事業
	●経済的安定性を得るため、一定以上の所得が結婚の条件になる	●人口一人当たり課税対象所得 ●就業者一人当たり雇用者報酬 ●世帯収入 ●女性就業率（生産年齢人口）	正	●県民所得向上対策の更なる推進 ●結婚新生活スタートにかかる経済的支援
③ 雇用	●雇用の安定は将来の経済的安定性の見通しにつながり、結婚を促す	●正規雇用割合（男性15歳以上） ●完全失業率（30-34歳）[逆相関]	正	●正規雇用型の企業誘致 ●宿泊業、建設業等の「労働生産性の向上」による安定雇用確保
④ 共働きによる効果	●結婚により世帯規模が大きくなることや共働きすることにより、経済的メリットが得られる	●共働き世帯比率（有配偶女性就業率（30-34歳）） ●0-5歳児一人当たり保育所在所者数 ●0-5歳児1万人当たり保育所数 ●0-5歳児一人当たり保育所定員数	正	●事業所内保育所の新増設 ●企業の働き方改革、両立支援促進の顕彰制度の創設 ●顕彰企業のみを対象とした合同就業面談会
⑤ 地域の定住性	●結婚時に定住条件のよい地域や勤め先のある地域に転居するため、転居先地域から見ると有配偶率が上昇する	●転入超過率（生産年齢人口） ●1万世帯当たり住宅着工戸数 ●新設事業所従業者数割合	正	●他自治体からの転入者向け住宅支援 ●正規雇用型の企業誘致 ●高等教育機関の魅力アップ
⑥ 住宅条件	●夫婦のいる世帯が、面積が広く家賃が安いなどの住宅条件のよい地域に転居する、あるいは持ち家住宅を建設する	●持ち家比率（世帯主15-64歳） ●一戸建て比率（全世帯） ●床面積100㎡以上の住宅居住割合（世帯主15-64歳） ●1ヵ月当たり平均借家家賃・間代 [逆相関]	正	●子育て世帯の住宅費助成 ●他自治体からの転入者向け住宅支援
⑦ 社会関係性	●地域社会のきずなや人的ネットワーク、コミュニティの活発さは、男女のマッチングである出会いの機会を増加させる	●人口1万人当たり消防団員数 ●人口1万人当たり刑法犯認知件数 [逆相関] ●3世代世帯比率	正	●ファミリーサポート、地域子育て拠点、保育ママによる相互支援活動の強化 ●シルバー人材等の子育てサポーターの養成

(注)「説明変数の例」では、本分析で重回帰分析を行って因果関係を確認した主な説明変数を挙げた

有配偶出生率に影響を及ぼす要因

区分	理論・仮説	説明変数の例	因果(想定)	施策例
①人口構造	<ul style="list-style-type: none"> 平均初婚年齢は、年齢階層別の有配偶出生率に影響を及ぼす 	<ul style="list-style-type: none"> 女性の平均初婚年齢 男性の平均初婚年齢 	負	<ul style="list-style-type: none"> 若年層へのライフプラン講座 婚活、妊活イベント
②所得・賃金	<ul style="list-style-type: none"> 所得が高くなると、子供数よりも子供一人当たり養育費・教育費を増やすことを志向する 所得が高くなると、子供を持つことの機会費用（出産により仕事をやめる、自由に使える所得が減るなど）が増加する 	<ul style="list-style-type: none"> 1世帯当たり課税対象所得 人口一人当たり課税対象所得 就業者一人当たり雇用者報酬 世帯収入 女性就業率（生産年齢人口） 	負	<ul style="list-style-type: none"> 生徒、学生に対するライフプラン、妊孕力教育 結婚新生活スタートにかかる経済的支援 新婚さん応援パスポート事業
	<ul style="list-style-type: none"> 養育費・教育費を確保するため、一定の所得が子供を持つことの条件になる 	<ul style="list-style-type: none"> 人口一人当たり課税対象所得 雇用者一人当たり雇用者報酬 世帯収入 共働き世帯比率（有配偶女性就業率（30-34歳）） 	正	<ul style="list-style-type: none"> 県民所得向上対策の更なる推進 正規雇用型の企業誘致 子育て中の女性への再就職支援
③雇用	<ul style="list-style-type: none"> 雇用の安定は将来の経済的安定性の見通しにつながり、子供を持つことを促す 	<ul style="list-style-type: none"> 正規雇用割合（男性15歳以上） 完全失業率〔逆相関〕 	正	<ul style="list-style-type: none"> 顕彰企業のみを対象とした合同就業面談会 正規雇用型の企業誘致
④共働きによる効果	<ul style="list-style-type: none"> 共働きによる所得増によって、経済的なゆとりが生まれ、子供の養育費・教育費が負担できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 共働き世帯比率（有配偶女性就業率（30-34歳）） 0-5歳児一人当たり保育所在者数 0-5歳児1万人当たり保育所数 0-5歳児一人当たり保育所定員数 	正	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内保育所の新增設 企業の働き方改革、両立支援促進の顕彰制度の創設 顕彰企業のみを対象とした合同就業面談会
⑤地域の定住性	<ul style="list-style-type: none"> 結婚時に定住条件のよい地域や勤め先のある地域に転居し、その後子供を持つと転居先地域からみて出生率が高まる 	<ul style="list-style-type: none"> 転入超過率（生産年齢人口） 1万世帯当たり住宅着工戸数 新設事業所従業者数割合 	正	<ul style="list-style-type: none"> 他自治体からの転入者向け住宅支援 正規雇用型の企業誘致 高等教育機関の魅力アップ
⑥住宅条件	<ul style="list-style-type: none"> 夫婦と子供のいる世帯が住宅条件のよい地域に転居する、あるいは持ち家住宅を建設する 	<ul style="list-style-type: none"> 持ち家比率（世帯主15-64歳） 一戸建て比率（全世帯） 床面積100㎡以上の住宅居住割合（世帯主15-64歳） 1ヵ月当たり平均借家家賃・間代〔逆相関〕 	正	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯の住宅費助成 他自治体からの転入者向け住宅支援
⑦出産・子育て環境	<ul style="list-style-type: none"> 医療、教育等の出産・子育てに関する機能の高さは出生率を高める 時短など柔軟な就業時間で働ける環境は、子育ての環境を向上させる 	<ul style="list-style-type: none"> 20-44歳女性人口1万人当たり産婦人科医師数 0-9歳児人口1万人当たり小児科医師数 15歳以上女性就業者の1週当たり就業時間 	正	<ul style="list-style-type: none"> 産科医の養成・確保 周産期母子医療体制の充実 小児科医の養成・確保 小児救急体制の整備 企業の働き方改革、両立支援促進の顕彰制度の創設
⑧社会関係性	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会のきずなや人的ネットワークは、子供の養育・教育のための負担を軽減する 	<ul style="list-style-type: none"> 人口1万人当たり消防団員数 人口1万人当たり刑法犯認知件数〔逆相関〕 3世代世帯比率 可住地面積1km²当たり0-14歳人口 	正	<ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポート、地域子育て拠点、保育ママによる相互支援活動の強化 シルバー人材等の子育てサポーターの養成
⑨慣性効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域の過去における出生や周辺地域の出生の状況は、現在の個人の出生に関する価値観に影響を及ぼす 	<ul style="list-style-type: none"> 過去の多子世帯割合 	正	<ul style="list-style-type: none"> 出産ポジティブキャンペーン 男性の子育て参加促進のイクメン研修や情報提供、育児休業取得の推進
⑩子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 子育てに関する補助や相談等の行政施策は出生率を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 0-17歳人口一人当たり児童福祉費 0-5歳児1万人当たり子育てサークル数 0-5歳児1万人当たり児童館数 	正	<ul style="list-style-type: none"> 子育て応援企業の募集と意識醸成 ファミリーサポート、地域子育て拠点、保育ママによる相互支援活動の強化

(注)「説明変数の例」では、本分析で単回帰分析を行って因果関係を確認した主な説明変数を挙げた

(5) 社会経済特性「周辺からの影響」について

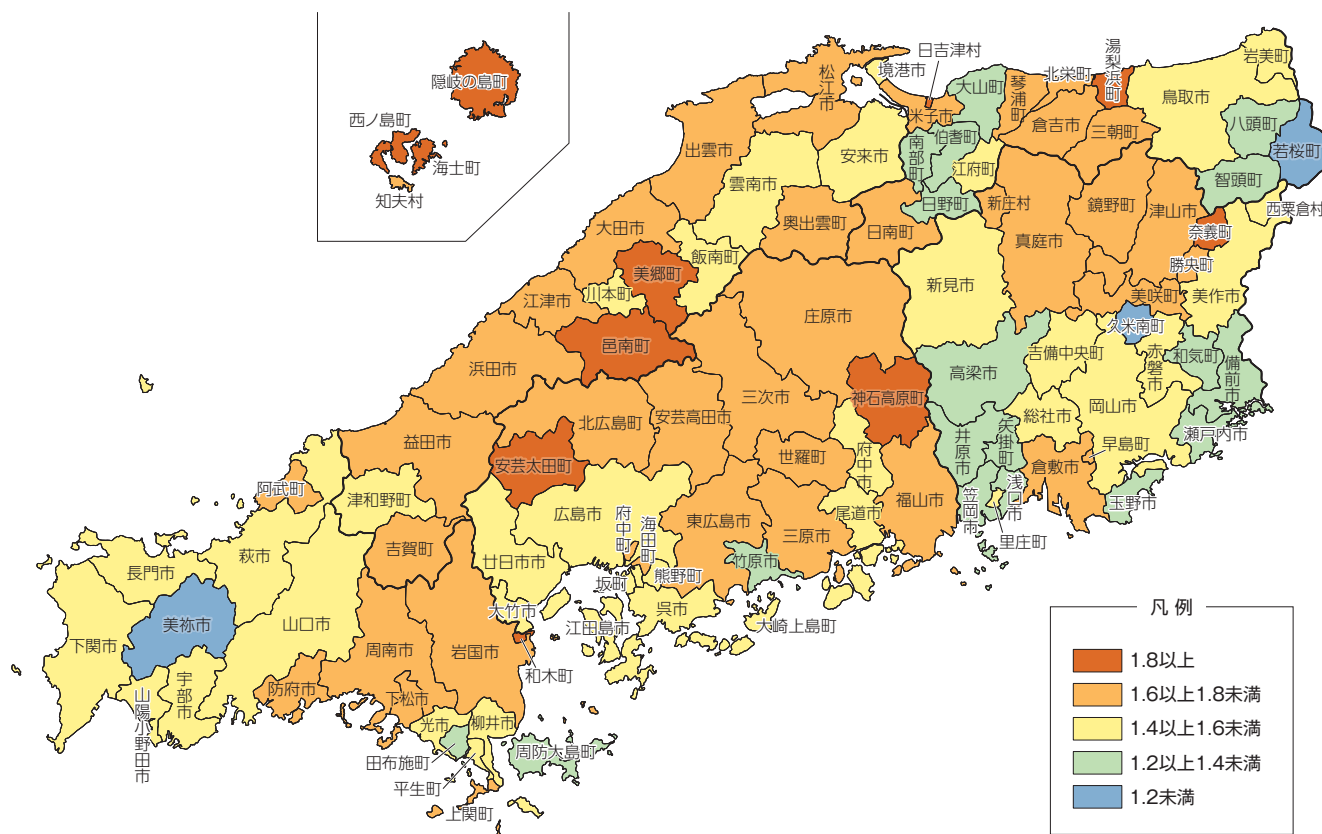
市町分析シートでは、「出生率に影響している市町の社会経済特性」のレーダーチャートにおいて「周辺からの影響」を結婚に影響及ぼしている社会経済特性として取り上げた。周辺からの影響は、具体的には、通勤圏における年齢階層別有配偶率であり、個人の結婚行動が自市町を含む周辺市町の他者から影響を受けることを示したものである。

実際、市町村の合計特殊出生率や有配偶率、有配偶出生率をマップに描くと、市町村間で出生率に差があることに加え、値の似た地域が連続していることがわかる。広島県では、北部や備後地域で出生率が高い地域が分布している。

これは、ある市町村の出生率が、自地域の社会経済特性でなく、近隣地域の状況にも影響を受けていることを示している。このように近隣地域の社会経済特性が相互に影響を及ぼし合い、空間的に近い地域ほど似通った特徴を示すことを「空間波及性」があるという。「市町分析シート」では社会経済特性の分析において、空間波及性を表わす指標「周辺からの影響」を設定した。

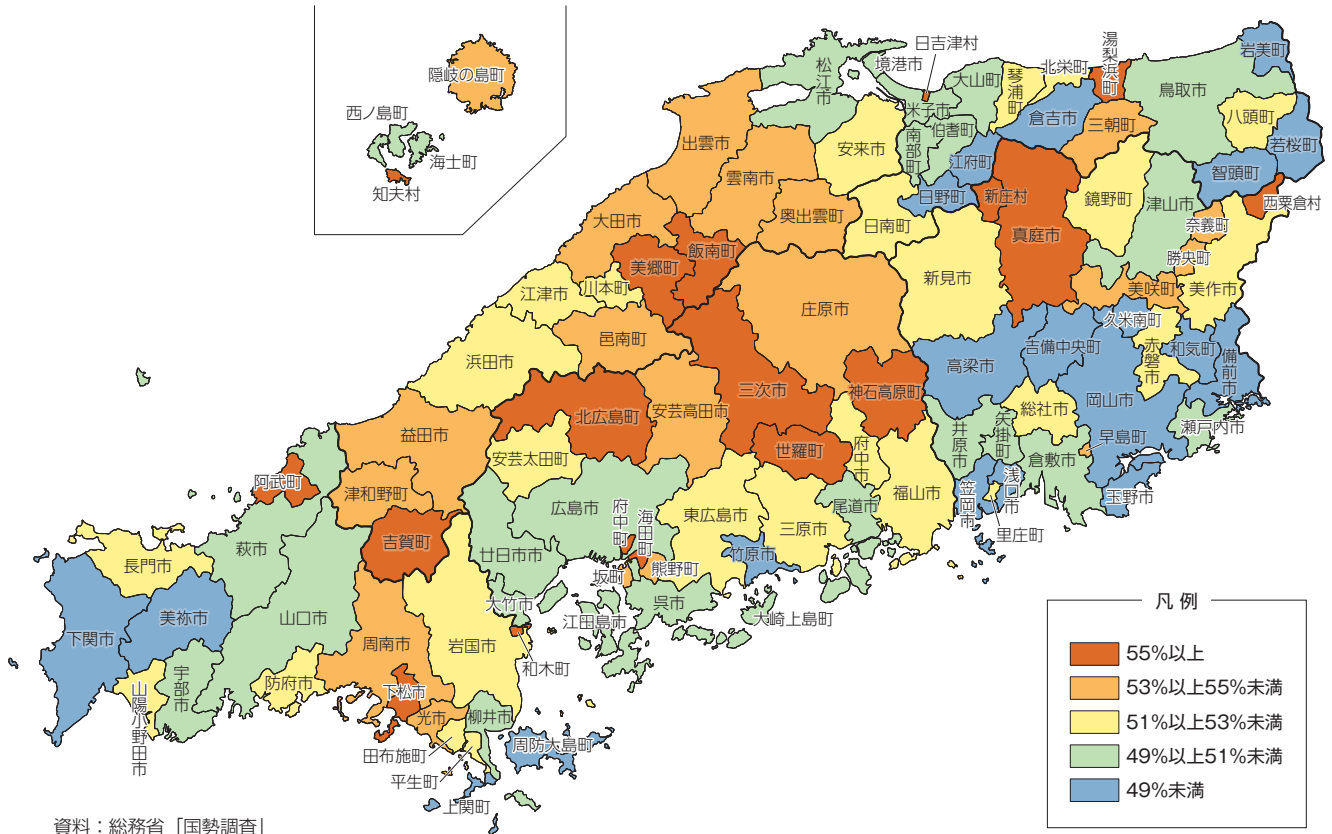
有配偶率や有配偶出生率に空間波及性が認められる場合、近隣市町と出生率に影響している社会経済特性に共通点があることや相互の社会経済特性が出生率に対して影響を及ぼし合っていると考えられる。このため、近隣からの影響を考慮した施策や、住民の生活行動に基づく圏域で市町が連携した施策が、取り組みの効果を増大させると期待される。

中国地域市町村の合計特殊出生率（2011年～2015年）

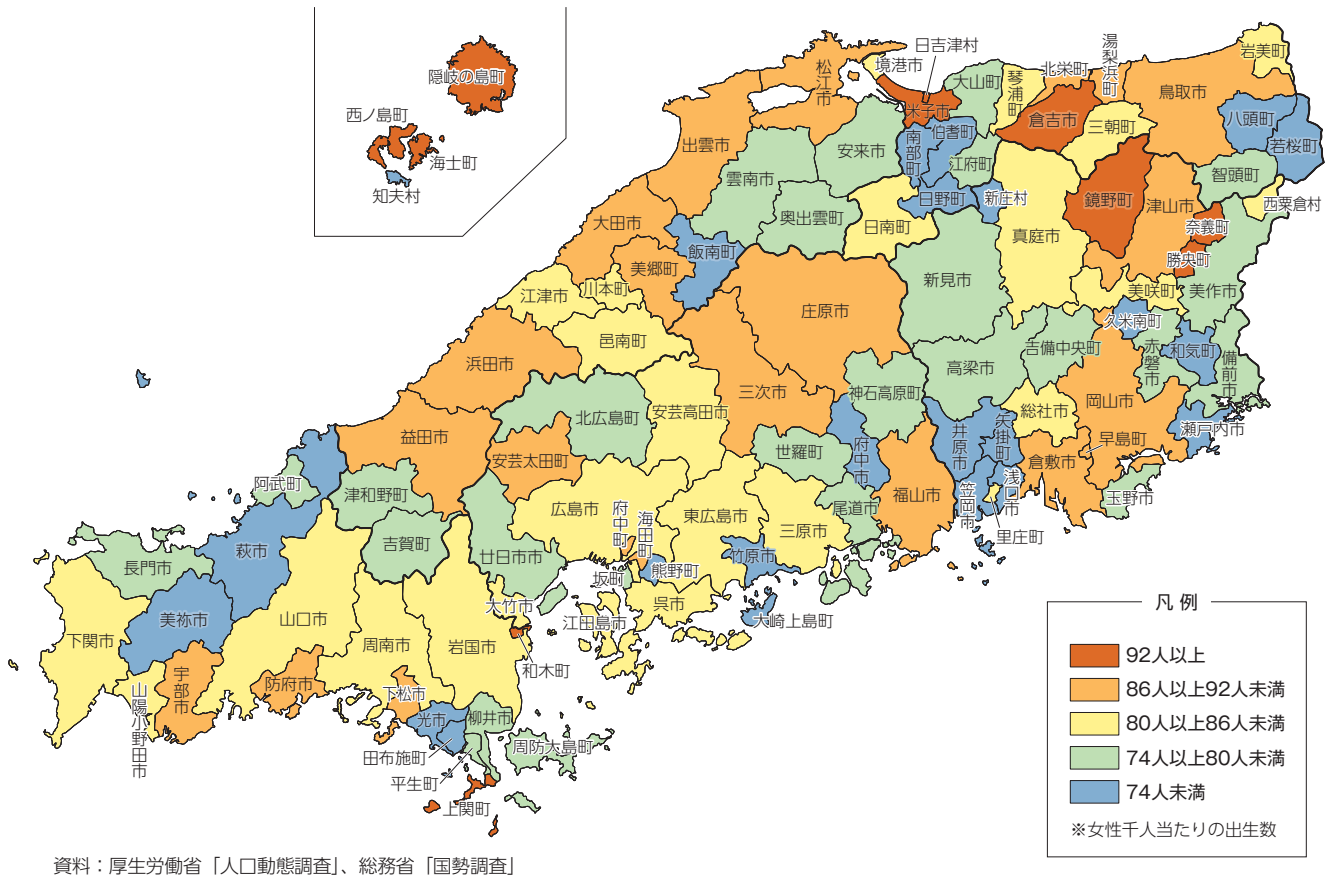


資料：厚生労働省「人口動態調査」、総務省「国勢調査」

中国地域市町村の女性有配偶率 (2011年~2015年、15-49歳)



中国地域市町村の有配偶出生率※ (2011年~2015年、15-49歳)



(6) 合計特殊出生率に対する社会経済要因の影響分析

分析は、市町を対象に、合計特殊出生率を決める出生構造要因である年齢階層別有配偶率と母の年齢階層別・出生順位別有配偶出生率に対して影響を及ぼしていると考えられる社会経済特性を検討し、重回帰分析により影響の有無や大きさを把握する。

分析の手順は右図の通りであり、市町の潜在的な地域力を施策に生かすことができるよう、独立変数には、市町社会経済特性に関する指標を主成分分析により縮約化したものを中心に用いた。複数の社会経済指標を縮約化した独立変数（社会経済特性）について、60ページに、縮約化した社会経済指標を記載した。

- ※1 単回帰分析：二つの指標の間に、どちらかが原因（独立変数）、他方が結果（従属変数）という一方的な因果関係を想定し、その関係式を求める統計的手法。
- ※2 主成分分析：指標間の関係性を利用して、元より少ない数の指標を作り出す統計的手法であり、単位やばらつき異なる指標を縮約化する
- ※3 重回帰分析：二つの指標の間に因果関係を想定する単回帰分析に対して、原因となる指標が複数あるときの回帰分析

① 有配偶率に影響を及ぼす社会経済特性の把握

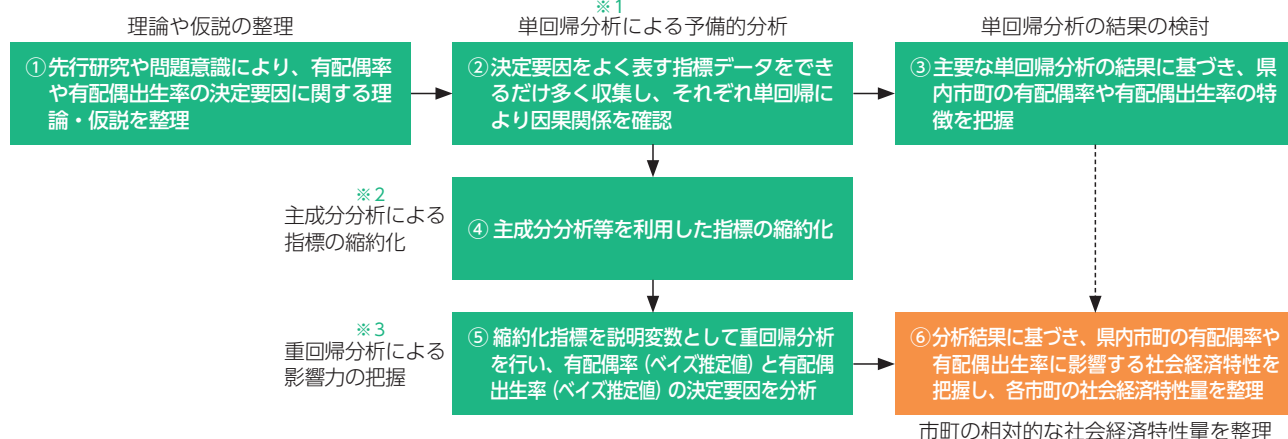
重回帰分析の結果が下表であり、地域における「稼ぐ力」「雇用力」「定住力」等の社会経済特性が男女の有配偶率に影響を及ぼしていることがわかった。

有配偶率に影響を及ぼす社会経済特性（重回帰分析の結果）

項目	従属変数 有配偶率													
	女性							男性						
	25-29歳①	25-29歳②	30-34歳①	30-34歳②	35-39歳①	35-39歳②	40-44歳	25-29歳	30-34歳①	30-34歳②	35-39歳①	35-39歳②	40-44歳	
P値に基づく有意判定														
独立変数	稼ぐ力	**		**		**		**	***	***	***	***		***
	雇用力		***		***		***	**	**		**			
	定住力		**		**		**		**				***	
	家族と地域のきずな力						**	**		*		**	***	
	住宅条件													
	共働き支援力		**	**	*						*			
	子育て支援力									**				
	出産・子育て環境													
	人口性比（男/女）	*		**		***			**			**	***	
	女性転出超過率	***						***						*
	女性非学生割合		***	***	***									
	多子世帯割合					***		***						
	周辺市町からの影響	***	***		***		**				***			
標準偏回帰係数														
独立変数	稼ぐ力	0.37		0.54		0.46		0.44	0.73	0.53	0.67		0.46	
	雇用力		0.36		0.41		0.45	0.40	0.46		0.15			
	定住力		0.32		0.27		0.35			0.19			0.74	
	家族と地域のきずな力						0.33	0.25		0.25		0.39	0.65	
	住宅条件													
	共働き支援力		0.33	0.35	0.24						0.18			
	子育て支援力									0.17				
	出産・子育て環境													
	人口性比（男/女）	0.28		0.36		0.48			-0.40			-0.27	-0.69	
	女性転出超過率	-0.56												-0.26
	女性非学生割合		0.30	0.66	0.40									
	多子世帯割合					0.47		0.57						
	周辺市町からの影響	1.11	0.57		0.44		0.28	-0.97			0.28			
決定係数	0.73	0.83	0.75	0.84	0.74	0.76	0.76	0.62	0.92	0.93	0.86	0.76	0.76	

- 同じ従属変数に複数の分析結果がある場合（例：25-29歳①と25-29歳②）は、同じ従属変数に対して複数の重回帰分析の結果が得られたことを示す
- 女性転出超過率および多子世帯割合は、各市町が属する通勤圏のデータである
- 女性転出超過率は生産年齢人口（15歳以上65歳未満）を対象とした
- P値：重回帰分析では二つの変数の間に因果関係があることの確かさを示す。例えば、P値に基づく有意判定が「1%水準で有意」であると、二つの変数に因果関係がない確率は1%未満である。*：10%水準で有意 **：5%水準で有意 ***：1%水準で有意

分析の手順



② 有配偶出生率に影響を及ぼす社会経済特性の把握

重回帰分析の結果が下表であり、地域における「稼ぐ力」のほか、「子育て支援力」「出産・子育て環境」等の社会経済特性が有配偶出生率に影響を及ぼしている。

有配偶出生率に影響を及ぼす社会経済特性（重回帰分析の結果）

項目	従属変数 有配偶出生率															
	25-29 歳					30-34 歳					35-39 歳					
	第1子 ①	第1子 ②	第2子 ①	第2子 ②	第3子	第1子 ①	第1子 ②	第2子 ①	第2子 ②	第3子	第1子 ①	第1子 ②	第2子 ①	第2子 ②	第3子	
P 値に基づく有意判定																
独立変数	稼ぐ力	***				**		***			**	**	***			
	雇用力			***	**	**				**						
	定住力	***				***	***	**			***	***	***	**		
	家族と地域のきずな力	***			***	***		**				***			**	
	住宅条件					***				***	***		***			
	共働き支援力		**					***	**						*	
	子育て支援力			***												
	出産・子育て環境		***		*			***	***						**	
	人口性比(男/女)															
	女性転出超過率															
	女性非学生割合															
	多子世帯割合					*					**				***	
	周辺市町からの影響															
標準偏回帰係数																
独立変数	稼ぐ力	0.79				0.64		0.91			0.48	0.51	0.57			
	雇用力			0.58	0.38	0.38				0.39						
	定住力	0.69					0.78	0.55	0.42		0.85	0.83	0.74	0.49		
	家族と地域のきずな力	0.91			0.80		0.70		0.67			0.69			0.16	
	住宅条件					0.53				0.50	0.69		0.73			
	共働き支援力		0.47					0.44		0.47					0.37	
	子育て支援力			0.54												
	出産・子育て環境		1.30		0.49			0.89		1.15					0.72	
	人口性比(男/女)															
	女性転出超過率															
	女性非学生割合															
	多子世帯割合					0.31					0.42				0.96	
	周辺市町からの影響															
決定係数																
	0.62	0.54	0.82	0.59	0.42	0.72	0.77	0.52	0.48	0.45	0.72	0.70	0.73	0.66	0.92	

- 標準偏回帰係数：独立変数の従属変数に対する影響力の強さを比較する係数。独立変数が標準偏差一つ変化したときに従属変数（標準得点）がどれくらい変化するかを示す。変数の単位やばらつき方に関係なく独立変数間の従属変数に対する影響の大きさを比較できる。プラスであれば独立変数が増加すると従属変数は増加し、マイナスであれば独立変数が増加すると従属変数は減少する。
- 決定係数：独立変数全体の従属変数に対する説明力を示す、0 から 1 の間の値をとり、1 に近いほど説明力が高い。なお、表中の決定係数は自由度修正済み決定係数である。
- ベイズ推定：偶発変動の影響を小さくするため、ある市町の出生率算出に当たって、周辺市町（二次保健医療圏等）の出生率という情報を加える統計手法。

(参考) 社会経済指標の縮約化

市町の「地域力」や結婚・出産・子育てに関する「環境」が有配偶率や有配偶出生率に影響を及ぼしていることを表すため、単回帰分析で良好な結果が得られた社会経済指標の中から、理論・仮説に照らし合わせて組み合わせることが可能な指標を選び出し、主成分分析により指標の縮約化を行った。

社会経済指標の縮約化の結果は下表の通りである。

社会経済指標	主成分 負荷量	縮約化指標 (社会経済特性)
■ 1世帯当たり課税対象所得	0.945	稼ぐ力
■ 人口一人当たり課税対象所得	0.967	
■ 就業者一人当たり雇者報酬 (二次保健医療圏)	0.543	
■ 完全失業率 (30-34歳) [逆相関]	-0.784	雇用力
■ 正規雇用割合 (男性15歳以上)	0.784	
■ 転入超過率 (生産年齢人口)	0.764	定住力
■ 1万世帯当たり住宅着工戸数	0.606	
■ 新設事業所従業者数割合 (二次保健医療圏)	0.748	
■ 3世代世帯比率	0.841	家族と地域のきずな力
■ 人口1万人当たり消防団員数	0.927	
■ 人口1万人当たり刑法犯認知件数 [逆相関]	-0.918	
■ 持ち家比率 (世帯主15-64歳)	0.959	住宅条件
■ 一戸建て比率 (全世帯)	0.982	
■ 床面積100㎡以上の住宅居住割合 (世帯主15-64歳)	0.977	
■ 1ヵ月当たり平均借家家賃・間代 (二次保健医療圏) [逆相関]	-0.151	
■ 有配偶女性就業率 (30-34歳)	0.850	共働き支援力
■ 0-5歳児一人当たり保育所在者数	0.952	
■ 0-5歳児一人当たり保育所定員数	0.951	
■ 0-5歳児1万人当たり保育所数	0.880	
■ 0-17歳人口一人当たり児童福祉費	0.684	子育て支援力
■ 0-5歳児1万人当たり子育てサークル数	0.921	
■ 0-5歳児1万人当たり児童館数	0.903	
■ 20-44歳女性人口1万人当たり産婦人科医師数 (二次保健医療圏)	0.426	出産・子育て環境
■ 0-9歳児1万人当たり小児科医師数 (二次保健医療圏)	0.723	
■ 可住地面積1km ² 当たり0-14歳人口	0.567	
■ 1週当たり就業時間 (15歳以上女性就業者) [逆相関]	-0.800	

(注) 主成分負荷量は社会経済指標と縮約化指標の相関係数であり、数値が大きいほど関係が強いことを表している

資料

2011～2015年

単位	通常		合計特殊出生率	年齢別出生率					有配偶率(注)											
	2010年	2015年		20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	女性					男性						
									15-49歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	15-49歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳
広島県	1.55	1.60	1.56	0.039	0.104	0.105	0.050	0.009	51.6	10.3	40.0	62.6	70.2	72.2	58.4	6.5	30.4	53.5	62.8	66.7
広島市	1.48	1.52	1.49	0.032	0.096	0.104	0.052	0.010	50.8	8.7	37.6	61.5	69.7	71.9	58.3	5.7	29.6	54.1	64.3	68.5
呉市	1.57	1.60	1.53	0.043	0.106	0.100	0.043	0.008	50.4	11.3	40.6	61.9	69.0	70.4	56.8	8.2	31.2	52.9	60.5	63.3
竹原市	1.49	1.45	1.36	0.040	0.082	0.098	0.039	0.006	48.6	12.4	35.5	57.5	66.0	66.9	57.5	8.4	25.9	43.2	57.1	60.2
三原市	1.39	1.65	1.61	0.047	0.105	0.108	0.045	0.008	51.6	11.3	40.8	62.3	70.3	72.1	59.7	7.8	30.1	52.0	60.4	64.5
尾道市	1.56	1.59	1.52	0.046	0.103	0.095	0.044	0.009	50.7	11.6	40.1	60.7	68.1	69.9	59.1	8.1	30.4	50.7	59.8	63.0
福山市	1.76	1.75	1.75	0.055	0.119	0.107	0.050	0.009	52.8	13.5	42.9	63.3	70.1	71.5	60.0	8.5	32.9	55.0	63.3	65.7
府中市	1.51	1.63	1.48	0.035	0.103	0.095	0.048	0.008	52.6	10.3	35.5	60.4	70.9	73.5	59.6	7.1	23.7	45.7	55.8	61.6
三次市	1.95	1.90	1.79	0.059	0.121	0.111	0.049	0.010	55.0	16.6	47.6	67.8	71.7	72.3	60.5	10.5	34.1	54.3	61.3	63.7
庄原市	1.59	1.76	1.79	0.052	0.127	0.116	0.045	0.011	53.3	13.3	47.0	67.3	72.1	75.7	58.5	6.4	28.3	49.5	61.5	62.9
大竹市	1.32	1.56	1.50	0.042	0.098	0.100	0.044	0.008	49.6	10.4	40.4	59.7	66.3	69.3	56.2	6.6	26.2	51.4	56.2	60.2
東広島市	1.66	1.67	1.63	0.032	0.114	0.113	0.052	0.009	52.5	8.6	45.1	68.8	75.9	77.9	53.4	3.8	29.8	52.9	62.8	69.0
廿日市市	1.41	1.49	1.42	0.030	0.096	0.098	0.047	0.008	50.4	8.7	36.3	60.3	69.4	74.0	62.1	6.7	29.7	53.4	63.9	68.4
安芸高田市	1.41	1.49	1.69	0.058	0.121	0.102	0.044	0.007	53.7	14.6	44.3	64.2	69.8	73.3	57.9	8.9	28.0	49.1	57.7	58.8
江田島市	1.34	1.41	1.51	0.055	0.093	0.096	0.036	0.009	49.2	11.8	40.2	59.4	64.8	64.7	55.3	8.2	27.3	51.8	54.2	56.2
府中町	1.63	1.85	1.74	0.043	0.117	0.118	0.055	0.010	55.9	10.9	44.5	66.8	74.8	76.3	60.0	7.8	35.6	56.2	65.8	69.0
海田町	1.62	1.91	1.74	0.049	0.121	0.115	0.048	0.012	55.4	14.3	48.4	67.0	73.5	74.3	58.4	10.0	34.5	55.3	63.3	67.3
熊野町	1.46	1.39	1.41	0.047	0.096	0.084	0.040	0.006	53.2	13.5	42.5	62.2	70.2	72.5	61.9	8.4	34.1	50.9	60.1	65.9
坂町	1.75	1.37	1.44	0.028	0.100	0.096	0.049	0.011	53.4	10.2	41.4	65.9	73.2	73.4	58.9	7.1	31.9	59.0	63.6	67.9
安芸太田町	1.56	1.96	1.86	0.054	0.124	0.121	0.059	0.007	52.0	12.9	36.5	61.3	67.3	70.2	58.3	5.9	27.5	42.2	44.4	51.3
北広島町	1.93	1.72	1.70	0.064	0.113	0.102	0.050	0.007	56.1	16.1	44.8	67.2	73.6	74.7	57.6	7.1	25.8	48.0	57.9	63.3
大崎上島町	1.59	1.70	1.47	0.048	0.071	0.104	0.059	0.007	50.1	15.4	41.0	65.4	71.1	69.0	49.7	5.6	18.4	43.9	51.3	57.1
世羅町	1.98	1.84	1.74	0.059	0.113	0.109	0.050	0.010	56.3	19.1	45.6	66.3	69.9	73.7	62.6	8.6	27.8	49.1	64.2	64.2
神石高原町	1.89	1.99	1.87	0.069	0.121	0.111	0.058	0.013	58.9	18.3	46.6	65.8	74.5	81.0	61.5	10.6	27.8	49.7	56.4	58.1

(注) 2010年・2015年の平均値

ベイズ推定 (2011～2015年、二次保健医療圏によるベイズ推定値)

単位	合計特殊出生率	年齢別出生率					有配偶率(注)													
		20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	女性					男性								
							15-49歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	15-49歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳		
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島市	1.49	0.032	0.096	0.104	0.052	0.010	50.8	8.7	37.6	61.5	69.7	71.9	58.3	5.7	29.6	54.1	64.3	68.5		
呉市	1.53	0.043	0.105	0.100	0.043	0.008	50.4	11.3	40.5	61.8	68.9	70.4	56.8	8.2	31.2	52.9	60.5	63.3		
竹原市	1.53	0.033	0.100	0.110	0.048	0.009	49.6	10.4	39.0	60.2	67.9	68.3	57.4	7.7	27.6	45.2	58.2	61.6		
三原市	1.58	0.047	0.105	0.104	0.045	0.009	51.6	11.4	40.8	62.1	69.9	71.7	59.7	7.8	30.1	51.9	60.4	64.5		
尾道市	1.54	0.047	0.104	0.097	0.044	0.009	50.7	11.7	40.3	61.0	68.4	70.1	59.1	8.1	30.2	50.7	59.8	63.0		
福山市	1.74	0.055	0.119	0.107	0.050	0.009	52.8	13.5	42.9	63.3	70.2	71.5	60.0	8.5	32.9	54.9	63.3	65.7		
府中市	1.70	0.049	0.117	0.105	0.050	0.009	52.8	12.4	39.0	62.7	70.3	72.5	59.6	7.3	25.3	48.3	57.5	62.1		
三次市	1.79	0.057	0.123	0.113	0.048	0.010	54.8	16.1	47.4	67.6	71.9	72.7	60.5	10.3	33.9	53.9	61.3	63.6		
庄原市	1.78	0.055	0.123	0.113	0.047	0.010	53.8	14.1	47.4	67.6	71.9	74.6	58.6	6.6	29.1	50.3	61.5	62.9		
大竹市	1.45	0.035	0.096	0.098	0.046	0.008	50.1	9.3	38.4	60.2	68.0	70.8	56.3	6.6	27.6	52.5	57.4	61.1		
東広島市	1.62	0.032	0.113	0.112	0.052	0.009	52.5	8.7	45.0	68.8	75.9	77.9	53.4	3.8	29.8	52.9	62.8	69.0		
廿日市市	1.43	0.031	0.096	0.098	0.047	0.008	50.3	8.8	36.5	60.2	69.2	73.9	62.1	6.7	29.6	53.3	63.8	68.3		
安芸高田市	1.56	0.040	0.102	0.104	0.051	0.009	53.1	11.7	41.6	62.7	70.0	72.5	58.1	7.1	29.2	52.4	60.9	63.3		
江田島市	1.54	0.045	0.104	0.100	0.043	0.008	50.2	11.3	40.5	61.5	67.7	68.0	55.4	8.2	29.5	52.5	55.0	56.7		
府中町	1.59	0.038	0.105	0.108	0.052	0.010	55.3	10.4	43.0	64.9	72.8	74.2	59.5	7.1	33.4	55.2	65.3	68.8		
海田町	1.58	0.039	0.104	0.106	0.051	0.010	54.6	12.2	45.0	64.3	71.5	72.9	58.4	8.0	32.2	54.5	63.6	67.7		
熊野町	1.51	0.037	0.097	0.103	0.051	0.009	52.7	11.3	40.5	62.0	70.1	72.3	60.2	6.9	31.4	53.1	62.1	67.0		
坂町	1.50	0.032	0.098	0.104	0.052	0.010	52.6	9.5	39.6	63.0	70.8	72.4	58.6	6.3	30.5	55.0	63.9	68.1		
安芸太田町	1.52	0.034	0.099	0.105	0.052	0.010	51.5	9.5	38.1	61.9	69.9	72.0	58.4	5.9	29.8	53.1	61.1	65.4		
北広島町	1.54	0.038	0.099	0.104	0.052	0.009	54.4	11.3	40.9	63.3	70.9	72.6	58.0	6.3	28.7	52.6	61.6	66.2		
大崎上島町	1.59	0.033	0.107	0.111	0.051	0.009	51.4	9.6	43.5	66.9	73.3	72.5	49.8	4.9	27.2	48.2	57.1	62.1		
世羅町	1.57	0.047	0.105	0.102	0.045	0.009	54.3	13.8	41.3	62.6	69.2	71.6	62.0	8.3	30.0	50.0	63.1	64.1		
神石高原町	1.73	0.054	0.118	0.106	0.050	0.009	53.7	13.6	43.1	63.3	70.3	72.7	61.1	9.4	30.5	52.9	60.5	62.0		

(注) 2010年・2015年の平均値

有配偶出生率						出生順位別有配偶出生率											
年齡階層別						20-24歲			25-29歲			30-34歲			35-39歲		
15-49歲	20-24歲	25-29歲	30-34歲	35-39歲	40-44歲	第1子	第2子	第3子	第1子	第2子	第3子	第1子	第2子	第3子	第1子	第2子	第3子
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.084	0.376	0.260	0.167	0.071	0.013	0.241	0.110	0.021	0.140	0.089	0.025	0.064	0.069	0.028	0.023	0.029	0.015
0.084	0.362	0.254	0.170	0.075	0.013	0.242	0.099	0.018	0.147	0.083	0.021	0.069	0.071	0.024	0.025	0.031	0.014
0.080	0.379	0.261	0.162	0.063	0.012	0.235	0.115	0.024	0.130	0.099	0.027	0.057	0.069	0.030	0.020	0.025	0.013
0.070	0.320	0.230	0.170	0.059	0.009	0.176	0.107	0.022	0.095	0.082	0.039	0.050	0.067	0.039	0.018	0.023	0.016
0.082	0.415	0.258	0.173	0.064	0.011	0.261	0.127	0.023	0.134	0.091	0.028	0.058	0.073	0.035	0.019	0.026	0.015
0.079	0.397	0.257	0.156	0.064	0.013	0.261	0.116	0.018	0.125	0.092	0.034	0.054	0.064	0.030	0.019	0.026	0.014
0.091	0.405	0.278	0.169	0.072	0.012	0.251	0.121	0.027	0.146	0.096	0.030	0.063	0.069	0.029	0.023	0.029	0.015
0.073	0.339	0.291	0.157	0.068	0.011	0.220	0.096	0.022	0.130	0.124	0.029	0.053	0.057	0.038	0.021	0.028	0.014
0.087	0.358	0.255	0.164	0.068	0.013	0.228	0.109	0.019	0.119	0.096	0.033	0.051	0.068	0.035	0.019	0.024	0.017
0.086	0.388	0.270	0.172	0.063	0.015	0.228	0.115	0.039	0.116	0.103	0.039	0.056	0.063	0.039	0.016	0.021	0.018
0.082	0.407	0.243	0.168	0.067	0.011	0.241	0.145	0.021	0.120	0.088	0.029	0.063	0.069	0.028	0.023	0.026	0.013
0.084	0.367	0.253	0.164	0.069	0.012	0.237	0.108	0.021	0.135	0.089	0.025	0.061	0.067	0.029	0.022	0.027	0.016
0.078	0.351	0.265	0.162	0.068	0.011	0.221	0.104	0.023	0.133	0.099	0.028	0.059	0.070	0.028	0.020	0.028	0.015
0.081	0.396	0.273	0.159	0.062	0.009	0.237	0.131	0.026	0.118	0.107	0.038	0.047	0.066	0.035	0.013	0.026	0.017
0.082	0.471	0.232	0.161	0.056	0.013	0.281	0.165	0.015	0.104	0.082	0.035	0.067	0.057	0.032	0.018	0.021	0.013
0.087	0.394	0.262	0.177	0.074	0.013	0.281	0.094	0.015	0.158	0.080	0.022	0.076	0.076	0.021	0.025	0.030	0.015
0.091	0.340	0.250	0.171	0.065	0.016	0.217	0.100	0.021	0.149	0.078	0.020	0.072	0.072	0.023	0.025	0.028	0.010
0.067	0.351	0.226	0.135	0.057	0.008	0.180	0.154	0.016	0.106	0.079	0.037	0.041	0.053	0.030	0.015	0.023	0.015
0.077	0.277	0.242	0.145	0.068	0.014	0.146	0.102	0.022	0.122	0.089	0.024	0.048	0.061	0.033	0.020	0.028	0.017
0.088	0.419	0.340	0.197	0.088	0.010	0.183	0.210	0.026	0.146	0.111	0.062	0.047	0.078	0.054	0.021	0.030	0.028
0.075	0.399	0.252	0.151	0.068	0.009	0.218	0.163	0.012	0.134	0.089	0.021	0.049	0.052	0.036	0.018	0.022	0.020
0.069	0.315	0.173	0.158	0.083	0.011	0.157	0.138	0.020	0.074	0.062	0.025	0.055	0.049	0.043	0.026	0.032	0.008
0.079	0.309	0.247	0.165	0.071	0.013	0.202	0.095	0.012	0.108	0.086	0.041	0.049	0.061	0.043	0.023	0.024	0.022
0.076	0.379	0.260	0.169	0.078	0.016	0.189	0.146	0.044	0.093	0.105	0.058	0.044	0.064	0.044	0.017	0.029	0.028

有配偶出生率						出生順位別有配偶出生率											
年齡階層別						20-24歲			25-29歲			30-34歲			35-39歲		
15-49歲	20-24歲	25-29歲	30-34歲	35-39歲	40-44歲	第1子	第2子	第3子	第1子	第2子	第3子	第1子	第2子	第3子	第1子	第2子	第3子
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.083	0.363	0.254	0.169	0.075	0.013	0.242	0.100	0.018	0.147	0.083	0.021	0.069	0.071	0.025	0.025	0.031	0.014
0.080	0.381	0.259	0.162	0.063	0.012	0.237	0.117	0.024	0.129	0.098	0.027	0.058	0.068	0.030	0.020	0.025	0.013
0.078	0.360	0.248	0.165	0.067	0.011	0.223	0.108	0.021	0.124	0.088	0.027	0.059	0.067	0.031	0.021	0.027	0.016
0.081	0.404	0.257	0.167	0.065	0.012	0.258	0.120	0.020	0.129	0.091	0.031	0.056	0.069	0.033	0.019	0.026	0.015
0.080	0.398	0.257	0.160	0.064	0.013	0.258	0.118	0.020	0.127	0.091	0.032	0.055	0.066	0.031	0.019	0.026	0.015
0.091	0.404	0.278	0.168	0.072	0.012	0.250	0.120	0.027	0.145	0.096	0.030	0.062	0.069	0.029	0.023	0.029	0.015
0.081	0.399	0.279	0.168	0.071	0.012	0.248	0.120	0.027	0.144	0.100	0.030	0.061	0.068	0.031	0.023	0.029	0.015
0.087	0.368	0.260	0.166	0.066	0.014	0.228	0.111	0.024	0.118	0.098	0.035	0.052	0.067	0.036	0.018	0.023	0.018
0.087	0.370	0.261	0.167	0.066	0.014	0.228	0.111	0.030	0.118	0.098	0.036	0.053	0.067	0.036	0.018	0.023	0.018
0.079	0.367	0.259	0.163	0.068	0.011	0.225	0.116	0.022	0.130	0.096	0.028	0.060	0.070	0.028	0.021	0.027	0.015
0.084	0.364	0.252	0.165	0.068	0.012	0.233	0.108	0.021	0.134	0.088	0.025	0.060	0.067	0.030	0.021	0.027	0.016
0.078	0.358	0.262	0.163	0.068	0.011	0.225	0.108	0.022	0.131	0.097	0.028	0.060	0.070	0.028	0.020	0.027	0.015
0.083	0.365	0.255	0.168	0.073	0.013	0.240	0.105	0.019	0.144	0.084	0.023	0.065	0.070	0.026	0.024	0.030	0.015
0.080	0.393	0.257	0.162	0.062	0.012	0.239	0.121	0.024	0.126	0.097	0.028	0.058	0.067	0.030	0.020	0.024	0.013
0.085	0.366	0.255	0.170	0.074	0.013	0.246	0.100	0.018	0.148	0.082	0.021	0.071	0.071	0.024	0.025	0.031	0.014
0.085	0.362	0.254	0.169	0.073	0.013	0.238	0.102	0.019	0.146	0.082	0.021	0.069	0.071	0.024	0.025	0.031	0.014
0.080	0.363	0.253	0.166	0.073	0.013	0.236	0.107	0.018	0.143	0.083	0.023	0.064	0.070	0.025	0.024	0.030	0.014
0.083	0.361	0.254	0.168	0.074	0.013	0.237	0.102	0.019	0.145	0.083	0.021	0.066	0.070	0.025	0.024	0.031	0.014
0.084	0.363	0.255	0.169	0.074	0.013	0.240	0.103	0.019	0.146	0.083	0.022	0.068	0.071	0.025	0.025	0.031	0.015
0.082	0.364	0.254	0.168	0.074	0.013	0.239	0.105	0.018	0.145	0.083	0.021	0.066	0.070	0.026	0.024	0.030	0.015
0.081	0.361	0.248	0.165	0.068	0.011	0.228	0.108	0.021	0.129	0.088	0.026	0.060	0.067	0.030	0.021	0.027	0.016
0.080	0.392	0.257	0.163	0.065	0.013	0.255	0.118	0.020	0.127	0.091	0.032	0.055	0.067	0.033	0.019	0.026	0.015
0.087	0.402	0.279	0.168	0.072	0.012	0.249	0.120	0.027	0.144	0.098	0.030	0.062	0.068	0.030	0.023	0.029	0.015

市町村	1世帯当たり課税対象所得	人口一人当たり課税対象所得	就業者一人当たり雇用人報酬(二次保健医療圏)	完全失業率(30-34歳)	正規雇用割合(男性15歳以上)	転入超過率(生産年齢人口)	1万世帯当たり住宅着工戸数	新設事業所従業員数割合(二次保健医療圏)	3世代世帯比率	人口1万人当たり消防団員数	人口1万人当たり刑法犯認知件数	持ち家比率(世帯主15-64歳)	一戸建て比率(全世帯)
	2015年度	2015年度	2014年度	2015年	2015年	2015年	2015年	2014年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年
単位	千円	千円	千円	%	%	-	戸	%	%	人	件	%	%
広島県	3,167	1,374	-	4.2	83.2	-0.14	134	-	4.5	80	67	50.9	57.1
広島市	3,404	1,515	4,720	4.5	83.3	0.19	143	17.7	2.7	23	77	44.5	42.3
呉市	3,089	1,316	4,451	4.0	85.3	-0.76	92	17.4	3.6	86	56	60.8	67.9
竹原市	2,664	1,130	4,260	4.2	80.5	-1.30	101	16.0	4.7	146	37	63.7	80.3
三原市	2,870	1,190	3,972	3.9	83.6	-0.85	87	14.9	5.8	140	65	60.4	71.1
尾道市	2,861	1,192	3,972	4.6	84.0	-0.37	81	14.9	6.3	122	51	62.0	77.4
福山市	3,212	1,282	4,241	4.3	84.9	-0.20	154	15.3	7.4	63	73	54.3	66.1
府中市	3,012	1,130	4,241	4.4	83.7	-0.48	90	15.3	11.3	218	46	65.3	80.1
三次市	2,819	1,124	3,605	2.6	81.9	-0.79	116	14.2	8.3	284	47	57.8	76.7
庄原市	2,487	972	3,605	3.6	80.0	-0.84	80	14.2	11.8	461	27	61.0	81.8
大竹市	3,011	1,270	4,317	5.6	83.5	-0.70	123	13.7	4.0	118	59	55.0	70.8
東広島市	2,991	1,315	4,260	3.4	79.6	-0.10	160	16.0	4.1	85	64	46.7	56.7
廿日市市	3,459	1,386	4,317	4.3	81.4	-0.15	154	13.7	4.4	53	55	64.1	69.2
安芸高田市	2,661	1,052	4,720	3.9	80.1	-0.48	69	17.7	8.4	287	38	69.4	88.3
江田島市	2,578	1,138	4,451	2.6	84.0	-0.29	51	17.4	3.7	219	39	64.0	86.0
府中町	3,766	1,557	4,720	4.3	84.4	-0.08	213	17.7	2.6	14	67	47.7	48.3
海田町	3,338	1,426	4,720	3.8	82.9	0.42	210	17.7	2.3	36	100	42.8	46.1
熊野町	3,106	1,233	4,720	3.5	79.8	-0.85	105	17.7	3.9	66	54	73.2	84.4
坂町	3,157	1,271	4,720	4.6	83.7	-0.66	370	17.7	4.5	163	66	65.2	70.4
安芸太田町	2,213	951	4,720	7.3	76.4	-0.45	11	17.7	7.0	728	23	72.4	93.5
北広島町	2,555	1,044	4,720	2.9	76.6	-0.01	94	17.7	8.0	405	36	66.1	82.6
大崎上島町	1,823	889	4,260	0.9	86.2	0.13	28	16.0	3.1	450	37	60.9	84.7
世羅町	2,647	1,011	3,972	4.8	80.2	-0.95	62	14.9	11.5	419	38	72.9	88.8
神石高原町	2,242	860	4,241	1.9	80.7	-1.17	62	15.3	12.7	719	16	81.0	94.2
統計	②		③	①		④	⑤	⑫	①	⑥	⑦	①	

市町村	人口性比(男/女)					女性転出超過率(生産年齢人口、通勤圏)	女性人口非学生割合(15-49歳)	多子世帯割合(通勤圏)	女性有配偶率(通勤圏)				
	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳				20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳
年次	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2010年	2010年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年
単位	-	-	-	-	-	-	%	%	-	-	-	-	-
広島県	1.06	1.05	1.04	1.03	1.02	-	86.7	-	-	-	-	-	-
広島市	0.96	0.99	0.99	0.99	1.00	-0.10	87.0	11.6	9.0	38.9	62.6	70.6	72.9
呉市	1.08	1.22	1.18	1.10	1.09	0.95	86.1	11.0	11.3	40.5	61.7	68.6	70.0
竹原市	1.06	1.13	1.16	1.09	1.04	1.45	87.4	12.5	12.8	36.3	58.8	66.8	67.3
三原市	0.96	1.00	1.05	1.07	1.00	0.96	86.0	11.1	12.0	41.3	62.8	70.3	72.3
尾道市	1.08	1.11	1.07	1.02	1.00	0.39	87.2	11.5	13.0	42.1	62.7	69.8	71.4
福山市	1.07	1.09	1.03	1.03	1.02	0.39	88.4	11.5	13.0	42.1	62.7	69.8	71.4
府中市	1.02	1.14	1.12	1.11	1.06	0.39	88.9	11.5	13.0	42.1	62.7	69.8	71.4
三次市	1.08	1.14	1.09	1.05	1.11	0.83	88.1	13.0	15.2	47.4	67.6	71.9	73.5
庄原市	1.11	1.22	1.19	1.10	1.11	0.83	83.5	13.0	15.2	47.4	67.6	71.9	73.5
大竹市	1.01	1.27	1.04	1.08	1.05	0.92	88.0	11.4	10.4	40.4	59.7	66.3	69.3
東広島市	1.61	1.14	1.13	1.10	1.08	-0.10	80.3	11.6	9.0	38.9	62.6	70.6	72.9
廿日市市	0.87	0.94	1.02	0.99	0.97	-0.10	85.8	11.6	9.0	38.9	62.6	70.6	72.9
安芸高田市	1.16	1.13	1.20	1.18	1.10	-0.10	87.8	11.6	9.0	38.9	62.6	70.6	72.9
江田島市	1.97	1.53	1.84	1.38	1.16	0.95	88.5	11.0	11.3	40.5	61.7	68.6	70.0
府中町	0.97	1.02	1.01	1.02	1.00	-0.10	88.2	11.6	9.0	38.9	62.6	70.6	72.9
海田町	1.08	1.14	1.11	1.06	1.00	-0.10	88.2	11.6	9.0	38.9	62.6	70.6	72.9
熊野町	0.99	1.04	1.01	0.97	0.99	-0.10	88.2	11.6	9.0	38.9	62.6	70.6	72.9
坂町	1.12	1.05	0.94	0.99	0.94	-0.10	89.1	11.6	9.0	38.9	62.6	70.6	72.9
安芸太田町	1.26	1.12	1.15	1.21	1.25	-0.10	88.0	11.6	9.0	38.9	62.6	70.6	72.9
北広島町	1.62	1.45	1.20	1.14	1.15	-0.10	87.5	11.6	9.0	38.9	62.6	70.6	72.9
大崎上島町	2.37	1.68	1.79	1.53	1.71	1.45	82.5	12.5	12.8	36.3	58.8	66.8	67.3
世羅町	1.29	1.16	1.18	1.12	1.12	0.96	88.9	11.1	12.0	41.3	62.8	70.3	72.3
神石高原町	1.39	1.18	1.31	1.30	1.12	0.39	88.3	11.5	13.0	42.1	62.7	69.8	71.4
統計	①					④	①						

床面積 100㎡以上の 住宅居住割合 (世帯主15-64歳)	1ヵ月当たり平均 借家賃・間代 (二次保健医療圏)	有配偶 女性就業率 (30-34歳)	0-5歳児 一人当たり 保育所 在者数	0-5歳児 一人当たり 保育所 定員数	0-5歳児 1万人当たり 保育所数	0-17歳人口 一人当たり 児童福祉費	0-5歳児 1万人当たり 子育て サークル数	0-5歳児 1万人当たり 児童館数	20-44歳女性 人口1万人当たり 産婦人科医師数 (二次保健医療圏)	0-9歳児 1万人当たり 小児科医師数 (二次保健医療圏)	可住地面積 1km当たり 0-14歳人口	1週当たり 就業時間 (15歳以上 女性就業者)
2010年	2013年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年度	2018年	2015年	2014年	2014年	2015年	2005年
%	円	%	人	人	所	千円	サークル	館	人	人	人	分
32.5	-	55.9	0.43	0.46	45.1	363	9	10	-	-	163	34.5
23.6	42,222	53.7	0.39	0.40	32.3	364	10	17	7	50	565	34.1
36.5	33,997	57.0	0.39	0.41	53.7	328	12	4	7	86	165	34.2
47.0	38,506	57.8	0.64	0.76	121.8	436	0	11	4	51	75	34.5
43.6	37,786	56.5	0.32	0.47	50.9	374	14	2	7	41	74	34.7
42.9	37,786	58.2	0.34	0.46	49.9	339	12	3	7	41	114	34.8
40.7	41,100	57.4	0.52	0.51	45.3	365	4	0	5	42	252	35.5
49.8	41,100	67.5	0.64	0.89	77.8	398	13	13	5	42	103	37.6
44.9	36,747	63.1	0.58	0.80	97.6	465	12	12	7	46	36	37.1
50.2	36,747	74.2	0.75	0.96	134.5	560	14	0	7	46	21	37.9
34.2	40,087	50.6	0.42	0.50	57.6	366	8	16	6	57	155	33.1
34.6	38,506	54.0	0.41	0.46	47.1	347	6	2	4	51	118	33.3
45.0	40,087	56.7	0.45	0.51	47.6	339	14	9	6	57	213	33.4
53.9	42,222	73.2	0.72	0.85	122.7	473	18	0	7	50	29	36.0
49.1	33,997	60.5	0.65	0.69	132.3	430	40	53	7	86	46	33.1
23.4	42,222	53.2	0.30	0.32	22.5	297	13	3	7	50	1255	33.5
21.3	42,222	52.8	0.28	0.40	47.6	312	6	12	7	50	565	33.7
48.1	42,222	58.0	0.42	0.41	36.5	264	9	0	7	50	261	33.4
39.5	42,222	60.7	0.40	0.80	58.4	345	0	0	7	50	238	33.7
60.6	42,222	54.5	0.64	0.76	194.2	554	49	49	7	50	13	35.0
56.8	42,222	70.6	0.78	0.84	187.1	475	14	29	7	50	19	36.1
47.4	38,506	52.3	0.31	0.36	47.8	220	0	0	4	51	23	32.7
55.9	37,786	72.9	0.56	0.58	64.0	484	0	0	7	41	21	37.7
65.4	41,100	73.8	0.62	0.95	176.7	410	0	0	5	42	12	38.8
①	③	①	⑧			⑨	⑩	⑧	⑪		①	

主成分得点							
地域の 稼ぐ力	暮らしの 安定性	地域の 定住力	家族と地域 のきずな力	住宅環境	共働き 支援力	子育て 支援力	出産・子育て 環境
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
1.60	0.01	1.41	-1.27	-1.99	-0.97	0.03	0.78
0.61	0.75	-0.02	-0.65	-0.28	-0.74	-0.37	1.69
-0.40	-0.52	-1.06	-0.05	0.33	0.57	-0.23	-0.56
-0.26	0.39	-0.98	-0.48	-0.09	-0.82	-0.20	-0.28
-0.26	0.13	-0.47	-0.18	0.10	-0.76	-0.37	-0.26
0.50	0.51	0.24	-0.62	-0.57	-0.39	-0.64	-0.69
-0.06	0.15	-0.41	0.63	0.42	0.85	0.16	-1.43
-0.73	0.64	-1.02	0.41	0.01	0.56	0.36	-0.80
-1.43	-0.32	-1.27	1.50	0.40	1.66	0.44	-1.03
0.33	-0.48	-1.04	-0.61	-0.61	-0.76	-0.03	0.61
0.38	-0.37	0.61	-0.76	-1.18	-0.78	-0.61	-0.18
1.05	-0.34	-0.25	-0.60	-0.01	-0.54	-0.14	0.60
-0.25	-0.49	0.26	0.60	0.85	1.35	0.24	-0.37
-0.33	1.16	0.28	-0.06	0.63	0.64	2.40	1.84
2.07	0.35	1.47	-1.10	-1.75	-1.32	-0.50	1.78
1.32	0.26	2.02	-1.74	-2.03	-1.13	-0.45	0.89
0.63	-0.32	0.03	-0.61	0.72	-0.76	-0.85	0.60
0.77	0.05	1.66	-0.61	-0.15	-0.05	-0.89	0.49
-0.94	-3.08	-0.02	1.55	1.27	0.82	3.07	-0.13
-0.38	-0.79	0.92	0.82	0.69	1.71	0.95	-0.41
-1.82	2.55	0.18	0.35	0.35	-1.16	-1.35	-0.14
-0.91	-0.89	-1.22	1.18	1.13	0.39	-0.37	-1.14
-1.48	0.67	-1.34	2.29	1.75	1.62	-0.64	-1.86

- 資料：① 総務省「国勢調査」
 ② 総務省「市町村税課税状況等の調」
 ③ 広島県「市町民経済計算」
 ④ 総務省「住民基本台帳人口移動報告」
 「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
 ⑤ 国土交通省「建築着工統計」
 ⑥ 総務省消防庁資料
 ⑦ 広島県警察本部「犯罪統計書」
 ⑧ 厚生労働省「社会福祉施設等調査」
 ⑨ 総務省「市町村別決算状況調」
 ⑩ 公益財団法人 ひろしま子ども夢財団調べ
 ⑪ 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」
 ⑫ 総務省「経済センサス-基礎調査」
 ⑬ 総務省「住宅・土地統計調査」

広島県版 合計特殊出生率「見える化分析」
《広島県における少子化要因調査分析報告書》

平成 31 年 3 月（2019 年）3 月初版

発行：広島県健康福祉局子育て・少子化対策課
〒730-8511
広島県広島市中区基町 10-52
TEL 082-513-3171 / FAX 082-502-3674

編集：公益財団法人中国地域創造研究センター

